

茨城の文化財

第61集（令和4年度）

茨城県教育委員会

序

豊かな自然と歴史に恵まれた郷土茨城には、有形・無形の貴重な文化財や自然の造形が数多くあります。文化財は、わが国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に伝えられてきた貴重な国民的財産です。これら文化財は、わが国の歴史、伝統、文化を正しく理解するために欠くことのできないものであり、文化のさらなる向上発展の基礎をなすものです。したがって、文化財の保存とともに積極的な公開活用を図ることがますます重要となっております。

令和4年4月に施行された新たな文化財保護法により、これまでの有形文化財、有形民俗文化財、記念物と併せて文化財全般にわたり登録制度が整備され、文化財の保存活用のための施策がさらに充実することがますます期待されております。県教育委員会では、これらの文化財を良好なかたちで次の世代に伝えていくため、様々な施策を講じておりますが、今後とも皆様の一層の御理解と御協力をお願いする次第です。

さて、本書では令和4年度に指定された国・県指定文化財及び令和4年度に登録された国登録文化財等について収録するとともに、国・県指定及び国登録等の文化財一覧表を掲載いたしました。

また、令和4年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要や令和3年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要なども収録いたしました。本書が多くの方々に活用され、文化財の保存・活用の一助となれば幸いです。

結びに、長引く新型コロナウイルス（covid-19）感染症の影響により、先を見通せない不安な日常を強いられた中、本書の作成にあたり御協力をいただきました茨城県文化財保護審議会委員をはじめ、関係市町村文化財主管課並びに文化財の所有者及び保護団体の皆様方に対して深く感謝いたします。

令和5年3月31日

茨城県教育委員会

教育長 森 作 宜 民

例 言

- 1 本書は、文化財保護法の規定に基づき、令和4年度に史跡に追加指定された1件、登録原簿に登録された登録文化財5件（登録有形文化財（建造物）4件、登録記念物1件）及び茨城県文化財保護条例の規定に基づき、令和4年度に県指定文化財となった3件について、解説を収録したものである。
- 2 国・県指定文化財等総数は令和5年3月31日、市町村別指定文化財数量は令和5年3月1日現在のものである。
- 3 茨城県文化財保護審議会委員は、次の各氏である。

会 長	糸 賀 茂 男
副会長	小野寺 淳
委 員	浅 見 龍 介
委 員	伊 藤 紫 織
委 員	金 出 ミチル
委 員	串 田 紀代美
委 員	小 森 正 明
委 員	谷 口 陽 子
委 員	千 葉 真由美
委 員	徳 丸 亞 木
委 員	藤 井 英二郎
委 員	藤 川 昌 樹
委 員	山 田 利 博

- 4 令和4年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要は、茨城県埋蔵文化財センター（いせきびあ茨城）運営方針及び令和4年度12月までの事業実績をもとに編集したものである。
- 5 遺跡発掘調査報告は、令和3年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要を、市町村教育委員会、公益財団法人茨城県教育財団及び調査担当者が作成した埋蔵文化財発掘調査概要調査票に基づき、茨城県教育委員会が集約、編集したものである。

目 次

序

例 言

1	令和4年度に追加指定された国指定文化財	1
	国指定史跡 常陸国分寺跡（追加指定）	2
2	令和4年度に指定された県指定文化財	4
	（1）茨城県指定有形文化財 彫刻	
	彫第166号 木造大日如来坐像・如来坐像	5
	（2）茨城県指定有形文化財 彫刻	
	彫第167号 木造金剛力士立像 附 像内納入品一括	10
	（3）茨城県指定有形文化財 考古資料	
	考第32号 堀米A遺跡出土硬玉製大珠	16
3	令和4年度に登録された国登録有形文化財・国登録記念物	19
4	国・県指定文化財等一覧	26
	（1）国・県指定文化財等総数	27
	（2）国指定文化財等一覧	28
	（3）ユネスコ無形文化遺産一覧	41
	（4）県指定文化財一覧	42
	（5）国登録文化財一覧	71
5	市町村別指定文化財数	79
	令和4年度新規指定（解除）市町村指定文化財一覧	83
6	令和4年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要	85
7	令和3年度茨城県遺跡発掘調査報告	90

1 令和4年度に追加指定された 国指定文化財

国指定史跡

ひたちこくぶんじあと 常陸国分寺跡（追加指定）

指 定 日	令和4年11月10日
所 在 地	石岡市府中三丁目 943 番
面 積	634.71 m ² (合計面積 26,382.13 m ²)
管 理 者	石岡市

常陸国分寺跡は、天平13年（741）に国分寺造立の詔によって建立された国分寺の一つである。現在の国分寺の境内に、金堂跡・講堂跡の土壇が南北中軸線上に並び、また西回廊跡のものと推定される礎石も存在する。その配列状況から、旧仁王門が建てられていた位置付近が中門跡で、複廊として回廊が金堂脇まで取りついていたと推定される。講堂跡の北方、及び西方の一部に堀跡があり、また寺域を限る西築地塀跡も検出され、東西約100間、南北約100間の旧寺域の周囲を画するものと認められる。ただし、東側からは築地塀跡などの区画施設は検出されていない。こうした伽藍の中枢部からは、奈良時代のもので推定される軒丸瓦や軒平瓦、塼等が出土している。大正11年（1922）に史跡、昭和27年（1952）には特別史跡に指定されている。

令和元～2年（2019～2020）度を実施した石岡市教育委員会の発掘調査によって、中枢伽藍より東に約150メートル離れた「ガラミドウ」と呼ばれる地区から、厚さ1.4メートルに及ぶ版築遺構が検出された。版築の範囲は15メートル四方に及ぶ。金堂や講堂等の中枢伽藍では、金堂跡から同様の厚さの版築遺構を確認しており、「ガラミドウ」地区には、金堂に匹敵する重量をもった建物が造営されたと推定できる。また、隅切瓦の出土から総瓦葺建物が想定され、塔跡の可能性が指摘されている。戦前期の調査記録では、「ガラミドウ」に3間×3間の礎石が残されていたと報告されているが、礎石は現存しない。版築の中に8世紀後半から9世紀前半とみられる須恵器が入っていることから、創建時ではなく平安時代の再建期の塔跡と推定される。

今回、この「ガラミドウ」地区のうち、条件の整った部分について追加指定し、保護の万全を図るものである。

（文化庁文化財第二課「新指定の文化財－記念物－」『月刊文化財』令和4年9月号、第一法規より転載）



版築の様子（南西から）【写真提供：石岡市教育委員会】

2 令和4年度に指定された 県指定文化財

(1) 茨城県指定有形文化財 彫刻

彫第166号

もくぞうだいにちによらいざぞう によらいざぞう
木造大日如来坐像・如来坐像 3 軀

指定日 令和4年12月26日
所在地 茨城県笠間市片庭775
所有者 仏頂山楞嚴寺

楞嚴寺本堂に本尊として安置する像で、中央に智拳印を結ぶ金剛界大日如来坐像（像高 60.9 cm、ただし髻の頂部を欠く）、その左右に如来坐像（像高 左 34.3 cm、右 34.9 cm）を置く。

【形状】

大日如来坐像

単髻^{たんけい}を結び、髪は全面に毛筋を彫る。髻^{もとどり}の基部は毛束を交差し、上方には連珠文を紐で画した帯の上に花飾りを表わす。天冠台は紐2条の上に花冠とする。白毫は現状不明（描いたか）。三道相。鼻孔、耳孔を穿つ。上半身は裸で、条帛^{じょうはく}を左肩から右脇腹に斜めに掛け（背面で一度反転する）、その末端は正面では左肩下がりにかかって、左胸の内側から初層にたくし込む。もう一方の端は左肩から背面に垂らす（その先は欠失）。裙を着け、折り返した下縁が波打つ。裙の上に腰布（上縁折り返し）を巻き、正面で結ぶ。両腕の肘を曲げ、胸の前で左手の第二指を右手で包み込む智拳印を結ぶ。右脚を上にして結跏趺坐する。

如来坐像（その一）

螺髪旋毛形、肉髻珠相、白毫相は不明（描いたか）、三道相。鼻孔、耳孔は浅く穿つ。耳朶環状貫通。左肩から右脇腹に斜めに縁があらわれる內衣を着ける。衲衣^{のうえ}は左肩を覆い、右肩に少し掛かって、右腋から腹前をわたり、ふたたび左肩から肘に掛かる。衲衣の初層を腹前で2層目の上に出す。右手は屈臂して掌を正面に向けて施無畏印を結ぶ。左手は膝の上で掌を上に向けて薬壺のようなものを持ち、結跏趺坐する。

如来坐像（その二）

（その一）に準じるが、耳孔は穿たず、左袖先および左手首先は欠失。內衣と腹前の衲衣初層の表現は不明瞭。左脚を上にして結跏趺坐する。

【構造】

大日如来坐像

ヒノキ材と見られる針葉樹材。体幹部は頭体通して一材から造り、両耳半ばを通る線で前後に割り矧ぐ。内削りを施し、三道下で割首、玉眼^{かんにゅう}を嵌入する。脚部に横木一材、裳先に一材、両腰脇に三角材を矧ぐ。両腕は肩、肘、手首で矧ぐ。肉身部、着衣部は金色だったと見られるが、現状は古色である。像底の上げ底部分に麻布を貼る（右腰脇三角材のみ麻布がない）。

如来坐像（その一）

ヒノキ材と見られる針葉樹材。体幹部は頭体通して一材から造り、両耳後ろを通る線で前後に割り矧ぐ。内削りを施し、三道下で割首し、玉眼を嵌入する。脚部に横木一材、裳先に一材、両腰脇に三角材を矧ぐ。右腕は肩、肘、手首で矧ぐ。左肩から地付に至る一材を矧ぎ、左袖口を脚部材の上に乗せる。左手首先を挿し込む。肉身部は漆箔。着衣部も金色だったと見られるが、現状は古色である。像底を上げ底式に削り残して内削り^{うちぐ}する。像底に麻布を貼るが、脚部の内削り面にはない。

如来坐像（その二）

如来坐像（その一）に準じる。像底の麻布貼りは地付きの縁のみ。

【保存状態】

大日如来坐像

髻先端、左手第二指先欠失。両手首先、裳先の中央から左側の先端に矧ぐ別材、表面の古色塗りは後補。両目周囲表面の漆は他と色が異なり、玉眼を修理して木屎^{こくそ}で形を整えたものと見られる。像底裳先部の格子文の布は後補。光背亡失。台座（蓮台のみ）後補。

如来坐像（その一）

玉眼、白毫亡失。左袖先欠失。肉髻珠、右肘より先、左手首先、表面漆箔後補。光背亡失、台座（蓮台のみ）後補、その他の部分亡失。

如来坐像（その二）

白毫、右腰脇三角材、左袖口、左手首先欠失。玉眼、右肘より先、表面漆箔後補。光背亡失、台座（敷茄子のみ）後補、その他の部分亡失。

【解説】

像底を上底式に削り残す手法、大日如来像の髻の背面、渦巻きを左右対称に3段表わす点に鎌倉時代の仏師運慶の影響が見られる。卵型の頭部、腰布の縁が波打つ点は運慶の次の世代に活躍した肥後定慶の作風に近い。楞嚴寺の建長4年(1252)作、千手観音菩薩立像（重要文化財）は笠間時朝(1204～1265)が発願して造像したもので、やはり定慶の作風に類似する。大日如来坐像と如来坐像二軀の制作時期も鎌倉時代中頃と見られる。特に大日如来坐像は端正な容貌、繊細な毛筋の彫りと洗練された天冠台など肥後定慶周辺の慶派仏師の作と見られる。如来坐像二軀は正面で衲衣初層を大きく表に出す着衣法が運慶作、興福寺北円堂弥勒如来坐像に倣ったものである。大日如来坐像に比べてやや完成度は低く、弟子の作か。

金剛界五智如来のうちの三軀が残ったものと考えられる。金剛界五智如来は、智拳印を結ぶ大日如来と阿閼如来・宝生如来・無量寿如来・不空成就如来のこと。如来坐像（その一）の台座蓮肉左方に「阿閼」と読めそうな墨書がある。金剛界の密教修法が行なわれたことが知られる。これらの像も笠間時朝が造像に関与した可能性が考えられる。

鎌倉時代中期の慶派仏師の優れた作例として貴重である。



大日如来坐像







如来坐像（その一）



如来坐像（その二）



(茨城県文化財保護審議会 浅見 龍介 委員)

(2) 茨城県指定有形文化財 彫刻

彫第167号

もくぞうこんごうりきしりゆうぞう
木造金剛力士立像 2 軀 附 ぞうないのうにゆうひん
像内納入品一括

指定日 令和4年12月26日

所在地 茨城県桜川市本木1

所有者 雨引山楽法寺

楽法寺仁王門に安置していた金剛力士立像一対。門の左に阿形（像高 234.9 cm）、右に吽形像（像高 238.2 cm）を配する。平成 29 年（2017）から令和 2 年（2020）にかけて東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室（代表者：籾内佐斗司氏）により、修復が行なわれた。

【形状】

阿形

髻^{もとどり}を結び、眉を吊り上げ瞋目、瞳を浮彫りする。口を大きく開き、上下歯列、舌を表わす。鼻孔を穿つが耳孔は穿たない。左腕は肘を肩より高い位置に上げて張り、屈臂^{くつび}して手の甲を上にして拳をつくる。右腕は下方に伸ばして掌を下に向けて全指を伸ばして広げる。上半身は裸で、肋骨、筋肉、胸部に血管を表わす。乳首は別材を貼り付けた痕跡があるが欠失する。腹部は肉付きよく、へそを刻む。下半身は裙を着ける。裙の上端は折り返し、右側方では石帯がのぞく。両脚とも膝を露出し裸足、左に腰を捻って左足に重心を乗せ、右足はわずかに外に開いて岩座の上に立つ。裙の裾はわずかに右方になびく。

吽形

阿形に準じるが、上下唇を明瞭に刻んで閉口。左腕は下方に降ろし、肘を曲げて腰の脇で手の甲を正面に向けて拳をつくる。右腕は屈臂して掌を正面に向けて全指を伸ばして開く。裙の折り返し部分が左右で持ち上がり石帯がのぞく。右に腰を捻って、右足に重心を乗せ、左足を外に踏み出して岩座の上に立つ。裙の裾は左方になびく。

【品質構造】

ヒノキと見られる針葉樹材。一木造、彩色、彫眼。

阿形

頭体幹部を通して、一材（木心は中央を通る）より造り、両耳後ろから両足首を通る線で前後に割り放し、内剝^{うちく}りを施して矧ぎ付ける。右腕は肩、手首で、左腕は肩、肘、手首で矧ぐ。左肩はマチ材を挟む。髻、両足先に別材を矧ぐ。右脚は裙の衣縁で、左脚は、正面は脛の半ば、背面は裙との境で割り矧ぐ。

吽形

頭体幹部を通して、一材（木心はやや背面よりの中央を通る）より造り、右耳のかなり後方、左耳中から両足首を通る線で前後に割り放し、内剝りを施して矧ぎ付ける。右腕は肩、手首で、左腕は肩、肘、手首で矧ぐ。左肩はマチ材を挟む。右脚は背面材のみ裙との境で割り矧ぐ。左脚も同様だが、足首以下は前面材からつくる。髻、両足先に別材を矧ぐ。

【保存状態】

阿形

髻、右手首先、両足先、左足柄、右足柄の内側、岩座、框は新補。

吽形

髻、右手第1指、第5指、右足首以下、岩座、框は新補。胸腹部、左右脚部表面の造形の過半が虫損により失われている。

【像内納入品】

解体修理によって阿形像の像内に納入された以下の品々が発見された。

- ① 修理銘札 1枚 永正16(1519)年銘
- ② 巡礼札 3枚 ア.永正10年5月28日銘、イ.永正10年7月4日銘、ウ.年紀なし
- ③ 妙法蓮華経 8巻
- ④ 摺仏 1枚
- ⑤ 小石 1個
- ⑥ その他 一括

詳細は別掲。

【解説】

背筋まで筋骨隆々として力強く、腰高で颯爽とした姿、捻った腰と逆方向になびく裾の動きのある表現に鎌倉時代の運慶風が見られる。その出来栄えは奈良、京都の像と差はなく、運慶の弟子にあたる慶派仏師が制作したものと考えられる。

ただ、運慶作の東大寺金剛力士像、運慶周辺の仏師による興福寺金剛力士像(旧西金堂安置)に比べると裾の折り返しの翻る表現がおとなしく、衣文も浅めで穏やかである。内割りが深く、木部の肉薄な作りも平安時代後期の特色で、慶派仏師の中で保守的な仏師だったと考えられる。

阿吽一对で造られたものだが、吽形像は捻った方の足に重心を乗せ、力を溜めて立ち、裾が風を受けてなびいて風を感じさせるのに対し、阿形像は腰の据え方、右足の踏み出し方が弱く、十分力が籠っているようには見えない。また、裾の裾は短く、衣文も動きが少ない。このように吽形像の方が造形的に優れている。

阿形像の像内に納入された修理銘札によって永正16年には楽法寺の前身である延命寺に安置されていたことがわかる。楽法寺の本尊は平安時代前期の観音菩薩立像で、寺院の草創は古く、永正の頃には坂東の観音霊場として信仰を集めていた。この金剛力士像が当初から延命寺仁王門に安置するために造られた可能性は高いだろう。

桜川市にはこのほかに、椎尾薬王院と羽鳥薬師堂に鎌倉時代前期の慶派仏師の作と見られる金剛力士像がある。両者は楽法寺金剛力士像と体勢が同じで、作風も近く同じ慶派仏師の作と見られる。ただしこれらの像は体を傾け過ぎで誇張が見られる。楽法寺像の仏師の弟子が制作した可能性が考えられる。このように同じ地域に同系統の仏師の金剛力士像が存在することから、楽法寺の像は当初から同寺で造像されたと見て良いだろう。

県内の金剛力士像のなかで最古の優品として貴重な作例である。



金剛力士立像 畔形



阿形



(茨城県文化財保護審議会 浅見 龍介 委員)

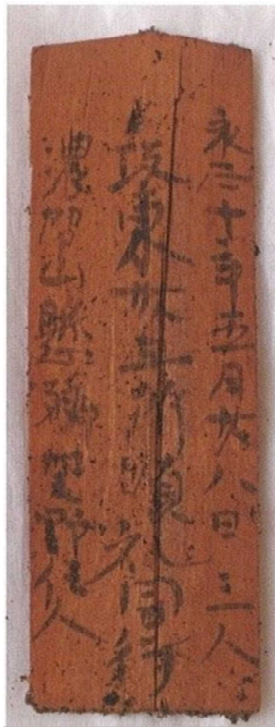
附 像内納入品一括

以下の像内納入品一括は、すべて阿形像内から発見されたものである。

①修理銘札（永正 16 年銘、総高：56.6 肩高：2.9 cm 上幅：12.7 cm 下幅：12.7 cm 厚：1.2 cm 頭部の形状：尖頭 材質：檜）1 枚、②巡礼札（永正 10 年 5 月 28 日銘〈総高 15.1 cm 肩高：0.4 cm 上幅：3.3 cm 下幅：3.3 cm 頭部の形状：尖頭 材質：杉〉ほか）3 枚 ③妙法蓮華経（巻 1〈縦 9.3 cm×横 351.0 cm〉ほか）8 巻、④摺仏（縦 25.5 cm×横 8.7 cm）1 枚 ⑤小石（縦 3.6 cm×横 2.8 cm）1 個、⑥その他 一括

①修理銘札には、金剛力士像修理の詳細等が記されている。これによれば、本金剛力士像は、永正 16 年（1519）近江国坂本の徳賢を本願聖として修理落慶したもので、真壁郡域を領した常陸平氏流の真壁治幹が「持主」とされ修理の支援を行った。勸進などで集められた費用は 50 貫文。この修理銘札の表はかなり念入りに平滑にしているが、裏は槍鉋によって削った痕跡がよく残り、この時期いまだ台鉋が普及していなかった証左ともなる。②巡礼札 3 点は、坂東三十三所の巡礼札と考えられる。巡礼札は寺院の壁・柱などに釘で打ち付けるのが一般的だが、これらの巡礼札は何らかの理由によって像内に入れられたものである。永正 10 年の 2 点の巡礼札は、金剛力士像の修理よりも遡るものとなり、修理に際して像内に入れられたとも考えられる。また記年銘をもたない 1 点は、像内に漆をもって接着されていたという。永正 10 年の 2 点は、上州（群馬県）和田郷（高崎市内）同行 2 人、および濃州（岐阜県）山懸郷賀野（岐阜市賀野）の同行 3 人のもの。3 点共に釘穴があり、本来別な場所に打ち付けられていた可能性もある。中世に遡る巡礼札は全国的にみても希少である。③妙法蓮華経 8 巻は、ほぼ同一規格の小ぶりの書写経で、大永 2 年（1522）に書写され、翌年に奉納されたものと考えられる。また、書写の場所や写経者は、下野国小山荘寒川郷の宥秀（巻 6）や同郷迫田の金蔵坊（巻 8）などが知られる。これら 8 巻は下野国宇都宮の等蔵という僧侶が檀那を募り「大乘妙典六十六部経」として奉納したものである。檀那は同国足利荘樺崎村住人口郎太郎（巻 7）などの俗人である。これらは、後年裂に包まれて像内に入れられたと考えられるが、その時期が大永 3 年であったかどうかは断定できない。④摺仏は、阿弥陀如来像と考えられる。⑤小石には墨書などはなく、その意味するところは未詳。⑥その他は、経典を包んでいた裂の残片や綴じていた紙縫など一括。

これらの像内納入品は、阿形像の髻の臍穴より納入されたのではないかという指摘（楽法寺刊修理報告書）もあるが、現状ではその理由・詳細はともに不明である。雨引山には、本堂屋根の葺替に際して作成された大永 6 年の棟札の写しも伝わり、16 世紀半ばの地方寺院修復などの様子を伝える資料として興味深い。金剛力士像修理銘札の伝える内容とともに、当該期東国社会における寺院の在り方や仏師の活動・信仰圏の問題など今後の検討に俟つところが大きい。これら像内納入品が、当該地域にとどまらない中世後期東国社会の歴史解明にとって重要な資料となることは間違いなく、附として文化財指定するにふさわしいものである。



永正 10 年 巡礼札 (表)



永正 16 年 修理銘札 (表)

(茨城県文化財保護審議会 小森 正明 委員)

(3) 茨城県指定有形文化財 考古資料

考第32号

ほっこめえいせいせきしゆつどこうぎよくせいたいしゆ
堀米A遺跡出土硬玉製大珠 5点

指定日 令和4年12月26日

所在地 茨城県那珂郡東海村大字村松768番地38

所有者 東海村

出土コンテキスト、型式および製作年代

穿孔された硬玉製の大型珠（SK240-1、SK295-1、埋没谷出土遺物）、垂飾（SK253-1、2）。穿孔の位置の違いで便宜上、名称を分けているが、両方とも機能としては同じと考えられる。

SK240-1 鯉節型の硬玉製大珠 長さ112mm、幅30mm、厚さ25mm、穿孔径8mm、重量170.6g、中央より上部分に穿孔1か所、背面中央部に未貫通の穿孔痕1か所。光沢あり。

SK253-1 硬玉製垂飾 長さ54mm、幅26mm、厚さ14mm、穿孔径5-7mm、重量28.6g、上部に穿孔1か所。

SK253-2 硬玉製垂飾 長さ43mm、幅23mm、厚さ7mm、穿孔径4-6mm、重量13.0g、上部に穿孔1か所。

SK295-1 硬玉製大珠 長さ56mm、幅31mm、厚さ22mm、穿孔径5-10mm、重量72.8g、中央よりやや上部に穿孔1か所。穿孔の入口・出口で径に差がある。光沢あり。

埋没谷出土 硬玉製大珠 長さ71.5mm、幅38mm、厚さ23mm、94.7g、中央よりやや上部に穿孔1か所。穿孔の入口・出口で径に差がある。

堀米A遺跡は、標高30mほどの那珂台地の北東部、久慈川水系にあり、周辺はかつて真崎浦、細浦、阿漕ヶ浦といった太平洋に面した入江に囲まれており、豊富な海産資源が得られた土地であったろうと想定される。遺跡からは、縄文時代早期、前期の土器片、古墳時代以降の遺構も出土しているが、基本は、縄文時代中期中葉の竪穴住居や土壙群、土器群が主体となっている。貝層も見つかっている。

堀米A遺跡からは、縄文時代中期の住居址や数多くの土壙群が検出されており、3次にわたる発掘調査では、縄文時代の住居址4軒、土壙573軒などが検出されている。このような貯蔵穴が明らかに多い集落のありかたは、縄文時代中期のこの地域に多く見られる形態である。良好な阿玉台式土器、大木8A式土器、客体的に馬高式土器片が出土している。土器は、栃木北部の状況と類似した形式を持っており、福島の大木式の影響を強く受けた文様や器形を示している。

堀米A遺跡は、縄文時代中期の典型的な環状集落である。遺跡全体の調査ではないにもかかわらず、その調査範囲から5点の硬玉製（翡翠）大珠・垂飾が、墓壙から出土していることが明確な極めて珍しい事例である。これらの硬玉製品が、墓にともなった副葬品として利用されたことが明らかである。硬玉の産地は、新潟県の小滝川と青海川を含めて糸魚川水系が有名である。他にも、鳥取県の若桜や岡山県の大佐などが知られている。堀米A遺跡出土の硬玉製大珠については、蛍光X線による分析により、糸魚川水系の硬玉の可能性が指摘された。この一群の資料は、縄文時代中期における硬玉製大珠の使用

という呪術的な精神世界に結びつく事例であるだけでなく、縄文時代中期の物質移動や交易のネットワークを詳らかにするうえでも、学術的な価値が非常に高い。

SK240-1、SK253-1、SK253-2、SK295-1 の4点は、縄文時代中期中葉の土壌からそれぞれ出土している。この4点に加え、埋没谷からも1点硬玉製大珠が出土している。出土した土器型式（興津式、阿玉台 Ib、II、大木8A式）から、前期から中期に埋没した谷と考えられる。堀米A遺跡出土の5点の硬玉製品は、すべて縄文時代中期中葉に帰属するものと考えられる。SK240は、平面が楕円形土壌、大木8A式期前半の土器が出土している。SK253は、平面形状が円形土壌、縄文時代中期中葉の土器が出土している。SK295は、平面が円形土壌であり、貯蔵穴を墓坑に転用したものか。縄文時代中期中葉の土器が出土している。最後の1点は、埋没谷から出土しているが、ここから出土した土器型式（興津式、阿玉台 Ib、II、大木8A式）から、縄文時代前期から中期に埋没した箇所と考えられる。

歴史的・芸術的価値

硬玉製の大珠・垂飾は、縄文時代の威信財と考えられている。堀米A遺跡からは、明らかに墓壙と考えられる遺構から硬玉製の大珠・垂飾が検出されており、墓において副葬品として利用されたであろうことが明らかだという意味で、考古学的に極めて重要な事例と言える。

遺跡から出土した土器については、福島県中通りの地域の影響が強いと思われる大木8A、8b式のほかに、阿玉台 III、IV式から加曾利 E1 式期の土器の典型的な縄文時代中期中葉の土器が出土している。特筆すべき資料として、SK41 からいわゆる火焰式土器の破片（馬高式）が出土している。堀米A遺跡と同じように、複数（7点）の硬玉製大珠が出土した久慈川水系の常陸大宮市の坪井上遺跡の182号袋状土壌からも、同様の馬高式の土器が出土しており、二つの遺跡に強い関連性を感じさせる。硬玉製品のみならず、馬高式の土器片の存在から、信濃川流域との直接的な交易・交流の姿がみられるとともに、袋状土壌の存在や、大木式の土器や土器の文様の様子から、密接な南東北との結びつきについても強く想起される。

硬玉は、姫川 - 青海川下流域と周辺の海岸部から多くみつき、縄文時代においてその加工遺跡として有名なものが、長者ヶ原遺跡、境A遺跡、寺地遺跡などである。

堀米A遺跡からは、坪井上遺跡と同様に、硬玉製大珠の未成品や加工屑等はみつかっておらず、すでに穿孔された完成品の状態で遺跡に搬入されたものと考えられる。馬高式の土器の搬入経路と考え併せて、北陸とのダイレクトな結びつきを考えることもでき、貴重な学術的意味を有する。

北陸産である馬高式の土器が、太平洋岸の本遺跡へ持ち込まれた搬入経路と考え併せると、北陸とのダイレクトな結びつきを考えることもでき、極めて貴重な学術的意味を有する。個々の大珠の重要性はもとより、複数がひとつの遺跡から出土したコンテクストが重要である。まとまった一群の資料として利活用されることが望ましい。



【写真提供：東海村教育委員会】

参考文献

- 発掘調査報告書（2012）『茨城県那珂郡東海村堀米A遺跡（第1次調査）東海村立照沼小学校建設事業に伴う発掘調査報告書』東海村・東海村教育委員会・株式会社地域文化研究所
- 発掘調査報告書（2012）『茨城県那珂郡東海村堀米A遺跡（第2次調査）東海村立照沼小学校建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』東海村・東海村教育委員会・大成エンジニアリング株式会社
- 発掘調査報告書（2013）『茨城県那珂郡東海村堀米A遺跡（第3・4次調査）東海村立照沼小学校建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』東海村・東海村教育委員会・有限会社毛野考古学研究所
- 瓦吹堅（2012）「茨城県の大珠」『縄文時代のヒスイの大珠を巡る研究』編集 研究代表者 栗島義明
村串まどか（2020）「坪井上遺跡・ヒスイ製大珠の蛍光X線分析」『筑波大学先史学・考古学研究』第31号 71-76頁 筑波大学人文社会科学研究所 歴史・人類学専攻
- 谷口陽子（2020）「(2) 茨城県指定有形文化財 考古資料 考第31号 坪井上遺跡出土硬玉製大珠 7点」『茨城の文化財』58集 6-8頁

（茨城県文化財保護審議会 谷口 陽子 委員）

3 令和4年度に登録された 登録有形文化財

◇令和4年6月29日登録

登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0315	旧岡山酒造養浩園 喜雨亭	明治中期 平成7年 改修	常陸大宮市 高部字宿 3970	1 国土の歴史的 景観に寄与して いるもの
紙や楮の市が開かれた高部に所在する造り酒屋の木造 3階建ての座敷棟。入母屋造りで当初は木羽葺き。2階に 床付き座敷を構えて書画を飾り、接客に用いる。3階は壁 面に看板と色ガラスを嵌めて広告に用い、町のランドマー クとなっている。				



【写真提供 常陸大宮市教育委員会】

◇令和4年6月29日登録

登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0316	谷中家住宅主屋	明治30年 昭和初期 改修	結城郡八千代町 大字坪井字内海道 87-1	1 国土の歴史的 景観に寄与して いるもの
鬼怒川西岸の坪井に所在する農家。寄棟造り茅葺きで軒をせがい造りとし、軒付は新旧の葺殻を市松模様にして意匠を凝らす。内部は土間と六間取りの居室で、さらに北側に下屋で三室を並べる。地域の伝統的な農村景観を形成する民家。				



【写真提供 八千代町教育委員会】

◇令和4年10月31日登録

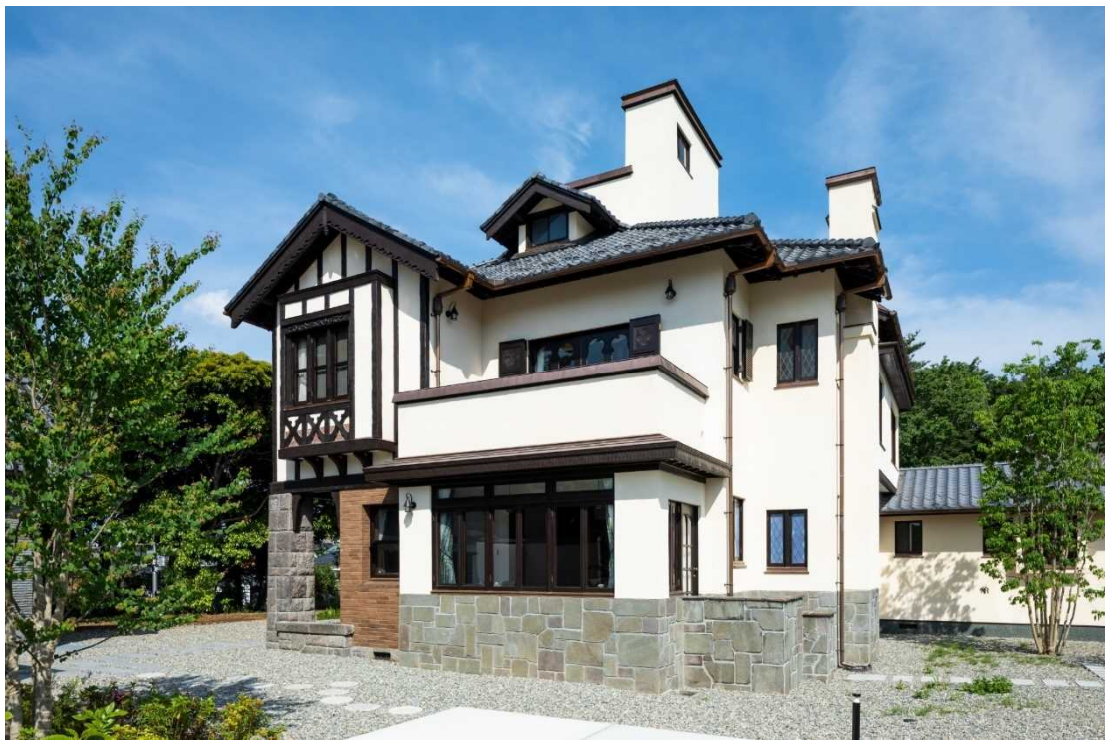
登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0317	富田家住宅主屋	明治前期	笠間市大郷戸 字内川 378	1 国土の歴史的 景観に寄与して いるもの
石材産地の集落に所在する農家の主屋。正面東向きで座敷は庭に南面する。入母屋造棧瓦葺、軒を豪壮な出桁造とする。北側を広大な土間と居間、玄関座敷を介して南側に座敷を三室並べ、最奥は角屋座敷となる。笠間藩主家紋の釘隠や箴欄間など格式高い書院座敷。				



【写真提供 笠間市教育委員会】

◇令和5年2月27日登録

登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0318	旧渡辺甚吉邸主屋	昭和9年/ 令和4年 移築	取手市寺田 字原 5270-8 他	2 造形の規範と なっているもの
<p>もと東京白金台に所在した邸宅。外観は一階を鉄平石積、二階を木部現しとし、内部は広間を中心に食堂、居間、応接間を配す。漆喰と木部の対比が優美で、特に食堂天井の立体装飾は見事。平面計画から細部装飾まで稠密な設計の我が国チューダー住宅の傑作。</p>				



【写真提供 取手市教育委員会】

(登録記念物)

◇令和4年11月10日登録

岡山氏庭園（養浩園）

・所在地：常陸大宮市高部字宿

岡山氏庭園（養浩園）は常陸大宮市高部地区に所在する。高部は主要な街道が交わる地に発展した宿場町で、江戸時代から近代に至るまで、和紙、材木、葉タバコなどの集積地として栄えた。

明治6年（1873）に「花の友」（岡山酒造）を創業した岡山仙太郎（1833－1889）は、自宅と酒蔵の建つ敷地内に明治中頃に3階建ての楼閣「喜雨亭」を建築した。喜雨亭は水戸の偕楽園の好文亭を模して造られたと伝わっており、庭園も同時期に整えられたと考えられている。

住宅、酒蔵、庭園がある敷地は、北側が街道に沿い、東側を和田川、南側を緒川が流れ、南東部で合流する。敷地の西半分に住宅と酒蔵が建ち、東半分が庭園となっている。北辺中央に喜雨亭が建ち、その前に東西方向に飛石が打たれている。喜雨亭を左に見ながら飛石を伝って進むとそのまま園路に繋がり、緩やかに右へ折れて庭門に至る。庭門を潜り数本のウメの古木を見つさらさらに進むと、右手にある西池から石組護岸の流れが延び、そこに架かる石橋を渡ると左から前方へ鉤形に園池が広がる。園池には木橋が渡された中島が浮かび、その奥には緒川が流れ、対岸には切り立った岩山がそびえる。この岩山は園池の取水源にもなっており、岩山の谷水を送水管で酒蔵に引き込み、余った水を西池から流れを通して園池に流すようになっている。

園内にはウメのほか、モミジ類、コウヤマキ、ヒノキ等の高木、ツツジ類、アジサイ等の低木が植えられており、とりわけヤツオツツジ（シロヤシオ）は樹齢約200年と推定されている。

養浩園では、多くの茶会や歌会等が開かれ、商売上の関係者、地元の政治家、文化人等が庭園や喜雨亭から見える岩山の眺望等を楽しんだ。また、庭園は近隣住民にも開放され、人々は季節の花を愛で、冬には凍った園池で子供たちがスケートをして遊んだという。

以上のように、岡山氏庭園（養浩園）は、酒造業を営んだ岡山氏によって明治中頃に造られた庭園で、近代の茨城県における造園文化の発展に寄与した意義深い事例である。

（文化庁文化財第二課「新指定の文化財－記念物－」『月刊文化財』令和4年9月号、第一法規より転載）



西池及び中島

【常陸大宮市教育委員会 提供】

4 国・県指定文化財等一覧

(1) 国・県指定文化財等総数 (令和5年3月31日現在)

国・県指定文化財

区分	種類	国 指 定				県指定	合 計	
		指定文化財	国宝	特別	計			
有形文化財	建造物	重要文化財	32			32	78	110
	絵画		7			7	82	89
	彫刻		15			15	164	179
	工芸品		15	2		17	128	145
	書跡						34	34
	古文書						9	9
	考古資料		5			5	29	34
	歴史資料		3			3	11	14
無形文化財		重要無形文化財	2			2	4	6
民俗文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財	1			1	6	7
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財	3			3	32	35
記念物	遺跡	史跡	30		3	33	57	90
	名勝地	名勝	4			4	5	9
	動物・植物・地質鉱物	天然記念物	8			8	58	66
合 計			125	2	3	130	697	827

国選定重要伝統的建造物群保存地区

名称	所在地
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市

選定保存技術の選定・保存団体の認定

選定保存技術	1	茅採取
保存団体	1	日本茅葺き文化協会

記録作成等の措置を講ずべき無形文化
無形の民俗文化財総数(国選択)

無形文化財	工芸技術	3
無形の民俗文化財	風俗慣習	10
	民俗芸能	9
	民俗技術	1
合 計		23

ユネスコ無形文化遺産

名称	所在地
結城紬	結城市
山・鉾・屋台行事	日立市
伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術—	つくば市

国登録有形文化財・国登録有形民俗文化財・国登録記念物

種 別	数 量	備 考	
有形文化財	建築物	256	家屋・公共建築物等
	土木構造物	13	水路・水槽等
	その他工作物	29	門・煙突・橋梁・擁壁等
	小 計	298	
有形民俗文化財	2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具ほか	
記念物	3	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦 (※) 岡山氏庭園 (養浩園)	

(※) 「岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦」の登録基準は、遺跡関係と名勝地関係の両方。

(2) 国指定文化財等一覧

(令和5年3月31日現在)

ア 国宝

No.	種類	名称・数量	所有者	指定年月日	時代等
1	工芸品	直刀 黒漆平文大刀拵 1口 (附 刀唐櫃 1合)	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 30. 6. 22	奈良～平安時代
刀身長さ 224.0cm、反り 0.7cm。普通の大刀の3振分もある長大な大刀。無銘。「ふつのみたまのつるぎ」と呼ばれる神宝					
2	工芸品	短刀 銘「筑州住行弘 観応元年八月日」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町 9-1 土浦市	昭 32. 2. 19	南北朝時代
師である左文字(さもじ)の作風に近似し、その作風樹立を知る上で観応元年(1350)の年紀は貴重。土浦藩土屋家旧蔵品					

イ 国指定重要文化財

【建造物】

(表中の凡例) 解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
1	鹿島神宮本殿・拝殿・幣殿・石の間 4棟 (附棟札2枚)	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	明 34. 3. 27	江戸初期
祭神は武甕槌大神。常陸国の一の宮。元和5年(1619)徳川秀忠の造営。屋根・塗装修理(平 23～25)				
2	鹿島神宮摂社奥宮本殿 1棟(附棟札1枚)	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	明 34. 3. 27	慶長10年(1605)
旧本殿を元和5年(1619)に移築[棟札]。三間社流造、檜皮葺				
3	佐竹寺本堂 1棟	常陸太田市天神林町 2404 佐竹寺	明 39. 4. 14	室町後期
天文15年(1546)造営。寄棟造、茅葺。江戸時代後期に改造				
4	大宝八幡神社本殿 1棟	下妻市大宝 667 大宝八幡	明 39. 4. 14	天正5(1577)[棟札]
多賀谷尊経の造営。三間社流造。解(明 42)。屋根現状変更(昭 40)				
5	小山寺三重塔 1棟	桜川市富谷 2190 小山寺	明 39. 4. 14	寛正6年(1465)
多賀谷朝経が願主。総高 21.5m。関東以北では最古に属する和様建築。防災(昭 57)・解(平 2)。とち葺				
6	楞嚴寺山門 1棟	笠間市片庭 761-4 楞嚴寺	大 6. 4. 5	室町中期[建築手法]
四脚門。切妻造、茅葺。禅宗様式。解(大 9)。屋根修理(平 15)				
7	西蓮寺仁王門 1棟	行方市西蓮寺 504 西蓮寺	大 6. 4. 5	天文12年(1543)[柱盤墨書]
安政9年移築。三間一戸楼門(二階は寛政頃撤去)。寄棟造。解(昭 34)				
8	西蓮寺相輪櫓 1棟(附棟札1枚)	行方市西蓮寺 504 西蓮寺	大 6. 8. 13	弘安10年(1287)
元寇の弘安の役を記念して建立。錫杖のような形に特色。解(明 36、昭 51、平 17)				
9	八幡宮本殿 1棟	水戸市八幡町 8-54 八幡宮	昭 29. 9. 17	慶長3年(1598)
和様に禅宗様を混用し地方色濃厚。入母屋造、とち葺(平 7～11 解体時に柿葺から変更)。解(平 7～11)				

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
10	旧弘道館（正庁・至善堂・正門附塀） 3棟	水戸市三の丸1-6 (管) 茨城県	昭39.5.26	天保12年(1841)
	正庁・至善堂とも書院造建築の正統をひく、大規模な藩校遺構。正庁自・半解(昭37)			
11	薬王院本堂 1棟(附厨子1基、附棟札2枚)	水戸市元吉田町682 薬王院	昭41.6.11	享禄2年(1529) [囊股墨書]
	大型の密教系七間堂。入母屋造、茅葺銅板葺。解(昭43~45)			
12	鹿島神宮楼門 1棟(附旧雇十字柄2組)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭41.6.11	寛永11年(1634)
	三間一戸(二階建)。入母屋造、銅板葺。解(昭16)、塗(昭49・昭62~平元・平4)、部(平6)			
13	坂野家住宅(主屋、表門) 2棟	常総市大生郷町2037 常総市	昭43.4.25	江戸中~後期
	主屋:豪農住宅。茅葺。解(平14~17)。防災設備工事(平17)表門及び塀:江戸後期の薬医門。切妻造、茅葺			
14	旧飛田家住宅 1棟	古河市長谷町38-18 古河市	昭43.4.25	江戸中期
	旧金砂郷町の飛田家住宅主屋を古河総合公園内に移築復原(昭50)。古い曲屋形式。寄棟造、北面土庇附属、茅葺			
15	中崎家住宅 1棟	水戸市鯉淵町2897 個人	昭43.4.25	元禄元(1688) [土台墨書]
	地侍の系譜をひく農家の直屋。寄棟造、茅葺。解(昭49)			
16	椎名家住宅 1棟	かすみがうら市加茂4148 個人	昭43.4.25	延宝2年(1674)
	現存する東日本最古級の民家、直屋形式。寄棟造、茅葺。解(昭46)。屋根修理(平24)			
17	塙家住宅(主屋・土間) 2棟	笠間市安居2009 個人	昭51.2.3	江戸後期
	現状は曲屋と同じ外観だが当初は主屋と釜屋が別棟。主屋:寄棟造、茅葺。半解(昭56)			
18	山本家住宅 1棟	神栖市奥野谷4281 個人	昭51.2.3	江戸中期
	あみもと 網元名主の家。曲屋形式。寄棟造、茅葺。解(平5)。部(平24)			
19	平井家住宅 1棟	稲敷市柴崎155 個人	昭51.2.3	元禄頃 [伝承]
	17世紀末の民家建築。せがい造りの軒や二重梁の小屋組に特色。茅葺。解(平11~14)			
20	大塚家住宅 1棟	つくば市栗原835 個人	昭51.2.3	江戸中期
	平面構成が整形四間取りなど、新しい民家形式への移行段階。寄棟造、茅葺。屋根葺替(平2)			
21	旧茨城県立太田中学校講堂 1棟	常陸太田市栄町58 茨城県	昭51.2.3	明治37年 [学校沿革誌]
	旧制中学校の講堂、駒杵勤治の設計。木造。建築面積296.7㎡。一階建、棧瓦葺。南面玄関ポーチ、東・西面出入口庇付。各鉄板葺			
22	旧茨城県立土浦中学校本館(附棟札1枚) 1棟	土浦市真鍋4-4-2 茨城県	昭51.2.3	明治37年 [棟札]
	本格的洋風学校建築の一部。木造。建築面積987.9㎡。一階建、天然スレート葺。駒杵勤治の設計。屋根葺替(昭42カラーアスベストコロニアル葺・平29天然スレート葺)。現状変更(平29フィニアル復原等)			
23	鹿島神宮仮殿 1棟	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭51.5.20	元和5年(1619) [方立墨書]
	元和造當時の社殿の一つ。本殿の造営に際して神霊を仮安置するための建物。入母屋造、檜皮葺。解(平9)			
24	竜禅寺三仏堂 1棟	取手市米ノ井467 竜禅寺	昭51.5.20	永禄12年(1569)以前 [納札]
	和様に禅宗様が混じる。向拝部分後補。寄棟造、茅葺。半解(昭61)。茅屋根修理(平18)			

No.	名 称 ・ 数 量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
25	善光寺楼門 1棟	石岡市太田 940-1 善光寺	昭 58. 12. 26	室町後期
小田氏の創建。三間一戸。寄棟造、茅葺。解・防災設備工事（平7）。環境整備（止水壁工事、平14）。葺替（令2）				
26	笠間稲荷神社本殿 1棟（附 棟札1枚）	笠間市笠間 39 笠間稲荷神社	昭 63. 1. 13	万延元年(1860) [棟札]
本殿及び旧拝殿よりなる。社殿全体を覆う豊かな彫り物（江戸末期流行の立川流大工の技）				
27	佛性寺本堂 1棟（附 旧露盤1個）	水戸市栗崎町 1984 佛性寺	昭 63. 1. 13	天正 13 年(1585) [隅木墨書]
側柱・入側柱とも円柱8本を立てた八角円堂。一重、茅葺。現状変更（平26 瓦葺から茅葺に戻す）				
28	横利根閘門 1構	稲敷市西代地先 国土交通省	平 12. 5. 25	大正 10 年(1921)
横利根川と利根川の合流点近くにある煉瓦造複閘式閘門。土木技術史上、煉瓦造閘門の一つの到達点を示す。利根川改修工事における代表的土木構造物				
29	来迎院多宝塔 1基	龍ヶ崎市馴馬町 来迎院	平 18. 12. 19	弘治 2 年(1556) [宝珠銘]
三間多宝塔。柿葺。細部に禅宗様。室町期の北関東における寺院建築の特徴を示す。解（平10～12）				
30	シャトーカミヤ旧醸造場施設 3棟	牛久市中央 3-20-4 オエノンホールディングス株式会社	平 20. 6. 9	明治 36 年(1903)
明治中期の本格的な煉瓦造ワイン醸造所の主要部がほぼ完存しており、高い歴史的価値がある。災害復旧（平23～27）				
31	石岡第一発電所施設 3所、3基、3棟	高萩市大字横川 東京発電株式会社	平 20. 12. 2 (平23. 10. 25水 槽解除)	明治 44 年 (1911) 本館変電室 大正 5 年 (1916) 取水堰堤、沈砂池 大正 12 年(1923)
施設を構成する本館。橋梁等の類型を異にする構造物全般にわたり鉄筋コンクリート技術を用いたわが国で最初の発電所施設であり、中でも本館はわが国に現存する最古級の鉄筋コンクリート造建築物として貴重である。				
32	内外大神宮内宮・外宮・御遷殿 3棟 (附 内宮御門 1棟、 外宮御門 1棟)	筑西市小栗 内外大神宮	平 21. 12. 8	内宮・外宮：延宝 7 年 (1679) 御遷殿：天正 2 年 (1574)
両本殿は、本格的な神明造三間社本殿で、内宮、外宮の本殿二棟を並立させる社殿形式の古例として重要である。解（平7～8）。上屋設置（平12）				

【絵画】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	制作時代
1	紙本著色 拾遺古徳伝 9巻 (東京国立博物館寄託)	那珂市瓜連 1221 常福寺	明 36. 4. 15	正安 3 年 (1301)
親鸞の遺弟覚如が常陸門徒のために起稿した宗祖親鸞の拾遺				
2	紙本著色 聖徳太子絵伝 1巻	那珂市本米崎 2270 上宮寺	大 4. 3. 26	鎌倉末期 (推定)
顕如から賜ったと伝える。詞書1段・絵14段。大和絵の伝統				
3	絹本著色 法然上人像 1幅 (東京国立博物館寄託)	那珂市瓜連 1221 常福寺	大 5. 3. 24	鎌倉後半
法然が曲ろく（僧が用いる椅子）上に座す形式は珍しい。				

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	制作時代
4	絹本著色 十六羅漢像 16 幅 (茨城県立歴史館寄託)	龍ヶ崎市若柴町 866 金竜寺	大 6. 4. 5	鎌倉末期
道元持ち帰りといわれるが、宋代李竜眠様を学んだわが国の作か。				
5	紙本著色 拾遺古徳伝 (残闕) 1 巻	銚田市鳥栖 1013 無量寿寺	大 6. 4. 5	正安 3 年 (1301)
覚如によって撰述された拾遺古徳伝の一つ。慶長 13 年 (1608) 火災に遭遇				
6	絹本著色 高峰和尚像 1 幅 庚寅絶岸可湘の讚及甲午王剛中の賛がある 絹本著色 復庵和尚像自賛 1 幅 附絹本著色 中峰和尚像 1 幅 (土浦市立博物館寄託)	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 24. 2. 18	室町時代
頂相 (肖像画)。法雲寺の開基は中峯。弟子の復庵が道場を建立。高峰は 13 世紀中国の人。小田治久が後光厳天皇の命により七堂伽藍を創建する。				
7	絹本著色 聖徳太子絵伝 4 幅 (東京国立博物館寄託)	坂東市みむら 1793 妙安寺	昭 43. 4. 25	鎌倉末期
太子の事跡場面を自由に配置した掛幅形式の大和絵系譜の絵伝				

【彫刻】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	木造 薬師如来及両脇侍像 3 軀 (附 銅造胎内仏 1 軀)	城里町石塚 1423 薬師寺	明 44. 8. 9	鎌倉初期
寄木造、漆箔。中尊坐像高 137.8cm、日光 170.8cm、月光 171.2cm				
2	木造 浮彫如意輪観音像 1 面	城里町上入野 3912 小松寺	明 44. 8. 9	平安時代か唐代
木造・一部彩色。共木で浮き彫り精巧。縦 8.5cm、横 7.3cm				
3	木造 薬師如来坐像 1 軀	常陸太田市下利員 957 西光寺 (管理団体 常陸太田市)	明 44. 8. 9	平安末期 (平 17~18 修理)
寄木造、漆箔。当初の光背、九重蓮華座あり。定朝様。像高 143.7cm				
4	木造 観世音菩薩立像 (寺伝延命観音像) 1 軀 (附 前立尊 1 軀)	桜川市本木 1 楽法寺	明 44. 8. 9	平安前期
一木造、彩色剥落、翻波式衣文。前立像は同形八臂像で鎌倉時代				
5	木造 薬師如来坐像 1 軀	笠間市来栖 2696 岩谷寺	大 3. 4. 17	鎌倉初期
寄木造、漆箔、等身坐像。光背当初。台座鎌倉中期。定朝様。像高 84.8cm				
6	木造 薬師如来立像 1 軀 建長五年七月藤原時朝ノ銘アリ	笠間市来栖 2696 岩谷寺	大 3. 4. 17	鎌倉中期
寄木造、漆箔、玉眼、像高 185cm。像は大ぶり螺髪を旋毛形に彫出				
7	木造 聖徳太子立像 1 軀 (太子堂安置)	水戸市酒門町 2056 善重寺	大 4. 8. 10	鎌倉末期
上質顔料による盛り上げ彩色。十六歳孝養太子像。像高 132.5cm				
8	木造 阿弥陀如来坐像 1 軀 胎内ニ応長二年四月十五日修理ノ銘アリ	茨城町鳥羽田 656 円福寺	大 4. 8. 10	鎌倉初期
寄木造、漆箔、定朝様。胎内に応長 2 年 (1312) の修理銘、像高 84.3cm				
9	木造 不動明王及二童子立像 3 軀	つくばみらい市板橋 2370 不動院	大 4. 8. 10	平安末期
寄木造、古色。3 尊とも衣文浅く面相も誇張なく温雅。像高 100cm				
10	木造 釈迦如来立像 1 軀	銚田市大蔵 113 福泉寺	大 5. 8. 17	鎌倉末期
寄木造、素地。螺髪を縄状に巻く。平行線状の衣文。像高 165.5cm				

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
11	木造 薬師如来坐像 1 軀	土浦市下高津 2-10-22 常福寺	大 9. 8. 16	平安末期
寄木造、漆箔。量感のある体部などに特色。像高 121cm				
12	木造 千手観音立像 1 軀	笠間市片庭 775 楞嚴寺	大 9. 8. 16	鎌倉中期
背面に建長四年七月藤原時朝ノ銘アリ 寄木造、漆箔、玉眼。鎌倉地方様式の好例。像高 193. 9cm				
13	木造 弥勒仏立像 1 軀	笠間市石寺 429 弥勒教会	大 9. 8. 16	鎌倉中期
像内に宝治元年四月、藤原時朝等の銘がある 寄木造、漆箔、玉眼。運慶開始の様式に宋風を加味、像高 175. 2cm				
14	木造 観音菩薩立像 1 軀	筑西市中館 522 観音寺	大 11. 4. 13	鎌倉末期
(寺伝延命観音像) (観音堂安置) 像内に貞治二年の修理銘がある 寄木造古色彫眼。延命観音として知られる宋風の六臂像。 像高 102. 2cm。名称変更 (昭 39. 5. 26)				
15	鉄造 阿弥陀如来立像 西念、良覚作 1 軀	常陸太田市中染町 23 中染町 (管理団体 常陸太田市)	平 26. 8. 21	鎌倉時代
背面に弘長四年四月、大大工権守入道西念、大仏師日向房良覚等の陽鑄銘あり 像高 164cm。大きさや鑄上がりの良好さから鉄仏の代表作。原型の像が残り、当時の鑄造技術を知る上でも貴重				

【工芸品】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	太刀 (銘則包作・附 糸巻太刀拵) 1 口	水戸市宮町 2-5-13 東照宮	明 44. 4. 17	鎌倉中期
(茨城県立歴史館寄託) 長さ 76. 6cm、反り 3. 0cm 強。福岡一文字派名工の作				
2	銅鐘 1 口	潮来市潮来 428 長勝寺	明 44. 8. 9	元徳 2 年 (1330)
元徳庚午十月ノ銘アリ (附 鐘銘拓本 1 巻) 銘文刻字の勝れた名鐘。大檀那北条高時。大施主は千葉氏と記載				
3	太刀 銘吉宗 (附 糸巻太刀拵) 1 口	つくば市筑波 1 筑波山神社	大 7. 4. 8	鎌倉中期
(東京国立博物館寄託) 長さ 71. 2cm、反り 2. 3 cm。作者は福岡一文字派の名工				
4	太刀 銘備州長船家助応永廿一年二月日 1 口	つくばみらい市南太田 個人	大 9. 4. 15	室町時代
長さ 73. 6cm、反り 3. 2cm。応永 21 年 (1414) の作				
5	銅鐘 1 口	土浦市大手町 4-16 等覚寺	大 9. 8. 16	鎌倉初期
建永年中筑後入道尊念ノ銘アリ 八田知家が建永年間につくらせた梵鐘。鐘の銘文では本県最古				
6	銅鐘 1 口	土浦市宍塚 1461 般若寺	大 9. 8. 16	建治元年 (1275)
建治元年八月大工丹治久友等ノ銘アリ 有名な鑄物師丹治久友作。鎌倉時代の典型的な鐘の形をもつ				
7	金銅板両界曼荼羅 2 面	利根町布川 3004 徳満寺	昭 11. 5. 6	建久 5 年 (1194)
建久五季六月十三日筑後国清楽寺ノ銘アリ 押し出し、毛彫りが施された金銅薄板の両界曼荼羅。修理 (平 15) (東京国立博物館寄託)				
8	太刀 銘「備州長船住景光」 1 口	つくば市小野川 個人	昭 13. 7. 4	鎌倉時代
長さ 2 尺 4 寸 (約 72 cm)、反り 8 分 (約 2. 4 cm)				
9	太刀 銘「守家造」 1 口	土浦市大和町 9-1 土浦市	昭 25. 8. 29	鎌倉中期
(土浦市立博物館保管) 華やかな乱れ刃を焼く畠田一派の名匠。土浦藩土屋家旧蔵品				

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
10	太刀 銘「 ^{のぶふさ} 信房作」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25.8.29	鎌倉初期
古備前と古一文字にみられる信房の作品。土浦藩土屋家旧蔵品				
11	太刀 銘「 ^{つねつぐ} 恒次」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25.8.29	鎌倉初期
古青江派の代表鍛冶で同派中屈指の優品。土浦藩土屋家旧蔵品				
12	短刀 銘「 ^{くにみつ} 国光」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭28.3.31	鎌倉後期
短刀の名手、新藤五国光の作品。土浦藩土屋家旧蔵品				
13	^{あじろおい} 網代笈 1背	桜川市西小壠1677 月山寺	昭32.2.19	室町時代
箱形の笈で銅製鍍金の観音開き扉あり。背・側面に竹製網代				
14	^{まきえくら} 梅竹蒔絵鞍 1背 (附 四手蒔絵居木 1双)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭34.6.27	鎌倉末頃か
現在知られる蒔絵の和鞍の中では最も古い (追加 昭51.6.5)				
15	^{しゅうろしあし} 朱漆足付盥 4口 六蔵寺二対内、細工根来寺重宗、本願法 印恵範の朱漆銘がある	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	平3.6.21	室町時代
三足付盥で衆僧が罪を懺悔するために行う布薩盥に浄める盥				

【考古資料】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	銅印 印文「静神宮印」 1顆 (附 印笥1合 寛文丁未、源光圀在銘) (茨城県那珂郡静村出土)	那珂市静9 静神社	昭29.3.20	平安時代
印面は方形で「静神宮印」の文字を刻む。印笥は印を納めるもの				
2	埴輪男子立像 1軀 (群馬県藤岡市本郷出土) (茨城県立歴史館寄託)	石岡市高浜880 個人	昭34.12.18	古墳後期
全高139.9cm。つばの広い帽子をかぶった男子像				
3	茨城県武者塚古墳出土品 一括 (上高津貝塚ふるさと歴史の広場保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	平26.8.21	7世紀
太刀や銀の帯状金具など特異な武器及び装身具96点で構成。みずら状の頭髪や経錦を含む(附指定)。古墳時代終末の葬送儀礼や服飾を復元する上で学術的価値が高い。				
4	茨城県泉坂下遺跡出土品 一括 (常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館保管)	常陸大宮市中富町1087-14 常陸大宮市	平29.9.15	弥生時代
再葬墓群からの出土遺物が主体。人面付壺形土器1点、壺形土器53点、甕形土器残欠2点、滑石玉5点、総数61点からなる。東日本における弥生時代特有の再葬墓の在り方を理解する上で良好な資料群				
5	茨城県三昧塚古墳出土品 一括 (茨城県立歴史館保管) (明治大学に一部寄託)	水戸市笠原町978-6 茨城県	平30.10.31	古墳時代
霞ヶ浦に面した沖積低地に築かれた前方後円墳からの出土品一括。金銅製の装飾品や、銅鏡、鉄製の武器・武具、金銅製の馬具など。中でも馬形の立飾りが付く金銅馬形飾付透彫冠は、他に類例がない。東国における首長層の葬送や社会実態を考える上で、学術的価値が高い。				

【歴史資料】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代	
1	鷹見泉石関係資料 文書・記録類 絵図・地図類 書籍類 書状類 絵画・器物類 (古河歴史博物館保管)	3,153 点 686 点 768 点 466 点 912 点 321 点	古河市長谷町 38-18 古河市 下総国古河藩家老鷹見泉石 (1785~1858) の洋学、地理学をはじめとする科学技術などに関する幅広い学問の事跡と譜代大名の家老としての情報収集のあり方を示す資料群。保存修理 (平 17~)	平 16. 6. 8 (平 24. 9. 6 員数変更)	江戸時代
2	一橋徳川家関係資料 文書・記録類 書画・典籍類 器物類 写真 (茨城県立歴史館保管)	4,715 点 4,017 点 224 点 460 点 14 点	水戸市笠原町 978-6 茨城県 各分野の資料が質量ともにまとまって伝存。一橋徳川家の家格、家政、所領経営、または幕政への関与、将軍家や大名家との交際、家の内外における儀礼の実際を窺うことができ、江戸時代の政治史、文化史、古文書学を研究する上で貴重	令 2. 9. 30	江戸時代
3	長久保赤水関係資料 地図・絵図類 文書・記録類 典籍類 書画・器物類 (高萩市歴史民俗資料館保管)	693 点 84 点 279 点 274 点 56 点	高萩市本町 1-100-1 高萩市 長久保赤水の子孫にあたる複数の家に伝来した赤水手沢の一括資料。赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸時代中後期の文化史、地図史等の研究において学術価値が高い。	令 2. 9. 30	江戸時代

ウ 国指定重要無形文化財

No.	名 称	所在地	保持団体・保持者	指定年月日
1	結城紬 (平織)	結城市結城 13-2	本場結城紬技術保持会	昭 31. 4. 24
		真綿から指で紬ぎ出した撚りのない糸をそのまま使用した織物		
2	髹漆 (各個認定)	筑西市玉戸 1596-8	大西 勲 (いわゆる人間国宝)	平 14. 7. 8
		装飾を施さず漆を塗ることだけで仕上げる技法		

エ 国指定重要有形民俗文化財

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日
1	日立風流物 (山車) 1 基	日立市宮田町 神峰神社 (管理団体 日立市)	昭 34. 5. 6
		高さ 15m、幅 3m、長さ 8m、重さ 5t。全国的にも著名な山車。 修理 (平 9~12、平 17)	

オ 国指定重要無形民俗文化財

No.	名 称	所在地・保護団体	指定年月日
1	綱 火	つくばみらい市 綱火保存連合会	昭 51. 5. 4
		空中に縦横十文字に張りめぐらした麻綱の上を花火を仕掛けた人形を自在に操りながら演技する。小張松下流と高岡流がある。	
2	日立風流物	日立市宮田町 日立郷土芸能保存会	昭 52. 5. 17
		神峰神社の大祭のとき、4つの町内から1台ずつ出す山車において、操り人形芝居を繰り広げる。	
3	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町 常陸大津の御船祭保存会	平 29. 3. 3
		豊漁や海上安全を祈願して、巨大な木造船に神輿を載せて陸上を曳行する。	

カ 国指定特別史跡及び史跡

No.	種類	名 称 ・ 数 量	所在地	所有者	指定年月日
1	特別 史跡	旧弘道館	水戸市三の丸1-6 管理団体(大11.11.7)茨城県	鹿島神社ほか	大 11. 3. 8 (史) 昭 27. 3. 29 (特史)
			9代藩主斉昭が天保12(1841)に創立した水戸藩の藩校		
2	特別 史跡	常陸国分寺跡	石岡市府中5-1 管理団体(大12.12.13)石岡市	国分寺	大 11. 10. 12 (史) 昭 27. 3. 29 (特史)
			奈良時代の常陸国の国分寺(僧寺)跡。金堂・講堂の基壇や礎石など残る。		
3	特別 史跡	常陸国分尼寺跡	石岡市若松3-1 管理団体(大12.12.13)石岡市	石岡市	大 11. 10. 12 (史) 昭 27. 3. 29 (特史)
			国分寺の北西500mにある尼寺(法華滅罪之寺)跡		昭 47. 6. 28 (追)
4	史跡	舟塚山古墳 1基	石岡市北根本597ほか 管理団体(大11.5.23)石岡市	文部科学省ほか	大 10. 3. 3
			県下第一の大型前方後円墳(全長186m)。5世紀後半(推定)		
5	史跡	常磐公園	水戸市常磐町及び見川町 管理団体(大11.11.7)茨城県	茨城県ほか	大 11. 3. 8
			天保13年(1842)斉昭が開設した偕楽園を中心に桜山、丸山を含む庭園		
6	史跡	吉田古墳 1基	水戸市元吉田町345、347 管理団体(大11.11.7)水戸市	明利酒類株式会社	大 11. 3. 8 平 22. 8. 5 (追)
			横穴式石室の奥壁に線刻によって武器・武具などが描かれている。		
7	史跡	愛宕山古墳 1基	水戸市愛宕町2132~2134 管理団体(昭9.7.25)水戸市	愛宕神社ほか	昭 9. 5. 1
			那珂川流域中最大の前方後円墳(全長136.5m)		
8	史跡	だいほうじょう 大宝城跡	下妻市大宝、筑西市関館・中村新田 管理団体(昭9.7.25)下妻市、筑西市	八幡神社ほか	昭 9. 5. 1
			南北朝時代の城。南朝方の拠点(下妻氏の居城)		

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
9	史跡	関城跡	筑西市関館 1-99	文部科学省ほか	昭9.5.1
			管理団体(昭9.7.25)筑西市		
南北朝時代の城。南朝方の拠点(関氏の居城)					
10	史跡	小田城跡	つくば市小田 2377 ほか	つくば市ほか	昭10.6.7
			管理団体(昭10.7.26)つくば市		
小田氏の居城。北畠親房が「神皇正統記」を著した地					
11	史跡	新治廃寺跡附上野原瓦窯跡	筑西市及び桜川市	筑西市ほか	昭17.7.21
			管理団体 筑西市、桜川市		昭52.2.3(追)
新治郡衙の北の寺院跡、及び寺院の瓦を供給した窯跡					
12	史跡	佐久良東雄旧宅	石岡市浦須 314-1	個人	昭19.3.7
			国学普及に努めた幕末の志士佐久良東雄が9歳まで生活した家		
13	史跡	新治郡衙跡	筑西市古郡 180 ほか	筑西市ほか	昭43.5.20
			古代の郡役所跡。多数の建物群が検出された		
14	史跡	馬渡埴輪製作遺跡	ひたちなか市馬渡 2881-3 ほか	ひたちなか市	昭44.8.5
			古墳時代後期の埴輪製作遺跡		昭60.8.12(追)
15	史跡	大串貝塚	水戸市塩崎町 1015-2	水戸市	昭45.5.11
			縄文時代前期。シジミを主体の貝塚が3カ所に点在		
16	史跡	虎塚古墳	ひたちなか市中根 3494-1	ひたちなか市	昭49.1.23
			7世紀前半の前方後円墳。横穴式石室に本県随一の彩色壁画		
17	史跡	上高津貝塚	土浦市上高津・中高津・穴塚	土浦市	昭52.10.4
			管理団体(昭53.5.6)土浦市		
縄文時代中期～晩期。5カ所の貝層が環状に並ぶシジミ主体の貝塚					
18	史跡	平沢官衙遺跡	つくば市平沢 353 ほか	つくば市	昭55.12.4
			官衙(役所)跡。規格性をもって多くの掘立柱建物が並ぶ		
19	史跡	広畑貝塚	稲敷市飯出広畑 635-1 ほか	稲敷市	昭57.2.27
			縄文時代後期～晩期。貝層はハマグリなどの貝塚で製塩土器を出土		
20	史跡	鹿島神宮境内附郡家跡	鹿嶋市宮中 2306-1 ほか	鹿嶋市、鹿島神宮	昭61.8.4
			(追 平元.9.22、平11.1.14、平13.1.15、平17.3.2、平20.7.20)		
21	史跡	小幡北山埴輪製作遺跡	茨城町小幡 2735-45 ほか	茨城町	平4.1.21
			古墳時代後期の埴輪製作遺跡		
22	史跡	真壁城跡	桜川市真壁町古城・山尾	桜川市	平6.10.28
			中世から戦国末期までの真壁氏の居城		
23	史跡	陸平貝塚	美浦村馬見山字貝売 391-2 ほか	美浦村	平10.9.11
			縄文中～後期。明治12年に初めて日本人による本格的な発掘調査		
24	史跡	結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡	結城市大字上山川字古屋敷 31 ほか	結城市	平14.9.20
			奈良～室町中期の大寺院跡、及びこの寺院の創建時の瓦を供給した窯跡		平29.10.13(追)

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
25	史跡	<small>こんだかんが</small> 金田官衙遺跡	つくば市金田字吹上 1473-1 ほか	つくば市	平 16. 2. 27 令 2. 10. 6 (追)
奈良～平安時代（8世紀前葉～9世紀中葉）に営まれた古代官衙関連遺跡					
26	史跡	台渡里官衙遺跡群（台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡）	水戸市渡里町字前原ほか	水戸市ほか	平 17. 7. 14 平 23. 9. 21 (追)
奈良・平安時代に営まれた那賀郡衙に関連する正倉院跡及び寺院跡					
27	史跡	水戸徳川家墓所	常陸太田市瑞龍町字瑞龍山 2845 ほか	公益財団法人徳川ミュージアムほか	平 19. 7. 26
管理団体（平 23. 12. 6）公財徳川ミュージアム					
2代藩主徳川光圀が定めた儒教葬の形式で営まれた大規模な大名家墓所					
28	史跡	常陸国府跡	石岡市総社 1-278 ほか	石岡市	平 22. 8. 5
古代常陸国の役所跡。7世紀末から11世紀にかけての高い計画性をもつ建物群の変遷が判明					
29	史跡	<small>にしままご てんあと</small> 西山御殿跡 <small>せいざんそう</small> (西山荘)	常陸太田市新宿町字西山 590 ほか	公益財団法人 徳川ミュージアム	平 28. 3. 1
徳川光圀が元禄4年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観が残されている					
30	史跡	泉坂下遺跡	常陸大宮市泉字坂下 894 ほか	常陸大宮市ほか	平 29. 10. 13
弥生時代中期前葉の再葬墓遺跡。墓域の全貌が判明した貴重な事例。人面付壺形土器をはじめとする出土品 61 点が国指定文化財に指定されている					
31	史跡	瓦塚窯跡	石岡市部原字高芝 604-1 の一部ほか	管理団体 石岡市	平 29. 10. 13
古代常陸国の窯跡（35基）。操業は7世紀前葉から10世紀前葉。常陸国における瓦生産の導入過程から常陸国府・国分寺の造瓦体制を知ることができる。					
32	史跡	<small>ちようじやまかんが</small> 長者山官衙遺跡及び常陸国 <small>ひたちのくに</small> 海道跡	日立市十王町伊師字愛宕脇 3586 ほか	管理団体 日立市	平 30. 10. 15
奈良・平安時代の官衙遺跡。古代官道と思われる道路跡に東接する8世紀中葉から10世紀代の掘立柱建物群と礎石建物群					
33	史跡	磯浜古墳群	東茨城郡大洗町磯浜町字日下ケ塚 2865-8 ほか	管理団体 大洗町	令 2. 3. 10
古墳時代前期から中期初頭の古墳群。前方後円墳2基、前方後方墳1基、円墳1基ほか6基から構成され、関東における古墳の展開を考える上で重要					

キ 国指定名勝

No.	種類	名 称	所 在 地	所有者	指定年月日
1	名勝	常磐公園	水戸市常磐町・見川町	茨城県	大 11. 3. 8
岡山市の後樂園、金沢市の兼六園と並ぶ日本三名園の一つ					
2	名勝	桜川（サクラ）	桜川市磯部 135 ほか	管理団体（大 14. 8. 13） 桜川市	大 13. 12. 9 昭 49. 6. 25（追）
磯部稲村神社の参道をはさんで、約 1 km に及ぶ桜並木。古くは磯部の百色桜					
3	名勝	袋田の滝及び生瀬滝	大子町袋田	管理団体 大子町	平 27. 3. 10
約 1,500 万年前の火山角礫岩層の断崖を流れ落ちる風致の優れた 2 つの滝。 袋田の滝は「四度の滝」の異称をもつ。空海の命名伝説に始まり、近世の水戸藩主、近代の文人墨客等が訪れた風致の優秀な滝					
4	名勝	西山御殿跡（西山荘）	常陸太田市新宿町字西山 590 ほか	公益財団法人 徳川ミュージアム	平 28. 3. 1
徳川光圀が元禄 4 年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観					

ク 国指定天然記念物

No.	名 称 ・ 数 量	所 在 地	管理者	指定年月日	樹勢回復事業等
1	ハマナス自生南限地帯	鹿嶋市大小志崎 527 ほか	鹿嶋市	大 11. 3. 8	
2	いぶき山イブキ樹叢	日立市十王町伊師 2204	日立市	大 11. 10. 12	平 13
3	安良川の爺スギ 1 株	高萩市安良川 1173	八幡宮	大 13. 12. 9	平 14・15
4	白旗山八幡宮のオハツキイチョウ	水戸市八幡町 8-54	白旗山八幡宮	昭 4. 4. 2	
5	大戸のサクラ 1 株	茨城町大戸 1539	茨城町	昭 7. 7. 23	平 9
6	片庭ヒメハルゼミ発生地	笠間市片庭 773、2078	楞厳寺ほか	昭 9. 12. 28	
7	軍鶏（シヤモ）	東京都、茨城県、秋田県、高知県、千葉県、青森県		昭 16. 8. 1	
8	桜川のサクラ	桜川市磯部 135 ほか	桜川市	昭 49. 7. 16	

ケ 国選定重要伝統的建造物群保存地区

No.	名 称	所在地	区 域	面 積	選定年月日
1	桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市	桜川市真壁町真壁字下宿町、字高上町及び字大和町の全域並びに字上宿町及び字仲町の各一部	約 17.6ha	平 22. 6. 29

コ 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財（国選択）

工芸技術

No.	名 称	所在地・保持者	概 要	選択年月日
1	あわのしゅんけい 栗野春慶	東茨城郡城里町栗 稲川 義良（昭 58. 11. 5 死亡） 稲川 昌三（平 10. 1. 8 死亡）	城里町栗に伝わる、透明な漆を塗って器物の木地の木目を透かしてみせる春慶塗の技法を保持	昭 51. 4. 20
2	にしのうちがみ 西の内紙	常陸大宮市諸沢 菊池 五介（平 3. 2. 14 死亡） 菊池 一男（平 16. 3. 31 死亡） 小野瀬角次（平 27. 10. 15 死亡）	地元で生産される那須楮を原料とした手漉き和紙の技術を保持	昭 52. 6. 1
3	ししゅう 刺繍	龍ヶ崎市 相沢吉太郎（昭 58. 12. 6 死亡）	高度な刺繍の技術で、旧武家華族や神官の装束などを手がけた。	昭 53. 3. 25

サ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）

（ア）風俗慣習

No.	名 称	所在地	概 要	選択年月日
1	田植に関する風俗	茨城県内	田植え唄・田植え踊り・田の神祭をはじめ、田植に係る風俗（昭和 42 年記録保存）	昭 30. 3. 2
2	狩猟風俗	茨城県内	野生の鳥獣を捕らえる狩猟に際し受け継がれてきた風俗（昭和 48 年記録保存）	昭 30. 3. 2
3	ふりゅうもの 日立風流物	日立市宮田町	日立郷土芸能保存会（昭和 51 年記録保存）	昭 49. 12. 4
4	盆行事	茨城県内	旧暦 7 月 13 日に祖霊を迎え、16 日に祖霊を送るまでの盆中に行われる行事（平成 12 年記録保存）	昭 52. 5. 19
5	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町	常陸大津の御船祭保存会（昭和 59 年・平成 27 年記録保存） 5 年毎の佐波波地祇神社の祭礼	昭 54. 12. 7
6	おおばたけ 大畑のからかさ万灯	土浦市大字大畑	からかさ万灯保存会（平成 29 年記録保存）	昭 57. 12. 21
7	ごしよこまがたき 五所駒滝神社の祭事	桜川市	五所駒滝神社祭事保存会（平成 28 年記録保存） 世話人制度で運営される夏祭りを中心とした年間の祭礼習俗	昭 61. 12. 17
8	北関東のササガミ習俗	茨城県、栃木県	2 月 8 日と 12 月 8 日のコトヨウカ、あるいは片方に、庭にササガミサマを祭る習俗（平成 16 年調査）	平 12. 12. 25
9	お柘廻しの習俗	福島県、茨城県	柘そのものや粃を入れた柘を神体にして複数の集落が祭祀を引き継いでいく特色ある習俗 (平成 27 年記録保存)	平 21. 3. 11
10	東関東の盆綱	茨城県、千葉県	盆行事の一つで、墓地と家々の間を子どもたちが藁で作った綱を曳いて歩き、先祖の霊を送迎する行事	平 27. 3. 2

(イ) 民俗芸能

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
1	かなきでんがく 金砂田楽	常陸太田市	金砂田楽保存会（昭和 51 年記録保存）	昭 46. 4. 12
2	綱火	つくばみらい市	綱火保存連合会（昭和 51 年、同 61 年記録保存）	昭 46. 11. 11
3	真家のみたま踊	石岡市真家	真家みたま踊保存会（昭和 52 年記録保存）	昭 47. 8. 5
4	大串のささらと大野の みろく	水戸市	大串のささらと大野のみろく保存団体連合会	昭 48. 11. 5
5	鹿島の祭頭祭 <small>さいとうさい</small>	鹿嶋市、神栖市	祭頭囃保存会（昭和 55 年記録保存） ----- 鹿嶋神宮で毎年 3 月 9 日に行われる春を告げる勇壮な祭り	昭 51. 12. 25
6	あんば囃子	稲敷市	あんば囃子保存会 ----- 航海・漁撈の神として信仰を集めた大杉神社に伝わる囃子	昭 53. 1. 31
7	那珂湊の獅子とみろく	ひたちなか市	六町目の獅子保存会、元町のみろく保存会 ----- (昭和 57 年、昭和 58 年記録保存) 毎年 8 月末に行われる天満宮祭礼の御神幸行列に供奉する。	昭 55. 12. 12
8	龍ヶ崎の撞舞 <small>つぐまい</small>	龍ヶ崎市	撞舞保存会（平成 24 年記録保存） ----- 八坂神社祇園祭最終日、高い柱に登り様々な曲芸を演じる	平 11. 12. 3
9	鹿島みろく	鹿嶋市	保護団体なし（平成 25 年記録保存） ----- 太鼓を伴奏に鹿島信仰にかかわる歌を歌ったり、歌に合わせて踊ったりする民俗芸能	平 21. 3. 11

(ウ) 民俗技術

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
1	霞ヶ浦の帆引網漁の技 術	土浦市、かすみが うら市、行方市	土浦帆曳船保存会、霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存 会、行方市帆引き船保存会 ----- 折本良平が明治初期に考案。複数の布を繋いだ大きな一枚帆で風を受け、 風力を利用して船体を横滑りさせながら、袋状の網を曳いて漁獲する漁撈 技術 <small>ぎょろう</small>	平 30. 3. 8

シ 選定保存技術の選定・保存団体の認定

No.	選定保存技術	保 存 団 体			選定・認定 年月日
	名 称	団体名	代表者	所在地	
1	茅採取	一般社団法人日本茅葺き文化協会	代表理事 安藤 邦廣	つくば市北条	平 30. 9. 25
	茅採取は、茅葺きに用いるためのススキやヨシなどを育成し、採取する技 術。茅刈り、茅立て、茅選り <small>すく</small> という一連の作業を手際よく行う。同協会は、 「ふるさと文化財の森」に設定されている高エネルギー加速器研究機構茅 場において、同技術の保存・伝承に尽力している。				

(3) ユネスコ無形文化遺産一覧

No.	名 称 等	概 要	登録年月日
1	結城紬（茨城・栃木）	結城紬は、結城市及び栃木県小山市を中心に製織されている。糸はすべて真綿から手つむぎしたもののみを使用し、 ^{かすり} 縞模様は手くびりにより、織りには ^{たていと} 経糸を腰で吊る織機を用いるなど、伝統的な技法を継承している。古代より受け継がれてきた技術と文化が世界に認められた。	平 22. 11. 16
2	山・鉾・屋台行事 〔日立風流物〕	地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となって執り行う「山・鉾・屋台」の巡行を中心とする祭礼行事。平成 21 年に無形文化遺産に登録された日立風流物（茨城）、京都祇園祭の山鉾行事（京都）に、国指定重要無形民俗文化財 31 件を追加し、計 33 件の行事として平成 28 年に拡張登録された。	平 21. 9. 30 平 28. 11. 30
3	伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術— 〔茅採取〕	古代以来途絶えることなく伝統を受け継ぎながら、工夫を重ねて発展してきた 17 件の国選定保存技術。自然素材を建築空間に生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、建築当初部材と取り替える新材との調和や一体化を実現する高度な技術が含まれている。	令 2. 12. 17

(4) 県指定文化財一覧

ア 有形文化財

【建造物】

(表中の凡例) 解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
1	三重塔 1棟	桜川市真壁町椎尾 3178 薬王院	昭 30. 6. 25	宝永元年（1704）再建。棟梁桜井瀬左衛門
2	逢善寺仁王門 1棟	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 32. 6. 26	万治年間。東京日枝神社より移築（明2）。 解（昭50）
3	大生神社本殿 1棟	潮来市大生 814 大生神社	昭 32. 6. 26	江戸中期。銅板葺。解（昭48～49）
4	厨子 1基	稲敷市神宮寺 146 神宮寺	昭 33. 3. 12	室町末期。本瓦型板葺。解（平2）
5	長勝寺本堂 1棟	潮来市潮来 428 長勝寺	昭 33. 3. 12	元禄年間。禅宗建築。入母屋造、茅葺。 内部土間。解（昭56～60）
6	長勝寺楼門 1棟	潮来市潮来 428 長勝寺	昭 33. 3. 12	桃山期に建立し、移築か。二重二階門。 解（昭56～60、銅板葺に変更）
7	旧水海道小学校玄関 1棟	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 33. 3. 12	明治14年（1881）建築。移築復原（昭48）
8	八坂神社本殿 1棟	つくば市玉取 2617 八坂神社	昭 34. 5. 22	宝永年間。流造
9	鹿島神社本殿 1棟	桜川市真壁町上谷貝 1390 鹿島神社	昭 34. 5. 22	江戸中期。茅葺。屋根（平19）
10	薬王院仁王門 1棟	水戸市元吉田町 682 薬王院	昭 34. 5. 22	貞享期の八脚門。解（平元～3） 自屋根（平25）
11	石造祥光寺多宝塔 1棟	桜川市本木 78 祥光寺	昭 35. 3. 28	建仁2年（1202）。石造
12	不動院三重塔 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭 35. 12. 21	安永5年（1776）。瓦棒銅板葺。解（平7）
13	石造五輪塔 1棟	つくば市小田 小田中部区	昭 37. 10. 24	天文7年（1538） [刻銘]
14	石造五輪塔 1棟	かすみがうら市山本 かすみがうら市	昭 39. 7. 31	天文14年（1545） [銘]
15	不動院本堂 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭 40. 2. 24	安永年間。重層の密教本堂
16	国王神社本殿 1棟	坂東市岩井 951 国王神社	昭 41. 3. 7	天和3年（1683）の流造。茅葺
17	巖島神社本殿 1棟	鉾田市子生 877 巖島神社	昭 43. 3. 28	元禄年間の禅宗様系
18	石岡の陣屋門 1棟	石岡市総社 1 石岡市	昭 43. 9. 26	文政11年（1828）。府中藩陣屋門。解（平15）
19	観音寺本堂 1棟	潮来市上戸 624 観音寺	昭 44. 3. 20	室町中～末期。寄棟造、茅葺。解（平10）
20	阿弥陀堂本堂 1棟	常陸太田市大里町 3708 来迎院（管理責任者 大里町）	昭 44. 3. 20	享保3年（1718）。方形造、茅葺 屋根（平29）
21	阿弥陀堂楼門 1棟	常陸太田市大里町 3708 来迎院（管理責任者 大里町）	昭 44. 3. 20	宝暦10年（1760）。入母屋造、茅葺 屋根部（平25）

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
22	笠間城櫓 1棟	笠間市笠間 323 真浄寺	昭 44. 12. 1	江戸末期。笠間藩物見櫓。廃城の際に移築(明 10)
23	旧茂木家住宅 1棟	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 45. 5. 28	江戸中期。旧牛堀町から移築復原(昭 48)。茅葺。屋根(平 11)
24	旧所家住宅 1棟	潮来市日の出 4-7 潮来市	昭 45. 5. 28	18世紀後半。桂村から移築復原(昭 47)。茅葺。銅板葺覆屋
25	阿弥陀堂 1棟	行方市羽生 745 万福寺	昭 45. 9. 28	貞享 4 年(1687)。茅葺。屋根(平 25)
26	仁王門 1棟	行方市羽生 745 万福寺	昭 45. 9. 28	天正年間。八脚門。茅葺。逢善寺から享保 9 年(1724)に移築[伝承]。屋根(平 25)
27	西光院本堂 1棟	石岡市吉生 2734 個人	昭 45. 9. 28	寛政 3 年(1791)。懸造、銅板葺。半解(昭 47)
28	大洗磯前神社本殿・拝殿 2棟	大洗町磯浜町 6890 大洗磯前神社	昭 45. 9. 28	本殿：元禄期、拝殿：江戸中期 塗装(平 18~19)
29	堀江家書院 1棟	常陸太田市大方町 個人	昭 45. 9. 28	江戸末期。御殿風書院、茅葺
30	長勝寺(方丈・書院・玄 関・庫裡・隠寮) 1棟	潮来市潮来 428 長勝寺	昭 46. 3. 29	元禄年間。瓦葺
31	おやまじ 小山寺本堂・仁王門・鐘 楼 3棟	桜川市富谷 2190 小山寺	昭 46. 10. 28	本堂：元禄 10 年(1697)。大修理(平 4~5) 仁王門：享保 16 年(1731)。解(平 23~24) 鐘楼：享保 16 年
32	四脚門 1棟	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 46. 12. 2	室町末期。茅葺。屋根(平 18)。解(平 29~30)
33	前野家住宅 1棟	土浦市永井 694 個人	昭 47. 12. 18	すこや 直屋。文化 3 年(1806) [棟札]
34	やはしら 八柱神社本殿 1棟	桜川市真壁町塙世 968 八柱神社	昭 47. 12. 18	天明期建立。大聖天(歓喜天)を祀る。
35	鈴木家住宅 1棟	那珂市額田南郷 個人	昭 47. 12. 18	貞享 4 年(1687)改築。御殿と呼称。茅葺
36	旧中山家住宅 1棟	古河市鴻巣 1045 古河市	昭 48. 8. 27	17世紀末。坂東市から移築復元(昭 49)
37	富岡家住宅 1棟	土浦市白鳥町 602 個人	昭 49. 3. 31	江戸前期。茅葺。屋根修理(平 22)
38	二十三夜尊堂(旧延方 学校聖堂) 1棟	潮来市辻 197-7 月読神社	昭 49. 3. 31	文化 4 年(1807)。唐様、銅板葺。内田山から移築(明 11)。塗装(平 18)
39	無量寿寺鐘楼 1棟	鉾田市鳥栖 1013 無量寿寺	昭 49. 3. 31	享保 12 年(1727)。茅葺。避雷(昭 57) ・屋根自(平 15)・部自(平 15)
40	無量寿寺山門 1棟	鉾田市鳥栖 1013 無量寿寺	昭 49. 3. 31	元禄頃。銅板葺(当初は茅葺)
41	小野家住宅 1棟	日立市諏訪町 2-18-11 個人	昭 49. 11. 25	18世紀前半。曲屋形式。山横目住宅。茅葺
42	木村家住宅(旧水戸街道 旅籠皆川屋) 1棟	かすみがうら市下稲吉 1393 個人	昭 49. 11. 25	安政 4 年(1857)。水戸街道稲吉宿。 解体(昭 51)
43	不動院楼門 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭 49. 11. 25	元禄年間。瓦棒銅板葺。解(平 20~23)
44	雨引観音本堂 1棟	桜川市本木 1 楽法寺	昭 50. 3. 25	宝永 7 年(1710)。棟梁桜井瀬左衛門。 密教本堂
45	雨引観音仁王門 1棟	桜川市本木 1 楽法寺	昭 50. 3. 25	宝永年間。本瓦葺(明 23 変更。当初茅葺)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
46	旧宍戸城表門 1棟 (附宍戸氏家紋)	笠間市土師 622 個人	昭 51. 7. 5	天保 15 年 (1845)。長屋門形式。棧瓦葺。 明治初移築。大規模修理 (昭 60~61)
47	雨引観音楽法寺東照山王社 殿 (附棟札 2 枚) 1棟	桜川市本木 1 楽法寺	昭 51. 7. 5	享保 12 年 (1727)。解 (平元)。現状変更 (平元。鉄板葺から柿葺へ)
48	雨引観音楽法寺多宝塔 (附棟札 1 枚) 1棟	桜川市本木 1 楽法寺	昭 51. 7. 5	嘉永 6 年 (1853) [棟札]。大規模多宝塔。 部 (昭 56~58)・解 (昭 63)
49	香取神社本殿 1棟	坂東市沓掛 ^{くつかげ} 4124 香取神社	昭 52. 5. 2	18 世紀前期。木羽葺。塗 (平 3)・部 (平 4)
50	鹿島神社本殿 1棟 (附棟札 1 枚)	つくば市大形 鹿島神社	昭 52. 5. 2	延享 2 年 (1745)。柿葺。覆屋は瓦棒トタ ン葺。部自 (平 15・浜床)
51	国王神社拝殿 1棟	坂東市岩井 951 国王神社	昭 52. 7. 18	文化 14 年 (社伝延宝 3 年)。茅葺。現状変 更 (昭 63、銅製グシ)。屋根 (平 15・平 19)。
52	筑波山神社神橋 1棟	つくば市筑波 1 筑波山神社	昭 54. 11. 1	寛永 10 年 (1633)。柿葺。元禄 15 年 (1702) 改修。塗 (昭 63)。部 (令元)
53	筑波山神社境内社春日神社 本殿・日枝神社本殿及両社拝 殿 3棟	つくば市筑波 1 筑波山神社	昭 54. 11. 1	寛永 10 年 (1633) [小屋裏墨書銘]。 もとは柿葺。現状は 3 棟とも瓦棒銅板葺
54	筑波山神社境内社巖島神 社本殿 1棟	つくば市筑波 1 筑波山神社	昭 54. 11. 1	寛永 10 年 (1633)。春日造、柿葺。塗装自 (平 8)
55	逢善寺 ^{ほうぜんじ} 本堂 1棟	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 55. 2. 28	天保年間。密教本堂様式。銅板葺。解 (昭 56~61)
56	逢善寺書院・庫裡 1棟	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 55. 2. 28	文久 2 年 (1862)。豪壮。茅葺。屋根 (平 17)。庫裏屋根 (平 19~20)
57	矢口家住宅 3棟 (附家相図 7 枚)	土浦市中央 1-6-13 個人	昭 55. 12. 25	天保末年。土蔵造、棧瓦葺。部 (昭 55、台 所・食堂など)。屋根部 (平 3)。解 (平 27)
58	旧水戸城薬医門 1棟	水戸市三の丸 3-10-1 茨城県教育委員会	昭 58. 3. 18	桃山末期。茅葺風銅板葺。移築復原 (昭 56)
59	穂積 ^{ほづみ} 家住宅 (主屋 1 棟・長屋 門 1 棟・前蔵 1 棟・衣裳蔵 1 棟、 敷地 4, 172. 71 m ² 、附屋敷図屏風 1 雙) 4棟	高萩市上手綱 2337 高萩市	平元. 1. 25	主屋：寛政元年 (1789)。茅葺 自解 (平 12~15)。自屋根 (平 22)
60	大場家住宅 (主屋 1 棟・表門 1 棟・ 通用門 1 棟、敷地 2, 485. 29 m ² 、附家相図等 2 枚) 3棟	行方市玉造甲 4533 公益財団法人大山守 大場家保存協会	平元. 4. 6	江戸中~後期。大山守住宅。茅葺。解 (平 16 ~20)。主屋：部 (平 2)・屋根 (平 4)。 長屋門：屋根 (平 5・平 30)。通用門：屋根 (平 5・平 30)。現状変更 (平 8、主屋役宅 部脇・厩解体保存)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
61	^{とりのこ} 鷺子山上神社本殿（附棟 札2枚）・随神門（附棟札 1枚） 2棟	常陸大宮市鷺子 3627 鷺子山上神社	平2.1.25	本殿：天明8年（1788） 随神門：文化12年（1815） ともに大修理（明治24）
62	吉沼八幡神社本殿・本殿 覆屋 2棟	つくば市吉沼 1456 吉沼八幡神社	平2.1.25	本殿：貞享2年（1685）〔墨書〕。茅葺 覆屋：慶応3年（1867）。棧瓦葺
63	観音寺本堂・仁王門 2棟 （附宮殿1基・須弥壇1 基・棟札14枚・銘板1枚）	牛久市久野町 2976 観音寺	平3.1.25	本堂：宝永4年（1707）大修理。茅葺形銅 板葺（本堂）。鉄板葺（仁王門）。半解（平 元）
64	^{かなむら} 金村別雷神社本殿・本殿 覆屋（附棟札1枚） 2棟	つくば市上郷 8319-1 金村別雷神社	平3.1.25	正徳元年（1711）
65	綿引家住宅主屋・倉 2棟	水戸市元吉田町 個人	平3.1.25	江戸後期。ともに茅葺
66	^{かもとり} 鴨鳥五所神社本殿 1棟 （附棟札2枚・銘札1枚）	桜川市大泉 1480 鴨鳥五所神社	平5.1.25	室町中期。銅板葺（昭32、茅葺から変更）
67	熊野神社本殿 1棟 （附棟札8枚）	行方市島並 1298 熊野神社	平7.1.23	万治年間。銅板葺
68	旧取手宿本陣染野家住宅 主屋・土蔵 2棟 （附表門1棟）	取手市取手 2-16-41 取手市教育委員会	平8.1.25	寛政7年（1795）。茅葺。 土蔵（昭62・63）、主屋（平4～6）解。 附追加指定表門（平26.1.27）
69	^{がつさんじ} 月山寺書院 1棟	桜川市西小塙 1677 月山寺	平10.1.21	江戸初期。茅葺。自差茅（平10・平13）。 解（平27）
70	羽黒神社本殿 1棟 （附棟札1枚）	筑西市甲 37 宗教法人羽黒神社	平14.1.25	寛永年間。享保年間に大修理。 自屋根修理（平11）
71	上羽黒神社本殿及び拝殿 2棟	筑西市岡芹 968-1 宗教法人上羽黒神社	平14.1.25	本殿・拝殿とも寛永期。 本殿屋根トタン塗装（平18）
72	長禅寺三世堂 1棟	取手市取手 2-9-1 宗教法人長禅寺	平16.1.8	宝暦13年（1763）再建。享和元年（1801）再営〔と もに棟札〕。寛政12年（1800）修理〔擬宝珠刻銘〕
73	旧畑家住宅（麻生藩家老 屋敷記念館） 1棟 （附表門1棟）	行方市麻生 1153-1 行方市	平20.11.17	安政4年（1857）再建〔棟札〕。 屋根葺替、部分修理（平3～5）。 自屋根葺替（平22～23）
74	木村家住宅 1棟	茨城町長岡 229-1 個人	平26.1.27	江戸末期（安政5、6年頃（1858-1859頃））。 自・半解（平17～19）
75	東漸寺観音堂・山門 2棟 （附宮殿1基、棟札1枚）	取手市本郷 3-9-19 宗教法人東漸寺	平27.1.22	観音堂：寛文7年（1667）。茅葺型銅板葺。 自・解（平18～20）。 山門：元禄3年（1690）。茅葺

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
76	佛性寺観音堂・仁王門 2棟 (附観音堂 <small>くうでん</small> 宮殿1基・棟札1枚)	八千代町大字栗山476 佛性寺	平29.12.25	観音堂：延宝8年(1680)。鉄板葺(昭38) 仁王門：安永3年(1774)。棧瓦葺(昭38) いずれれもと茅葺
77	旧土肥家住宅 2棟	ひたちなか市阿字ヶ浦町字千駄切552-13 国営ひたち海浜公園「みはらしの里」 国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所	平30.12.27	主屋：17世紀中期頃 隠居屋：宝永3年(1706) 旧新利根村太田から移築復原(平22)。 茅葺
78	旧小松家住宅 1棟	小美玉市下玉里1831 小美玉市	令元.12.26	18世紀後期。上玉里から移築復原(平9)。 茅葺。曲屋「二つ曲がり」

【絵画】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
1	梵字曼陀羅 1幅	桜川市西小塙1677 月山寺	昭28.7.9	室町初期。刺繍曼茶羅
2	<small>ごだいそんえぞう</small> 五大尊絵像 2幅	常陸太田市玉造町495 愛宕神社	昭30.1.25	鎌倉末期。表装(昭55)
3	絹本曼茶羅 1幅	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30.6.25	鎌倉時代。金剛界曼茶羅
4	<small>ふげんぼさつ</small> 絹本普賢菩薩像 1幅	土浦市文京町1-27 神龍寺	昭30.6.25	室町時代。修理(平9)
5	絹本 当麻曼茶羅 1幅	結城市結城1591 弘経寺	昭32.1.25	鎌倉末期
6	襖絵(紙本) 10幅	結城市結城1591 弘経寺	昭32.1.25	江戸時代宝暦頃。与謝蕪村筆
7	武者肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32.1.25	桃山時代。結城政朝 <small>まさとも</small> 像
8	両部曼茶羅 2幅	桜川市西小塙1677 月山寺	昭32.6.26	文亀2年(1502) [箱書]
9	<small>はるとも</small> 結城晴朝肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32.6.26	慶長年間
10	<small>まさとも</small> 結城政朝夫人肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32.6.26	天文年間。比丘尼姿
11	<small>むせうこくしちんぞう</small> 夢窓国師頂相 1幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32.6.26	室町時代。修理(昭59)
12	<small>がつさん ちんぞう</small> 月山和尚頂相 1幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32.6.26	応永12年(1405)
13	十六羅漢像 16幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32.6.26	<small>りりゅうみん</small> 李竜珉様。修理(昭61~62)
14	<small>と きよひさ</small> 土岐頼英夫人肖像画 1幅	稲敷市下太田79 智心院	昭33.3.12	万治3年(1660)
15	<small>だいがく</small> 太嶽大和尚頂相 1幅	潮来市潮来428 長勝寺	昭33.3.12	元禄年間
16	絹本着色 愛染明王画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34.5.22	鎌倉時代
17	絹本着色 弁財天画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34.5.22	鎌倉末期。八臂 <small>はっぴ</small> 像
18	絹本着色 十一面観音画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34.5.22	鎌倉末期
19	絹本着色 釈迦十六善神画像 1幅	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.13	南北朝時代

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	時 代 ・ 備 考
20	絹本着色 興教大師画 1 幅 像	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 35. 12. 13	鎌倉末期～南北朝初期
21	絹本着色 黄不動明王画像 1 幅	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 35. 12. 13	鎌倉時代
22	絹本着色 御 <small>ごびょう</small> 廟天神画 1 幅	常総市大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35. 12. 13	室町時代
23	絹本着色 神酒 <small>おみきてんじん</small> 天神画 1 幅	常総市大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35. 12. 13	室町時代
24	紙本着色 北野天神縁起絵巻 2 巻	常総市大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35. 12. 13	応永 22 年 (1415) [銘]
25	紙本着色 三十六歌仙絵 36 幅	常総市大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35. 12. 13	室町時代
26	紙本著色 三十六歌仙 (紙本 歌帳を含む) 35 枚	那珂市静 9 静神社	昭 37. 10. 24	しょうげつけんとうぜん 松月軒等善筆 天保年間に 1 枚焼失
27	絹本著色 八景の図 3 幅	筑西市中舘 522 観音寺	昭 37. 10. 24	延宝元年 (1673)。狩野探幽筆
28	絹本著色 十三仏 1 幅	境町西泉田 1326-1 境町教育委員会	昭 37. 10. 24	室町時代か
29	絹本著色 阿弥陀如来像 1 幅	茨城町鳥羽田 656 円福寺	昭 37. 10. 24	鎌倉末期
30	絹本著色 両界曼荼羅 2 幅	古河市小堤 1405 円満寺	昭 38. 8. 23	鎌倉時代
31	絹本著色 来迎弥陀三尊像 1 幅	坂東市岩井 1111 延命寺	昭 38. 8. 23	鎌倉末期
32	絵馬 1 枚	筑西市甲 37 羽黒神社	昭 38. 8. 23	寛永 15 年 (1638)。軍馬絵
33	絹本著色 土井利勝 <small>としかつ</small> 肖像画 1 幅	古河市大手町 7-1 正定寺 <small>しょうじょうじ</small>	昭 39. 7. 31	江戸時代
34	絵馬 1 枚	筑西市岡 <small>おかぜり</small> 芹968-1 上羽黒神社 <small>かみはぐる</small>	昭 39. 7. 31	羽黒神社の絵馬と一対
35	絹本著色 弁財天画像 1 幅	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 39. 7. 31	室町時代。修理 (平 16)
36	絹本著色 涅槃像 1 幅	かすみがうら市中志筑 1353 長興寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 41. 3. 7	室町初期
37	絹本着色 釈迦涅槃像 1 幅	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	宋画の影響。修理 (平 3)
38	紙本着色 小田政 <small>まさはる</small> 治肖像画 1 幅	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	大永 2 年 (1522) [賛]
39	紙本着色 小田氏 <small>うじはる</small> 治肖像画 1 幅	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	天正 16 年 (1588) [賛]
40	絹本色糸 蓮 <small>はすいとおりだし</small> 糸織出六字名号 1 幅	つくば市若栗 498 念向寺 <small>ねんこうじ</small>	昭 44. 3. 20	室町時代。刺繍
41	絹本着色 愛染明王像 1 幅	つくば市中根 530 慈恩寺	昭 44. 3. 20	室町時代
42	絹本着色 阿弥陀如来画像 1 幅	小美玉市与沢 776 個人	昭 44. 3. 20	鎌倉時代か。修理 (平 8)
43	絹本着色 善導大師画 像 1 幅	小美玉市与沢 776 個人	昭 44. 3. 20	鎌倉時代か

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
44	絹本着色 聖徳太子勝鬘経 御講讀図 1幅	小美玉市与沢 776 個人	昭 44. 3. 20	鎌倉時代か
45	絹本着色 金剛界大日如来画像 1幅	大洗町大貫町 802 西光院	昭 44. 3. 20	室町時代
46	絹本着色 両界曼荼羅 2幅	常陸太田市玉造町 495 愛宕神社	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。廃寺明王山弥勒寺 伝来のもの
47	絹本着色 阿弥陀三尊来迎仏 3幅	かすみがうら市宍倉 787 最勝寺	昭 44. 12. 1	鎌倉末期。修理（平 16）
48	来迎の弥陀 1軸	筑西市大字森添島 1107-1 観音院	昭 45. 9. 28	鎌倉中期
49	華山潮来明月舟遊の図 1枚	潮来市辻 1 個人	昭 46. 10. 28	渡辺崋山が榊原家滞在中に描く
50	涅槃図 1幅	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	鎌倉末期。釈迦八相を描く
51	智光曼荼羅 1幅	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	著色金泥画
52	清海曼荼羅 1幅	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	紺地金泥画
53	親鸞聖人画像 1幅	大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	真向御影。修理（平 16）
54	絹本著色 阿弥陀如来来迎図 1幅	日立市宮田町 5-2-22 日立市郷土博物館	昭 49. 3. 31	鎌倉末期か
55	絹本着色 両界曼荼羅 2幅	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町時代。修理（昭 62-63）
56	絹本着色 弘法大師像 1幅	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	修理（昭 63）
57	絹本着色 真言八祖像 8幅	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	修理（昭 56、57、59）
58	絹本着色 十二天立像 12幅	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	修理（昭 60、61）
59	絹本着色 六字経曼荼羅 1幅	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町後期
60	絹本着色 十三仏図 1幅	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町末期
61	絹本着色 釈迦十六善神図 1幅	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	南北朝～室町初期
62	紙本着色 制吒迦童子像 1幅	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町末期
63	紙本着色 両界曼荼羅 2幅	鹿嶋市浜津賀 378 慈眼寺	昭 52. 5. 2	室町時代
64	絹本著色 両界曼荼羅図 2幅	筑西市桑山 1696-1 神宮寺	昭 57. 3. 4	室町前半
65	扁額三十六歌仙絵 14面	石岡市総社 2-8-1 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	文亀 2（1502）～3年
66	紙本著色 滝見観音図 雪村筆 1幅	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 62. 1. 26	天文 11年（1542）前後か
67	絹本著色 如意輪観音像 1幅	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 62. 1. 26	14世紀前半頃
68	絹本著色 滝見観音図 1幅	那珂市下大賀 1145 弘願寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 63. 1. 25	雪村が正宗寺蔵「滝見観音図」 を描いた際に参考にした作品
69	紙本著色 伝真壁道無 1幅	桜川市真壁町真壁 57-1 桜川市	平 11. 11. 25	16世紀後半。真壁久幹を描く

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
70	絹本墨画 芦雁図 立原杏所筆 1幅	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平14.1.25	江戸後期。関東文人画の一人
71	絹本著色 観経十六観变相図 1幅	高萩市本町1-128 大高寺	平14.1.25	高麗14世紀初頭
72	絹本著色 流燈 横山大観筆 1幅	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平16.1.8	明治42年。五浦海岸で制作
73	絹本著色 源頼朝像 狩野洞雲筆 1幅	潮来市潮来428 宗教法人長勝寺	平16.11.25	元禄年間。太嶽の自賛あり
74	紙本著色 釈迦羅漢像 雪村 周継筆 3幅	石岡市柿岡2136 宗教法人善慶寺	平17.11.25	中幅に釈迦と阿難・迦葉、左右幅に五人ずつ羅漢。晩年の作
75	紙本墨画 維摩居士像(附徳川 光圀書状4通 松平頼救跋 1枚) 1幅	銚田市大蔵113 宗教法人福泉寺	平17.11.25	維摩は在家の釈迦の弟子。中世の本格的な水墨画
76	絹本著色 聖徳太子絵 伝 1幅	東海村石神外宿 宗教法人願船寺	平18.11.16	室町初期。略絵伝様式初期の作
77	カルピスの包み紙のある静物 中村彝筆 油絵 麻布1923年 1面	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平18.11.16	本県出身の洋画家中村彝晩年の代表作
78	紙本淡彩 海島秋来 小川 芋銭筆 1幅	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平22.11.18	本県出身の画家小川芋銭晩年の代表作
79	絹本彩色 阿房劫火 木村武山 筆 1幅	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平22.11.18	本県出身の画家木村武山の代表作
80	絹本著色 毘沙門天像 1幅	筑西市黒子214-1 宗教法人東睿山千妙寺	平28.1.21	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺宝
81	絹本著色 日吉山王本地仏曼 茶羅図 1幅	筑西市黒子214-1 宗教法人東睿山千妙寺 (茨城県立歴史館寄託)	平29.1.26	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺宝
82	紙本著色 金山寺図屏風 雪 村周継筆 6曲1隻	笠間市笠間39 笠間稻荷神社	平29.12.25	室町末期。雄大な景観と繊細な建物等を幻想的に描く

【彫刻】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	薬師如来木造 1軀	桜川市西小塙1677 がっさんじ 月山寺	昭28.7.9	鎌倉後期
2	鍍金仏 1軀	水戸市緑町1-2-1 信願寺	昭29.8.18	鎌倉時代。善光寺式像
3	薬師瑠璃光如来像 1軀	桜川市椎尾3178 薬王院	昭30.1.25	鎌倉後期
4	聖徳太子木像 1軀	坂東市みむら1793 妙安寺	昭30.1.25	14世紀後半

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
5	阿弥陀如来像 1 軀	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 30. 1. 25	鎌倉末期。安阿弥様
6	金剛力士像 2 体	坂東市生子 1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	鎌倉時代か
7	御神像 1 軀	つくば市上境 328 体見神社	昭 30. 11. 25	天文年間の修理銘文
8	木造佐白観音坐像 1 体	笠間市笠間 1056-1 正福寺	昭 32. 1. 25	鎌倉半ば。千手観音
9	菩薩像 2 体	桜川市西小墻 1677 月山寺	昭 32. 1. 25	平安後期
10	薬師如来像 1 体	桜川市西小墻 1677 月山寺	昭 32. 1. 25	鎌倉時代。定朝様踏襲
11	十一面観世音菩薩像 1 軀	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 32. 6. 26	鎌倉末期頃
12	阿弥陀如来坐像及両脇侍像 3 軀	潮来市潮来 428 長勝寺	昭 33. 3. 12	鎌倉前期
13	阿弥陀如来立像及両脇侍像 3 軀	行方市羽生 745 万福寺	昭 33. 3. 12	14 世紀前半
14	地藏菩薩立像 1 軀	かすみがうら市戸崎 1300 松学寺	昭 33. 3. 12	平安風の鎌倉時代作か
15	阿弥陀如来坐像 1 軀	牛久市奥原町 2412 願名寺 <small>がんみょうじ</small>	昭 33. 3. 12	13 世紀前半～半ば
16	毘沙門天立像 1 軀	美浦村布佐 1080 美浦村	昭 33. 3. 12	鎌倉時代。修理（昭 62）
17	薬師如来立像 1 軀	美浦村土浦 2060 妙香寺	昭 33. 3. 12	鎌倉時代。480cm
18	釈迦如来立像 1 軀	稲敷市阿波崎 177 満願寺	昭 33. 3. 12	7 世紀後半。金銅仏
19	寝釈迦像 1 軀	稲敷市上根本 3063 阿弥陀寺	昭 33. 3. 12	江戸時代
20	不動明王坐像 1 軀	結城市山川新宿 311-1 大栄寺 <small>だいえい</small>	昭 33. 3. 12	室町時代。修理（平 18）
21	薬師如来坐像 1 軀	行方市西蓮寺 504 西蓮寺	昭 33. 3. 12	平安後期（11 世紀末）
22	観音菩薩立像 1 軀	潮来市大生 750 延命院	昭 33. 3. 12	平安中期
23	増長天立像 1 軀	北茨城市磯原町大塚 135 長福寺	昭 33. 7. 23	平安末期
24	聖徳太子立像 1 軀	常陸大宮市鷲子 2236-1 照願寺	昭 33. 7. 23	十六歳孝養太子像
25	十一面観音菩薩坐像 1 軀	桜川市富谷 2190 小山寺	昭 33. 7. 23	11 世紀。鉦彫像
26	木造狛犬 <small>こまいぬ</small> 2 軀	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	江戸初期
27	懸仏 <small>かけぼとけ</small> 1 軀	稲敷市高田 3548-15 個人	昭 33. 7. 23	銅板製鍍金
28	木造薬師如来坐像 1 軀	水戸市元吉田町 682 薬王院	昭 34. 5. 22	13 世紀後半
29	木造神像 1 軀	常陸太田市西河内中町 239 天満神社	昭 34. 5. 22	鎌倉後期。男神坐像
30	金銅造阿弥陀如来立像 1 軀	土浦市立田町 3-28 浄真寺	昭 34. 5. 22	弘長元年（1261）〔銘〕。善光寺式像
31	木造阿弥陀如来座像 1 軀	桜川市本木 78 祥光寺 <small>しょうこうじ</small>	昭 35. 3. 28	平安末期
32	銅板十一面観音御正体 <small>みしょうたい</small> 1 面	土浦市真鍋 1-15-5 個人	昭 35. 3. 28	線刻
33	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	坂東市辺田 355 西念寺	昭 35. 12. 21	鎌倉初期。修理（平 18）。定朝様
34	木造釈迦如来座像 1 軀	水戸市飯島町 512 福性院	昭 35. 12. 21	13 世紀後半。在地仏師の作
35	木造立木観音菩薩像 <small>たちきかんのんぼさつぞう</small> 1 軀	石岡市吉生 2734 個人	昭 36. 7. 21	12 世紀〔1574 年修理銘〕
36	木造弘法大師像 1 軀	城里町徳蔵 874 徳蔵寺	昭 37. 2. 26	室町時代
37	両界曼荼羅版木 1 面	城里町徳蔵 874 徳蔵寺	昭 37. 2. 26	室町時代
38	金銅阿弥陀三尊像 3 軀	下妻市高道祖 4429 常願寺	昭 37. 2. 26	14 世紀。善光寺式三尊

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
39	浅川獅子頭 3頭	大子町浅川 3903 浅川ささら保存会	昭 37. 2. 26	寛永 7 年 (1630)
40	木造持国天立像 1 軀	北茨城市磯原町大塚 135 長福寺	昭 37. 10. 24	平安末期
41	木造阿弥陀如来三尊像 3 軀	茨城町鳥羽田 656 円福寺	昭 37. 10. 24	徳治 2 年 (1307) [銘札]
42	石造地藏菩薩立像 (石造龕を含む) 1 軀	つくば市小田 4003 小田中部区	昭 37. 10. 24	正応 2 年 (1289) [刻銘]
43	木造釈迦如来三尊像 3 軀	日立市宮田町 5-6-15 大雄院	昭 37. 10. 24	文明 6 年 (1474) [銘]
44	木造大黒天像 1 軀	水戸市河和田町 887 報仏寺	昭 37. 10. 24	室町末期か
45	木造愛宕明神立像 1 軀	筑西市甲 37 羽黒神社	昭 38. 8. 23	鎌倉末期。修理 (昭 37)
46	木造十一面千手観音像 1 軀	かすみがうら市中志筑 須賀神社氏子	昭 38. 8. 23	13 世紀後半
47	石造阿弥陀如来立像 1 軀	かすみがうら市高倉 1387 高倉区	昭 38. 8. 23	元享 4 年 (1324) 造立
48	百体磨崖仏	かすみがうら市上志筑 634 願成寺	昭 38. 8. 23	室町～江戸時代
49	木造大日如来坐像 1 軀	坂東市岩井 1111 延命寺	昭 38. 8. 23	室町時代
50	木造親鸞上人像 1 軀	古河市中央町 2-8-30 宗願寺	昭 39. 7. 31	室町時代
51	木造阿弥陀如来立像 1 軀	つくばみらい市小張 2623 善空寺	昭 40. 2. 24	貞和 2 年 (1346) [銘]
52	木造狛犬 2 軀	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 40. 2. 24	鎌倉時代
53	木造不動明王立像 1 軀	桜川市本木 1 楽法寺	昭 40. 2. 24	永享 12 年 (1440) [銘]
54	木造十一面観音立像 1 軀	石岡市若松 1-8-23 東耀寺	昭 40. 2. 24	鎌倉末期。修理 (平 14)
55	銅造阿弥陀如来三尊像 3 軀	石岡市茨城 1-12-21 万福寺	昭 40. 2. 24	永仁 3 年 (1295) [銘]。善光寺式像
56	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	常陸太田市大里町 3708 来迎院	昭 40. 2. 24	修理 (昭 40)
57	木造毘沙門天立像 1 軀	常陸太田市上宮河内町 3600 菊蓮寺	昭 40. 2. 24	平安末期
58	木造女神像 1 軀	常陸太田市上宮河内町 3600 菊蓮寺	昭 40. 2. 24	平安末期
59	木造地藏菩薩坐像 1 軀	古河市鴻巣 396-6 個人	昭 41. 3. 7	室町時代。左目半眼
60	木造不動明王坐像 1 軀	行方市芹沢 505 法眼寺	昭 41. 3. 7	永禄 13 年 (1570) [銘]
61	金銅仏多聞天 1 軀	かすみがうら市東野寺 763-11 地福院	昭 42. 3. 30	鎌倉中期。像高 15.5cm
62	木造阿弥陀如来立像 1 軀	かすみがうら市新治 981-3 中郷谷区	昭 42. 3. 30	鎌倉時代。在地仏師の作
63	寄木造平将門の木像 1 軀	坂東市岩井 951 国王神社	昭 42. 3. 30	室町時代か。男神坐像
64	寄木造十一面観音立像 1 軀	笠間市手越 195 東性寺	昭 42. 3. 30	室町時代
65	木造阿弥陀如来立像 (像内寛文十三年修理奥書阿弥陀経一卷等アリ) 1 軀	茨城町下座 628 下座区	昭 42. 11. 24	修理 (昭 57)
66	铸造十一面千手観音菩薩像 1 軀	城里町塩子 1736 岩谷山仏国寺	昭 42. 11. 24	室町末期。焼損修理 (平 7)
67	銅造阿弥陀如来立像 1 体	土浦市高岡 1890 法雲寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 43. 3. 28	鎌倉末期。善光寺式像
68	木造中峯禪師坐像 1 体	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	室町時代。中国元代 (寺伝)
69	金銅化仏 1 軀	水戸市泉町 2-1-2 個人	昭 44. 3. 20	懸仏の文殊菩薩

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
70	木造阿弥陀如来立像 1 軀	大洗町大貫町 802 西光院	昭 44. 3. 20	鎌倉末期
71	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	大洗町磯浜町 5298 西福寺	昭 44. 3. 20	室町末期
72	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	大洗町磯浜町 5298 西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。胎内仏
73	木造観世音菩薩立像 1 軀	大洗町磯浜町 5298 西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍
74	木造勢至菩薩立像 1 軀	大洗町磯浜町 5298 西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍
75	木造十一面観世音菩薩像 1 体	笠間市大田町 324 養福寺	昭 44. 12. 1	鎌倉末期。修理(平 19~20)
76	木造阿弥陀如来坐像 1 体	かすみがうら市宍倉 787 最勝寺	昭 44. 12. 1	元禄 11 年(1698) [光圀寄進銘]
77	木造弘法大師像 1 体	かすみがうら市牛渡 1953 八田集落	昭 44. 12. 1	延徳元年(1489) [銘]
78	木造十一面観音菩薩像 1 体	かすみがうら市深谷 1399 法蔵寺	昭 44. 12. 1	鎌倉末期。四臂像
79	木造不動明王・毘沙門天立像 2 軀	桜川市富谷 2190 小山寺	昭 44. 12. 1	不動明王追加(平 10. 1. 21)
80	木造大日如来坐像 1 軀	日立市入四間町 752 御岩神社	昭 44. 12. 1	室町時代
81	木造観音菩薩坐像 1 軀	日立市東河内町 899 玉簾寺	昭 44. 12. 1	南北朝。宝冠阿弥陀
82	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	笠間市上加賀田 916 阿弥陀講世話人会	昭 44. 12. 1	室町末期頃
83	直牒洞の石仏 3 体	常陸太田市松栄町 615 香仙寺	昭 45. 9. 28	阿弥陀三尊(平安か)
84	木造不動明王像及び両童子 3 軀	笠間市箱田 861 (管)下箱田総代会	昭 46. 1. 28	室町末期
85	木造如意輪観世音菩薩像(附胎内仏) 2 軀	潮来市水原 1121 愛染院	昭 46. 1. 28	室町時代
86	木造仁王像 2 体	常陸太田市下利員町 西光寺	昭 46. 1. 28	(管責)下利員区(平17~18 修理)
87	木造如意輪観世音菩薩坐像 1 軀	鉾田市汲上 1731 華徳院	昭 46. 3. 29	平安後期。修理(平 10)
88	木造阿弥陀如来立像 1 体	那珂市額田南郷 375 阿弥陀寺	昭 46. 10. 28	鎌倉末期。修理(昭 63)
89	木造阿弥陀如来及両脇侍立像 3 軀	那珂市額田南郷 429 引接寺	昭 46. 10. 28 (追平 6. 1. 26)	元禄 9 年(1696) [光圀寄進銘]。鎌倉末期
90	木造如意輪観世音菩薩坐像 1 体	桜川市坂本 452 坂本区	昭 46. 10. 28	鎌倉時代
91	木造狛犬 1 対	桜川市磯部 779 磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭 46. 10. 28	室町末期
92	木造薬師如来坐像 1 体	桜川市磯部 779 磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭 46. 10. 28	貞和 2 年(1346) [銘]
93	木造阿弥陀如来立像 1 体	常陸太田市東連地町 200 宗教法人青蓮寺	昭 46. 10. 28	鎌倉時代
94	木造大日如来坐像 1 体	神栖市波崎 3355 神善寺	昭 46. 12. 2	元和 8 年(1622) [銘]
95	木造釈迦涅槃像 1 体	神栖市波崎 3355 神善寺	昭 46. 12. 2	室町時代。修理(平 19~21)
96	木造狛犬 1 対	桜川市西小墾 462 二所神社	昭 46. 12. 2	室町時代
97	木造薬師如来坐像 1 体	那珂市飯田 1085 一乗院	昭 47. 12. 18	室町中期
98	木造毘沙門天像 1 体	那珂市飯田 1085 一乗院	昭 47. 12. 18	鎌倉中期。修理(平 5)
99	木造吉祥天像 1 体	那珂市飯田 1085 一乗院	昭 47. 12. 18	毘沙門天の脇侍

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
100	木造善尼童子像 1体	那珂市飯田 1085 一乗院	昭 47. 12. 18	毘沙門天の脇侍
101	木造阿弥陀如来脇侍三尊像 3体	常陸大宮市国長 853 阿弥陀院	昭 47. 12. 18	鎌倉中～末期
102	銅造阿弥陀如来立像 1体	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	法量 43. 2 cm
103	木造阿弥陀如来立像 1体	大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	鎌倉中期
104	木造阿弥陀如来立像 1体	常陸大宮市石沢 1467 常弘寺	昭 47. 12. 18	室町時代か
105	木造聖徳太子立像 1体	常陸大宮市石沢 1467 常弘寺	昭 47. 12. 18	永禄 6 年 (1563) [銘]
106	木造阿弥陀如来脇侍三尊像 3体	水戸市大塚町 満福寺代表 (茨城県立歴史館寄託)	昭 47. 12. 18	3体とも鎌倉中期
107	金銅如意輪観音坐像 1体	行方市小幡 1038 観音寺	昭 49. 3. 31	鎌倉後半。忍性関連か
108	木造薬師如来脇侍三尊像 3体	土浦市大岩田町 1616 法泉寺	昭 49. 3. 31	鎌倉末期
109	木造薬師如来立像 1体	土浦市神立町 1215 観音寺	昭 49. 3. 31	鎌倉末期
110	木造万年 ^{だんめう} 大夫夫婦坐像 (胎内像 含) 4体	日立市諏訪町 3-11-13 諏訪神社	昭 49. 3. 31	元禄 3 年 (1690) [光圀造立刻銘]
111	十二神将像 12体	水戸市元吉田町 682 薬王院	昭 49. 11. 25	鎌倉末期。修理 (昭 49)
112	木造釈迦如来立像 1体	土浦市穴塚町 1461 般若寺	昭 50. 3. 25	鎌倉末期。修理 (平 13)
113	木造金剛力士立像 2体 (附命禄三年修理銘木札 1 枚、元 禄十年修理銘木札 4 枚、般若理趣 経折本 1 冊)	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 51. 7. 5	応永 9 年 (1402) 銘が造立 年か。命禄は私年号で天文 11 年 (1542) に相当。
114	木造十一面観音坐像 1体	鹿嶋市棚木 371 大福寺	昭 52. 5. 2	延元 5 年 (1340) [銘]
115	木造阿弥陀如来坐像 1体	小美玉市上玉里 1700 円妙寺	昭 52. 5. 2	平安末期～鎌倉初期。 修理 (平 2)
116	木造千手観音立像 1体 (附伝千手観音焼損像 1 体、伝胎 内納入供養札 1 枚)	常陸太田市上宮河内町 3600 菊蓮寺	昭 54. 3. 8	寛元 2 年 (1244) [銘 札]。 修理 (昭 62)
117	木造不動明王立像 1体	常陸太田市上宮河内町 3600 菊蓮寺	昭 54. 3. 8	平安後期
118	木造天部 ^{てんぶ} 形立像 (寺伝毘沙門天 像) 1軀	かすみがうら市東野寺 763-11 地福院	昭 54. 11. 1	12 世紀後半
119	木造薬師如来坐像 1軀	日立市久慈町 3-18-5 久慈町薬師堂保存会	昭 54. 11. 1	11 世紀後半～12 世紀初
120	木造聖徳太子坐像 1軀	日立市金沢町 毘沙門組太子像保存会	昭 57. 3. 4	室町末期。講讃太子像
121	木心乾漆如来形坐像 1軀 (附乾漆断片 64 片)	八千代町栗山 476-1 佛性寺	昭 57. 3. 4	9 世紀前半。修理 (平 12)
122	木造阿弥陀如来坐像 1軀	筑西市下星谷 233 個人	昭 57. 3. 4	鎌倉中期 (13 世紀半ば)。 修理 (昭 59)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
123	木造観世音菩薩立像 1 軀	下妻市肘谷 203 <small>ひじや</small> 肘谷自治区	昭 59. 3. 8	12 世紀。修理 (昭 62)
124	木造聖徳太子立像 (摂政太子像) 1 軀	下妻市下妻乙 350 光明寺	昭 59. 3. 8	南北朝時代
125	木造阿弥陀如来立像 1 軀	笠間市笠間 2591 光照寺	昭 60. 3. 25	鎌倉時代半ば
126	木造大日如来坐像 1 軀	笠間市加賀田 1773-口 大日如来奉賛会	昭 60. 3. 25	文永 12 年(1275) [銘]。修理 (昭 62)
127	木造十一面観音坐像 1 軀	牛久市久野町 2976 観音寺	昭 60. 12. 16	15 世紀。宋風。修理(平元)
128	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	土浦市沖宿町 1483 海蔵寺	昭 63. 1. 25	13 世紀後半。修理 (昭 63)
129	木造十一面観音坐像 1 軀	古河市横山町 1-1-11 神宮寺	昭 63. 1. 25	室町時代。院派
130	木造聖徳太子立像 (松葉太子像) 1 軀	古河市中田町 1334-2 光了寺	昭 63. 1. 25	南北朝時代。院派
131	木造虚空蔵菩薩坐像 1 軀	桜川市真壁町田 913 山口地区	平元. 1. 25	11 世紀
132	木造菩薩立像 (伝准 胎観音) 1 軀	桜川市真壁町羽鳥 1038 羽鳥地区	平元. 1. 25	鎌倉時代
133	木造 <small>こうち</small> 智上人坐像 1 軀	土浦市東城寺 650 東城寺地区	平 2. 1. 25	嘉禎 3 年(1237) [墨書銘]
134	木造不動明王立像・毘沙門天立像 2 軀	桜川市本木 78 祥光寺	平 3. 1. 25	祥光寺阿弥陀如来脇侍像
135	木造天部立像 2 軀	桜川市真壁町白井 582 清浄院	平 4. 1. 24	平安時代 (12 世紀)
136	木造天部立像 1 軀	桜川市真壁町白井 582 清浄院	平 4. 1. 24	平安時代 (12 世紀)
137	木造薬師如来坐像 1 軀	阿見町吉原 2289 西光寺	平 5. 1. 25	平安後期。修理 (平 15)
138	木造阿弥陀如来立像 (附木造両脇侍像 2 軀)	阿見町追原 633 蔵福寺	平 6. 1. 26	中尊: 14~15 世紀初め 修理 (平 17~18)
139	銅造薬師如来立像 1 軀	下妻市皆葉 891 薬樹山無量院	平 7. 1. 23	鎌倉時代 (13 世紀)
140	木造観音菩薩立像 1 軀	結城市結城 1139 大輪寺	平 7. 1. 23	延文元年 (1356)
141	木造如意輪観音坐像 (附紙本墨書書状 2 通)	常総市豊岡町乙 2002 法性寺	平 7. 1. 23	応安 5 年 (1372)
142	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	河内町生板 4947 妙行寺	平 8. 1. 25	鎌倉時代 (13 世紀)
143	木造薬師如来坐像 (附木造両脇侍像 2 軀)	潮来市堀之内 1230 二本松寺	平 9. 1. 27	鎌倉後期 (14 世紀)
144	銅造薬師如来立像 1 軀	銚田市梶山 846 光福寺	平 9. 1. 27	平安後期 (12 世紀)
145	木造千手観音坐像 1 軀	下妻市下妻乙 498 小野子自治区	平 11. 1. 25	鎌倉後期 (13 世紀)
146	木造大迦葉立像	潮来市潮来 428 長勝寺	平 11. 11. 25	南北朝時代
147	銅造大日如来及三十日仏坐像 21 軀	水戸市栗崎町 1985 宗教法人仏性寺	平 12. 11. 27	室町時代
148	木造阿弥陀如来及脇侍像 2 軀	つくばみらい市福岡台入会地 大楽寺	平 12. 11. 27	13 世紀初め
149	銅造如来坐像及び菩薩立像 2 軀	鹿嶋市神向寺 125 神向寺 (茨城県立歴史館寄託)	平 14. 12. 25	9 世紀前半

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
150	木造狛犬 1 対	筑西市甲 37 宗教法人羽黒神社	平 16. 11. 25	鎌倉後期
151	木造聖観音菩薩立像 1 軀	稲敷市神宮寺 146 宗教法人神宮寺	平 17. 11. 25	平安末期 (12 世紀後半)
152	木造如意輪観音立像 1 軀	那珂市福田 279- 2 仲福田区	平 18. 11. 16	平安後期 (12 世紀)
153	木造十一面観音坐像 1 軀	石岡市田島 1- 2- 30 田島区	平 18. 11. 16	鎌倉中期 (13 世紀)
154	木造聖徳太子立像 1 軀 (附修理銘札 3 枚、彩色奉加帳 2 冊)	常総市菅生町 5028 宗教法人無量寺	平 19. 11. 16	鎌倉後期 (14 世紀初め)
155	木造金剛力士立像 2 軀	笠間市大田町 324 宗教法人養福寺	平 19. 11. 16	室町中期 (15 世紀中頃)
156	銅造誕生釈迦仏立像 1 軀 (茨城県立歴史館寄託)	筑西市小栗 2762 宗教法人西光寺	平 19. 11. 16	奈良後半 (8 世紀末頃)
157	木造十一面観音立像 1 軀	八千代町八町 149 太光山結城院新長谷寺	平 20. 11. 17	貞和 6 年 (1350)。大仏 師院祥 ^{いんしょう} 制作
158	木造阿弥陀如来坐像及立像 (伝観 音菩薩) ・天部立像 (伝虚空蔵菩 薩)、木造四天王立像 7 軀	桜川市本郷 13 宗教法人妙法寺	平 21. 11. 19	平安前期 (9 世紀末)。 四天王像は 10 世紀初め頃
159	木造千手観音立像及二天立 像 (附板光背残欠 1 枚) 3 軀	北茨城市華川町下小津田 197 宗教法人長照寺	平 22. 11. 18	平安末期 (12 世紀)
160	木造 ^{ごだいりき} 五大 ^{ごだいりき} 力菩薩像 5 軀	桜川市池亀 394 吉祥院	平 25. 1. 24	平安末期 (12 世紀)
161	木造釈迦如来坐像 1 軀	守谷市大木 676 宗教法人大円寺	平 26. 1. 27	平安時代 (12 世紀)。元禄 2 年 (1689) の修理銘あり
162	銅造阿弥陀如来立像 1 軀 (附旧支柱 1 本)	笠間市平町 291 浄乗寺	平 30. 12. 27	13 世紀後半。旧支柱に元 禄 11 年 (1698) の修理銘あ り
163	木造大日如来坐像・如来坐像 3 軀	笠間市片庭 775 仏頂山楞嚴寺	令 4. 12. 26	鎌倉時代 (13 世紀)
164	木造金剛力士立像 2 軀 (附 像内納入品一括)	桜川市本木 1 雨引山樂法寺	令 4. 12. 26	鎌倉時代 (13 世紀)

【工芸品】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	青銅鈴 1 口	桜川市西小埜 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	平安時代。五鈷鈴。総高 28. 5cm
2	木製つのだらい 1 口	桜川市西小埜 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	江戸時代。桐唐草菊花文蒔 絵角盥
3	^{ごすざら} 呉須皿 1 枚	桜川市西小埜 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	中国明末期。呉須は黒褐色土
4	^{らでんまきえこうぼん} 螺鈿時絵香盆 1 面	常陸太田市金井町 3690 常陸太田市	昭 28. 8. 20	江戸時代
5	護摩壇 1 基	坂東市生子 1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	徳川家光寄進銘

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
6	らいばん 礼盤 2基	坂東市生子 1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	寛永 10 年 (1633) [銘]
7	わきづくえ 脇机 5机	坂東市生子 1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	寛永 10 年 (1633)
8	ほっす 払子 1振	結城市結城 1725 安穩寺	昭 32. 1. 25	煩惱を払う荘厳具
9	じゅず 珠数 1連	結城市結城 1725 安穩寺	昭 32. 1. 25	伝源翁心昭所持
10	こきょう 古鏡 1面	日立市弁天町 1-21-12 個人	昭 32. 1. 25	鎌倉末期。愛染明王蓬萊鏡
11	厨子 1基	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 32. 1. 25	康正 2 年(1456) [銘]。春日厨子
12	古鏡 1面	結城市結城 1281 個人	昭 32. 6. 26	瑞花双鳳鏡
13	ごこれい 五鈷鈴 1箇	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 32. 6. 26	平安後期。密教法具
14	ごこしよ 五鈷杵 1箇	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 32. 6. 26	鎌倉初期。密教法具
15	くろかわかたあさきすじかぶと 黒韋肩浅葱筋兜 1具	水戸市八幡町 8-54 水戸八幡宮	昭 32. 6. 26	室町時代。佐竹義宣奉納
16	わにぐち 鰐口 1個	龍ヶ崎市川原代町 1050 安楽寺	昭 33. 3. 12	文和 2 年 (1353) [銘]
17	鰐口 1個	潮来市上戸 624 観音寺	昭 33. 3. 12	観応 3 年 (1352) [銘]
18	虎の刺繍 1枚	美浦村木原 1941 永厳寺	昭 33. 3. 12	天文 23 年 (1554)
19	弥陀名号 1枚	石岡市大増 3220 大覚寺	昭 33. 3. 12	室町時代。刺繍
20	まきえびつ 蒔絵櫃 1合	水戸市西原 2-12-25 個人	昭 33. 3. 12	桃山時代。小型唐櫃
21	百万塔 1基	結城市結城 1404 個人	昭 33. 3. 12	木製彩色。奈良十大寺寄進
22	つのたらい 1口	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 33. 7. 23	江戸時代。橘竹鶴蒔絵角盥
23	黒漆螺鈿蒔絵台 1基	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	鎌倉末期。牡丹竹鳥蝶蒔絵
24	銅印 1顆	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	平安時代。朱文方印。鶏頭紐
25	陶造狛犬 3軀	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	室町時代後期、瀬戸鉄釉
26	石灯籠 1基	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	元和 5 年 (1619) [銘]
27	によう 鏡 1口	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	平安時代。三鈷鏡
28	軍配 1口	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	室町時代
29	ぐんじんくら 軍陣鞍 1背	水戸市新莊 3-4-16 個人	昭 35. 3. 28	鎌倉時代。黒漆鞍
30	銅板懸仏 1口	常総市諏訪町 3005 個人	昭 35. 12. 21	室町初期
31	銅鐘 1口	行方市乙 69 宝幢院	昭 35. 12. 21	永享 3 年(1431) [銘]防修理(昭 63)
32	太刀 (銘国貞) 1口	土浦市桜町 1丁目 個人 (東京国立博物館寄託)	昭 36. 3. 24	鎌倉中期。備前の刀工
33	太刀 (銘来橘光定) 1口	土浦市桜町 1丁目 個人	昭 36. 3. 24	嘉慶 2 年 (1388) [銘]
34	太刀 (銘景安) 1口	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 36. 3. 24	平安末期。備前刀工景安
35	太刀 (備前国長船住長光作永仁 二年月日銘) 1口	牛久市牛久町 90 個人	昭 36. 3. 24	永仁 2 年 (1294) 年紀
36	太刀 (銘大和国当麻友 以下切) 1口	牛久市牛久町 90 個人	昭 36. 3. 24	南北朝時代。 友清作と伝える
37	らいばん 礼盤 1基	城里町徳蔵 874 徳蔵寺	昭 37. 2. 26	天正 6 年 (1578) [寄進銘]

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
38	太刀（無銘 <small>おおむらかぼく</small> 伝大村加下） <small>しらきや</small> 白鞘 1 口	ひたちなか市市毛 個人	昭 37. 8. 27	貞享 2 年（1685） [銘]
39	螺鈿硯箱 1 合	筑西市中館 522 観音寺	昭 37. 10. 24	楼閣人物螺鈿硯箱
40	六地藏石幢 <small>せきどう</small> 1 基	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 37. 10. 24	もとはつくば市個人蔵
41	石造燈籠 1 基	つくば市小田 2716 長久寺	昭 37. 10. 24	高さ 211cm
42	鎧（兜、大袖付） 1 具	水戸市東台 695 個人	昭 37. 10. 24	紺糸威の胴丸具足
43	鎧（兜、大袖付） 1 具	水戸市泉町 2-1-21 個人	昭 37. 10. 24	安土桃山。胴丸具足
44	<small>あぶみ</small> 鐙 1 具	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 37. 10. 24	鉄製。加賀銀象眼
45	鞍 1 背	水戸市五軒町 1-4-28 個人 (水戸市立博物館寄託)	昭 37. 10. 24	水干鞍。黒漆地金蒔絵
46	<small>おこなぎなた</small> 大薙刀 1 口	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭 37. 10. 24	南北朝時代。備前長船元重
47	<small>きょうづつ</small> 銅製経筒 1 口	水戸市天王町 8-17 神崎寺	昭 37. 10. 24	長承 2 年（1133） [銘]
48	礼盤 1 基	境町 974 吉祥院	昭 37. 10. 24	寛永 10 年（1633） [銘]
49	銅鐘 1 口	筑西市岡芹 957 <small>じょうりん</small> 定林寺	昭 38. 8. 23	永禄 10 年（1567） [銘]
50	五鈷鈴 1 口	古河市小堤 円満寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 38. 8. 23	平安時代か中国唐代
51	三鈷杵 1 口	古河市小堤 円満寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 38. 8. 23	中国唐代説あり
52	石造五輪塔 2 基	かすみがうら市上佐谷 個人	昭 38. 8. 23	2 基とも慶長 16 年(1611)[銘]
53	鐙 1 具	水戸市五軒町 1-4-28 個人 (水戸市立博物館寄託)	昭 38. 8. 23	昭 37 指定の鞍と 1 具
54	太刀（葵くずし紋） 1 口	結城市結城 800-2 個人	昭 38. 8. 23	斉昭の作。將軍家慶が佩用。 名称変更（平 30）
55	太刀（銘吉房） 1 口	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭 38. 8. 23	備前国福岡一文字派
56	板碑 1 基	筑西市岡芹 957 定林寺	昭 39. 7. 31	高さ 155cm
57	<small>つのあか</small> 角赤文庫 1 合	かすみがうら市下志筑 個人 (茨城県立歴史館寄託)	昭 39. 7. 31	蒔絵手箱
58	<small>だいそでよろい</small> 大袖鎧 1 具	筑西市下中山 732- 1 八幡神 社 (管) 筑西市教育委員会	昭 39. 7. 31	<small>にまいどうぐそく</small> 二枚胴具足
59	大袖鎧 1 具	水戸市泉町 2-1-21 個人	昭 39. 7. 31	五枚胴具足
60	鐙 1 具	水戸市泉町 2-1-21 個人	昭 39. 7. 31	鉄製、加賀銀象嵌
61	<small>ずいか</small> 瑞花雙鳥 <small>そうちようはちりようきよう</small> 八稜鏡 1 面	下妻市大宝 667 大宝八幡宮	昭 40. 2. 24	平安時代か
62	宝塔鈴 1 基	石岡市若宮 2-4-24 不動院	昭 40. 2. 24	銅鑄製。柄の上に塔形
63	<small>そうか</small> 草花双鳥 <small>そうちようえんきよう</small> 円鏡 1 面	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 40. 2. 24	白銅製。盗難（昭 45）
64	<small>みしょうたい</small> 十一面観音御正体 1 面	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 40. 2. 24	銅板製、線刻。盗難（昭 45）

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
65	宝珠杵 1口	かすみがうら市深谷 1399 法蔵寺	昭 40. 2. 24	鎌倉末期。銅鑄製
66	瑞花雙鳥八稜鏡 1面	つくば市玉取 2617 八坂神社	昭 40. 2. 24	南北朝時代。白銅製
67	<small>きんなしじ</small> 金梨地蒔絵鞍 1背	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 41. 3. 7	安土桃山時代
68	六地藏石幢 1基	土浦市東城寺 650 東城寺地区	昭 41. 3. 7	室町末期か
69	石造五輪塔 1基	土浦市小高 212 小高地区	昭 41. 3. 7	永正 12 年(1515)。頭白上人逆修塔
70	石造五輪塔 1基	筑西市村田 1736 村田仲町集落	昭 41. 3. 7	倒壊防止(平 7)
71	石造五輪塔 1基	つくば市玉取 1959 個人	昭 41. 3. 7	高さ 136cm
72	石造五輪塔 1基	かすみがうら市上佐谷 719 個人	昭 41. 3. 7	文禄 2 年(1593) [刻]
73	六地藏石幢 1基	土浦市永井 694 個人	昭 42. 3. 30	室町末期～桃山時代
74	銅鐘 1口	城里町塩子 1736 岩谷山仏国寺	昭 42. 3. 30	貞享元年(1684) 寄進
75	石造九重層塔 1基	つくば市神郡 970 個人	昭 42. 11. 24	慶長年間。総高 253cm
76	<small>そうもうほつす</small> 棕毛払子 1振	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	中国元代の作
77	梵鐘 1基	五霞町山王山 827-1 <small>とうしやうじ</small> 東昌寺	昭 43. 3. 28	文明 8 年(1476) [銘]
78	石造 五輪塔 1基	土浦市穴塚町 1461 <small>ほんにやじ</small> 般若寺	昭 43. 3. 28	建治元年(1275) [刻銘]
79	<small>ふすべかわおどしどうまるよろい</small> 薫草威胴丸鎧 1領	ひたちなか市南神敷台 個人	昭 43. 3. 28	室町末期。銅丸式の鎧
80	<small>よろいびつ</small> 鎧櫃 1領	ひたちなか市南神敷台 個人	昭 43. 3. 28	ケヤキ材。笈形鎧櫃
81	<small>こめん</small> 古面 5面	潮来市島須 530 御札神社	昭 44. 3. 20	<small>ぼとう</small> 抜頭など 5 舞楽面
82	<small>せいじさんかいとう</small> 青磁三階塔 1基	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 44. 3. 20	青磁の三重塔形
83	<small>まきえさげたんす</small> 蒔絵提单笥 1箱	石岡市国府 6-4-2 個人	昭 44. 12. 1	江戸時代か桃山期
84	石造九重層塔 1基	かすみがうら市牛渡 3902 個人	昭 44. 12. 1	伝小田孝朝供養塔
85	鰐口 1個	かすみがうら市安食 1754 大宮神社	昭 44. 12. 1	応永 10 年(1403) [銘]
86	石造五輪塔 1基	土浦市本郷 1093 個人	昭 45. 5. 28	室町時代。高さ 170cm
87	二枚胴具足 1具	石岡市山崎 635 個人	昭 45. 9. 28	江戸時代
88	五鈷杵 1口	桜川市本木 1 楽法寺	昭 45. 9. 28	平安末期頃。出土品
89	六地藏石幢 1基	つくば市平沢 582 平沢区	昭 46. 1. 28	
90	石造宝篋印塔 1基	つくば市小田 つくば市	昭 46. 1. 28	鎌倉時代。解体組合せ(平 17)
91	石造五輪塔 1基	つくば市北条 102-1 八坂神社氏子総代	昭 46. 1. 28	天文年間 [銘(経筒)]
92	<small>と きんはつかくつりとうろう</small> 鍍金八角釣燈籠 1基	潮来市水原 1121 愛染院	昭 46. 1. 28	元禄 14 年(1701) [銘]
93	高麗焼茶碗 1個	潮来市潮来 428 長勝寺	昭 46. 10. 28	元禄 8 年(1695) [光圀寄進銘]
94	<small>おうぎちらしまきえ、しよだな</small> 扇 散蒔絵書棚 1架	大洗町磯浜町 8231 大洗町	昭 46. 12. 2	明治時代
95	短刀 1振	大洗町磯浜町 8231 大洗町	昭 47. 12. 18	<small>しんとうごくにみつ</small> 初代新藤五国光の作
96	説相箱 1個	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	江戸初期
97	<small>しちかんせいじこうろだい</small> 七官青磁香炉台 1個	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	中国明代。円筒形
98	<small>はちりようきやう</small> 八稜鏡 1個	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	鎌倉時代
99	<small>こうごう</small> 香合 2個	大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	<small>くり、ついでこうごう、ししぼたん</small> 屈輪堆黒香合、獅子牡丹 <small>ついでしゅこうごう</small> 堆朱香合

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
100	朱漆塗 蔦葛模様椀 <small>しゅうろうしぬりつたかづら</small>	5 個 大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	漆絵椀
101	和鏡	1 面 潮来市牛堀 17 潮来市教育委員会	昭 49. 3. 31	すはましようきくかぢらしろうじやくきょう 州浜松菊花散双雀鏡
102	蒔絵鏡箱	1 合 日立市弁天町 1-21-12 個人	昭 49. 3. 31	室町時代。円形
103	華蔵院の梵鐘	1 個 ひたちなか市栄町 1-1-33 華蔵院	昭 49. 3. 31	暦応 2 年 (1339) [銘]
104	宝篋印塔	1 基 石岡市半田 1330 個人	昭 49. 3. 31	江戸時代。高さ 150cm
105	金銅割五鈷杵	1 個 土浦市大岩田町 1616 法泉寺	昭 49. 3. 31	鎌倉末期。鍍金。15.2cm
106	五鈷鈴	1 個 土浦市神立町 1215 観音寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 49. 3. 31	平安末～鎌倉初期
107	銅製丸鏡	1 面 土浦市大和町 9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭 49. 3. 31	草花双鳥鏡。面径 11cm
108	灌頂用具	15 点 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	明鏡は平安時代
109	密教法具	23 点 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	鎌倉～江戸時代まで
110	銅装龍輪宝羯磨文戒体箱 <small>かつまもんかいたいばこ</small>	1 合 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町末期
111	銅装龍輪宝羯磨文説相箱	2 合 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町末期
112	銅板貼山伏笈 <small>どうばんはり おい</small>	1 背 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	天正 18 年 (1590) [墨書 銘]
113	漆塗経櫃 <small>きょうびつ</small>	1 合 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町後期
114	瀬戸緑釉狛犬 <small>りょくゆう</small>	2 体 ひたちなか市富士ノ上 2-1 天満宮	昭 51. 7. 5	室町後期
115	鰐口	1 口 小美玉市上玉里 大宮神社 (小美玉市玉里史料館寄託)	昭 52. 5. 2	正嘉元年 (1257) [銘]
116	鰐口	1 口 常陸太田市小中町 592 個人	昭 52. 5. 2	永和 5 年 (1379) [銘]
117	竹織弘子 <small>ほっす</small>	1 振 土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 56. 12. 24	中国元代
118	石造燈籠	1 基 土浦市小野 126-7 日枝神社	昭 56. 12. 24	永正 8 年 (1511) [銘]
119	漆皮軍配(伝太田道灌奉納) 寛文八年ノ太田資宗、資次寄進ノ 箱アリ	1 柄 石岡市総社 2-8-1 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	寛文 8 年 (1668) [銘]
120	漆皮軍配(伝佐竹義宣奉納)	1 柄 石岡市総社 2-8-1 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	天正 18 年 (1590) [銘]
121	銅鐘 (「嘉慶元年」の銘と「享徳 五年」の追銘あり)	1 口 下妻市大宝 667 大宝八幡宮	昭 59. 3. 8	嘉慶元年 (1387) [銘]
122	太刀 (銘常州水戸住藤原近則)	1 口 大洗町磯浜町 6890 大洗磯前神社	平 2. 1. 25	嘉永 5 年 (1852) [銘]
123	能面	6 面 常陸大宮市下町 221 甲神社	平 4. 1. 24	16 世紀
124	総毛引紅糸威胴丸具足 <small>そうけびきくれないとおどし</small>	1 領 水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	平 10. 1. 21	徳川家康着用遺品
125	鰐口 如意寺、嘉暦三年在銘	1 口 笠間市上市原 942 宗教法人如意輪寺	平 16. 1. 8	江戸時代

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
126	鰐口 如意寺、嘉暦三年在銘 1 口	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	平 16. 1. 8	鎌倉時代
127	ほこうさいじ 葆光彩磁葡萄紋様花瓶 1 口 板谷波山作	笠間市笠間 2345 茨城県陶芸美術館	平 16. 11. 25	大正 11 年
128	氷華磁仙桃文花瓶 1 口 板谷波山作	笠間市笠間 2345 茨城県陶芸美術館	平 16. 11. 25	大正 15 年頃

【書跡】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紺紙金字法華經 8 卷	桜川市西小墻 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	鎌倉時代
2	往生要集 1 冊	結城市結城 152 称名寺	昭 33. 3. 12	往生要集延書 ^{のべがき}
3	大般若波羅蜜多經 391 卷	土浦市沖宿町 1483 海蔵寺	昭 33. 3. 12	承安 5 年 (1175) [奥書]
4	妙法蓮華經 10 卷	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 33. 3. 12	木版刷りの春日版
5	宋版一切經 5400 卷	桜川市真壁町東山田 1644 最勝王寺	昭 33. 3. 12	中国宋代。天海版
6	妙法蓮華經 1 卷	石岡市大増 3220 大覚寺	昭 33. 3. 12	紺紙金泥の写本
7	とうほんいつさいきょう 唐本一切經 3 帖	笠間市笠間 39 笠間稻荷神社	昭 33. 7. 23	建長 7 年 (1255) [識語]
8	ほくとじぶつぎしだい 北斗寺仏儀次第 4 卷	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 35. 12. 21	室町時代の写本
9	おふみ 阿弥陀寺御文 1 帖	坂東市長須 4359 阿弥陀寺	昭 35. 12. 21	室町時代
10	無量寿寺御文書 1 帖	鉾田市鳥栖 1013 無量寿寺	昭 35. 12. 21	蓮如の書簡 19 通
11	大般若波羅蜜多經 15 卷	日立市神峰町 4-11-12 個人	昭 37. 2. 26	承安 3 年 (1173) 校の奥書あり
12	大般若波羅蜜多經 1 卷	水戸市堀町 2249 個人	昭 38. 8. 23	鎌倉時代末の春日版か
13	一遍上人名号 1 幅	石岡市国府 3-1-13 個人	昭 39. 7. 31	
14	大般若波羅蜜多經 336 卷	桜川市加茂部 694 かもおおかみみこかみぬしたまじんじや 鴨大神御子神主玉神社	昭 41. 3. 7	正安・元応奥書 (13~14 世紀初)
15	大般若經 490 卷	桜川市本木 1 楽法寺	昭 42. 3. 30	天文 10 年 (1541)・15 年 [寄進銘]
16	唐本一切經 (抜藤原時朝) 2 卷	水戸市西原 2-12-25 個人	昭 42. 11. 24	宋版一切經の一部
17	うたぎれ 後奈良天皇歌切 1 卷	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 42. 11. 24	後奈良天皇宸筆、4 首の歌
18	しんごうあまてらすこうたいじん 神号天照皇太神 1 卷	小美玉市羽鳥 2703 個人	昭 42. 11. 24	後陽成天皇御宸筆
19	こんし きんぐいでい 紺紙金泥大般若波羅蜜多經 (卷 506) 1 卷	土浦市高岡 1890 法雲寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 43. 3. 28	鎌倉末期。1 巻のみ残る
20	法雲寺文書 一括	土浦市高岡 1890 法雲寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 43. 3. 28	中世寺領寄進状、禁制書状
21	芹沢文書一括 62 点	石岡市国府 6-4-2 個人	昭 44. 12. 1	室町~江戸初期

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
22	六地藏寺所蔵典籍・文書 典籍 892 部・文書 407 点	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 46. 3. 29	戦国時代。恵範が筆写・著述
23	了誉筆別当職議状 1 幅	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	応永 22 年(1415) [了誉の書筆]
24	日本書紀私鈔 並二人王百代具 名記 3 冊	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	了誉著作の写本 (応永 15 年(1408)写)
25	阿弥陀経 1 卷	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	斉昭 25 歳の真蹟
26	唯信鈔断片 1 幅	大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	親鸞が書写した断片の 1 枚
27	蓮如筆消息大根田御坊宛 1 幅	大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	
28	正宗寺所蔵文書 7 通	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 49. 3. 31	円覚寺及び黄梅院文書
29	後光厳天皇御消息 1 軸	ひたちなか市殿山町 1-2-8 個人	昭 49. 3. 31	北朝 4 代天皇宸筆
30	日蓮書状 (文永 11 年 7 月 26 日 南條七次郎時光あて) 1 通	常陸太田市新宿町 239 久昌寺	昭 56. 12. 24	鎌倉時代
31	日乗日記 13 冊	常陸太田市新宿町 239 久昌寺	昭 56. 12. 24	修理 (平 2~4)
32	唐本一切経 1 卷	笠間市稲田 562 西念寺	昭 63. 1. 25	平安時代末
33	金剛般若波羅蜜経 1 卷	笠間市石井 1747 高乾院	平 5. 1. 25	弘安 4 年(1281)。修理(平 10)
34	紙本墨書 神皇正統記六地藏寺 本 3 冊	水戸市六反田町 767-2 宗教法人六地藏寺	平 16. 1. 8	神皇正統記の写本(明徳 5 年(1394))を恵潤が筆写

【古文書】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	常陸総社文書 安政二年修理ノ 奉納箱アリ 50 通	石岡市総社 2-8-1 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	総社の神主家に伝わる 50 通の文書
2	鳥名木家文書 41 点	行方市手賀 個人 (茨城県立歴史館寄託)	平 6. 1. 26	手賀氏の分流鳥名木家に伝わる。
3	健田須賀神社文書 19 点 (2 卷)	結城市結城 195 健田須賀神社	平 8. 1. 25	文和元(1352)~天正 8 (1580) 年
4	真壁長岡古宇田文書 35 点	桜川市真壁町真壁 57-1 真壁伝承館歴史資料館	平 11. 11. 25	真壁氏庶流古宇田氏
5	親鸞門侶交名 1 卷	下妻市下妻乙 350 光明寺	平 19. 11. 16	三河妙源寺本と共に貴重
6	鹿島神宮文書 250 点 (18 卷)	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	平 22. 11. 18	鹿島神宮に伝わる古文書群
7	税所文書 19 点 (1 帖)	石岡市国府 個人 (茨城県立歴史館寄託)	平 27. 1. 22	常陸国衙の在庁官人関係文書
8	臼田文書 1 卷 1 帖	稲敷市羽賀 1156 個人	平 29. 1. 26	臼田家に伝わる中世から戦国期の文書群

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
9	岡澤文書 8点	稲敷市福田 1444 個人	令 3. 12. 27	地方の刀鍛冶家に伝わる文書群

【考古資料】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	板碑 1基	つくば市金田 1658- 1 つくば市	昭 30. 11. 25	文永 9 年 (1272) [刻銘]
2	東城寺結界石 1基	土浦市東城寺 650 東城寺地区	昭 41. 3. 7	建長 5 年 (1253) [年刻銘]
3	下坂田の板碑 1基	土浦市下坂田 1116- 2 個人	昭 41. 3. 7	永仁 6 年 (1298) [年刻銘]
4	丸山古墳出土遺物 212点	石岡市柿岡 5680 石岡市	昭 42. 11. 24	4 世紀末～5 世紀初
5	経筒・石櫃付 1組	石岡市柿岡 5680 石岡市	昭 42. 11. 24	大永 3 年 (1523) [陰刻銘]
6	結界石 1基	土浦市宍塚 1461 般若寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 43. 3. 28	建長 5 年 (1253) [刻銘]
7	鹿 (埴輪) 1対	石岡市柿岡 5680 石岡市	昭 44. 3. 20	雄・雌 1 対
8	狐塚古墳出土遺物一括 24点	桜川市岩瀬 桜川市教育委員会	昭 44. 12. 1	短甲・銅鏃など出土
9	丸木舟 1艘	龍ヶ崎市馴馬町 2488 龍ヶ崎市	昭 50. 3. 25	マツ材、残存部全長約 6. 3m
10	板碑 1基	筑西市辻 1269- 1 個人	昭 50. 6. 25	弘安元年 (1278) [銘]
11	鏡 <small>によ</small> の <small>いがた</small> 鑄型 <small>ようはん</small> 鋳范 1面	土浦市大和町 9- 1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭 55. 2. 28	鎌倉期か。密教法具
12	丸木舟 1艘	下妻市大宝 667 大宝八幡宮	昭 59. 3. 8	クロマツ、長さ 6. 05m
13	銅印 1顆	水戸市緑町 2- 1- 15 茨城県立歴史館	平 4. 1. 24	「丈永私印」
14	人物埴輪 1軀	東海村村松 768-38 東海村	平 6. 1. 26	舟塚 1 号墳出土。正装男子像
15	乳飲み児を抱く埴輪 1軀 (大平古墳群黄金塚出土)	ひたちなか市中根 ひたちなか市教育委員会	平 9. 1. 27	高さ 27. 5cm。腹部より下を欠失
16	巴形銅器 (宮平遺跡出土) 1箇	石岡市染谷 1646 石岡市教育委員会	平 10. 1. 21	全径 5. 0cm
17	後野遺跡出土石器及土器 160点	ひたちなか市中根 ひたちなか市教育委員会	平 12. 11. 27	細石刃文化、大型石刃文化の新旧関係が判明
18	十王台遺跡出土十王台式土器 3点	日立市十王町友部東 2- 1- 15 個人 (十王公民館、東京国立博物館寄託)	平 14. 12. 25	弥生後期
19	海後遺跡出土人面付土器 1点	水戸市緑町 2- 1- 15 茨城県立歴史館	平 14. 12. 25	弥生中期
20	小野天神前遺跡出土土器 19点	水戸市緑町 2- 1- 15 茨城県立歴史館	平 16. 11. 25	弥生時代中期の再 <small>さいそうぼ</small> 葬墓一括
21	風返稲荷山古墳出土遺物 74点	かすみがうら市坂 1029 かすみがうら市	平 18. 11. 16	6 世紀後半～7 世紀中頃
22	富士見塚 1 号墳・2 号墳・3 号古墳出土遺物 一括	かすみがうら市柏崎 358- 1 かすみがうら市	平 20. 11. 17	5 世紀末～6 世紀初頭。埴輪、鉄鏃など一括
23	東中根遺跡群出土遺物 18点	ひたちなか市中根 3499 ひたちなか市	平 21. 11. 19	弥生時代後期前半の土器及び紡錘車

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
24	一本松遺跡出土遺物 13点	大洗町磯浜町 6881-88 大洗町	平 23. 11. 17	弥生時代後期の巴形銅器を含む土器、紡錘車等
25	^{かみおかかみ} 神岡上古墳群第3号墳出土遺物 345点	北茨城市磯原町磯原 130-1 北茨城市教育委員会	平 25. 1. 24	七鈴鏡1点、鉄鎌32点、直刀4点、土製模造品266点など
26	舟塚古墳出土遺物 39点	水戸市笠原町 978-6 茨城県 (茨城県立歴史館保管)	平 27. 1. 22	埴輪 39点 (円筒埴輪 16点・朝顔形埴輪 5点・人物埴輪 17点・家形埴輪 1点) 小美玉市上玉里出土
27	信太入子ノ台遺跡出土蔵骨器 3点	美浦村大字土浦 2359 美浦村教育委員会 (美浦村文化財センター保管)	平 30. 12. 27	8世紀末～9世紀。2点が完形。蓋1点に「大伴」の墨書あり。
28	^{つぼいうえ} 坪井上遺跡出土硬玉製大珠 ^{たいしゅ} 7点	常陸大宮市中富町 1087-14 常陸大宮市教育委員会 (常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館保管)	令元. 12. 26	縄文時代中期 一つの遺跡からの出土数としては異例
29	堀米A遺跡出土硬玉製大珠 5点	那珂郡東海村大字村松 768-38 東海村	令 4. 12. 26	縄文時代中期の5点の硬玉製(翡翠)大珠・垂飾

【歴史資料】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紙本墨書大般若経(附唐櫃3合) 569帖	那珂市額田北郷 542 毘盧遮那寺	昭 52. 5. 2	明応4(1495)～8年
2	訂正常陸国風土記版木(附箱板2枚) 20枚のうち19枚 20枚のうち1枚	日立市諏訪町 4-28-11 個人 (茨城県立歴史館寄託) 水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 60. 3. 25 昭 60. 12. 26(追)	天保10年(1839)出版の版木
3	^{しじんき} 四神旗 4旒 附祝文(写)	笠間市稲田 763-1 稲田神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭 63. 1. 25	
4	佐竹義昭奉加帳 1巻	常陸大宮市下町 221 ^{かぶと} 甲神社	平 8. 1. 25	弘治3年(1557)。修理(平17)
5	^か 鹿の子遺跡出土漆紙文書 一括	石岡市柿岡 5680 石岡市教育委員会	平 14. 1. 25	国庁作成帳簿類
6	5馬力誘導電動機 1台 (附設計図1枚)	日立市幸町 3-1-1 日立製作所日立事業所	平 14. 1. 25	日立製作所第1号モーター
7	河口家医学等関係資料 896点	古河市錦町 8-15 個人	平 19. 11. 16	旧古河藩医の河口家に伝わる医学資料群
8	徳川光圀書翰集 7巻(54通)	水戸市三の丸 1-5-38 茨城県立図書館	平 23. 11. 17	光圀自筆書翰53通及び右筆書き1通。修理(平24)

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代 ・ 備考
9	色川三中関係史料 522 点	土浦市大和町 9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	平 28. 1. 21 令 2. 12. 28 (追 同日 (名称変更))	城下町土浦の庶民生活や 文化の様相を知る上で貴 重。「色川三中草稿」(22 点)を追加指定 (令 2)
10	長久保赤 水関係資料 107 点	高萩市高萩 8-1 高萩市 (高萩市歴史民俗資料館保管)	平 29. 1. 26 令 2. 9. 30 (員数変更)	天文学者・農政学者長久保 赤水の業績を伝える。ほか に国指定 693 点 (令 2)
11	紙本墨書 聖護院道興筆天神名号 1 幅	桜川市真壁町東山田 1457 個人	令 3. 12. 27	聖護院道興が山田慶城 坊に止宿した際にした ためた書

イ 無形文化財

No.	名 称	所在地 及び 保持者・保持団体	指定年月日	備 考
1	結城紬 (縮 織)	結城市結城 13-2 (財) 重要無形文化財結城紬技術保存会	昭 28. 11. 14	強い撚りを加え、縮んで表面が ちりめん状になる織り方
2	西の内紙 (手漉和紙)	常陸大宮市舟生 本西の内紙保存会 (平 28. 1. 21 追加認定)	昭 46. 12. 2	昭 46. 12. 2 認定保持者 菊池五介 (2代 平 3. 2. 14 死 亡) 菊池一男 (平 16. 3. 31 死亡) 小野瀬角次 (平 27. 10. 15 死亡) 平 3. 3. 27 追加認定保持者 菊池五介 (3代 平 19. 5. 19 死亡) 平 19. 11. 16 追加認定保持者 菊池正氣 (令 2. 2. 17 死亡)
3	粟野春 慶 塗	城里町粟 458 稲川武男	平元. 1. 25	木地の木目を透かしてみせる
4	鹿島新當流 (附 起請文 1 巻・傳 法書 1 巻)	鹿嶋市宮中 鹿島新當流彰古会	平元. 9. 27	塚原ト伝の編み出した剣の 流派

ウ 有形民俗文化財

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	備 考
1	日立風流物人形頭 122 頭	日立市神峰町 4-11-12 個人	昭 39. 7. 31	操り人形頭
2	浮島所在の田下駄一括 45 足	稲敷市八千石 18-1 稲敷市	昭 46. 12. 2	
3	獅子頭 1 頭	石岡市府中 2-4-5 土橋町区長	平 4. 1. 24	江戸時代。重量約 17 kg
4	潮来祇園祭礼山車 (附唐獅子 1 対) 3 台	潮来市潮来 潮来祇園祭礼山車保存会	平 5. 1. 25	素鷲熊野神社祭礼の山車
5	西塩子の回り舞台 一式	常陸大宮市西塩子 150-3 西塩子の回り舞台保存会	平 11. 11. 25	文政年間。農村歌舞伎舞台

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	備 考
6	ささら獅子頭 3点	常陸大宮市中富町1087-14 第6区 (常陸大宮市歴史民俗資料館寄託)	平 16. 11. 25	永正 14 年(1517)[墨書銘]

エ 無形民俗文化財

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
1	浅川のささら	大子町浅川 3903 浅川ささら保存会	昭 30. 6. 25	熊野神社。3月27日・28日
2	火消行列	常陸太田市町田町1 火消行列保存会	昭 30. 6. 25	6年毎の3月下旬
3	真家みたまおどり	石岡市真家 273 真家みたまおどり保存会	昭 33. 3. 12	福寿院及び真家地内。8月15日
4	西金砂神社田楽舞 <small>かなさ</small>	常陸太田市上宮河内町 1915 西金砂神社田楽舞保存会	昭 35. 3. 28	金砂大祭礼(72年)、小祭礼(6年)
5	東金砂神社田楽舞	常陸太田市天下野町 9740 東金砂神社田楽舞保存会	昭 35. 3. 28	金砂大祭礼(72年)、嵐除祭(6年)
6	塚崎の獅子舞	境町塚崎 塚崎獅子舞保存会	昭 35. 3. 28	香取神社。4月・7月・11月の15日
7	猿島ばやし	坂東市生子 1465 猿島ばやし保存会	昭 36. 3. 24	<small>おいご</small> 生子八坂神社。7月15日～22日
8	からかさ万灯	土浦市大畑 大畑からかさ万灯保存会	昭 37. 10. 24	鷲神社。8月15日
9	<small>はいか</small> 排禍ばやし	石岡市片野 620 排禍ばやし保存会	昭 37. 10. 24	片野八幡神社。7月第3日曜
10	<small>おお</small> 大生神社巫子舞神事 <small>みこまい</small>	潮来市大生 814 大生神社	昭 38. 8. 23	11月14日前夜祭、11月15日本祭
11	柿岡からくり人形	石岡市柿岡 1857 からくり人形保存会	昭 38. 8. 23	柿岡八幡神社及び町内。7月24日
12	西丸山祈禱ばやし	つくばみらい市西丸山 西丸山祈禱囃子保存会	昭 38. 8. 23	鹿島神社。1月中旬・5月
13	日立のささら	日立市宮田・助川・会瀬・大久保・諏訪・水木・成沢 日立郷土芸能保存会	昭 38. 8. 23 追昭 45. 9. 28 追昭 46. 7. 19	泉神社ほか
14	潮来ばやし (獅子舞を含む)	潮来市潮来 潮来ばやし保存会	昭 39. 7. 31	<small>そ ぐくまの</small> 素鷲熊野神社。8月7日～9日
15	<small>のぶかたすもう</small> 延方相撲	潮来市延方乙 1885 鹿嶋吉田神社	昭 39. 7. 31	鹿嶋吉田神社。7月27日
16	<small>おぐりないげ</small> 小栗内外大神宮太々神楽	筑西市小栗 1 太々神楽保存会	昭 41. 3. 7	4月21日、11月10日の直近の日曜日
17	大串のささらばやし	水戸市大串町 ささらばやし保存会	昭 41. 3. 7	稻荷神社。11月23日
18	大野のみろくばやし	水戸市下大野町 みろくばやし保存会	昭 41. 3. 7	稻荷神社。11月23日
19	<small>うわど</small> 上戸の獅子舞	潮来市上戸 1551 獅子舞保存会	昭 43. 3. 28	国神神社。11月23日
20	神田ばやし	坂東市神田山 3108 神田ばやし保存会	昭 49. 11. 25	7月16日・17日、11月第2日曜日
21	田宮ばやし	土浦市田宮 田宮ばやし保存会	昭 52. 5. 2	7月末の日曜日を中心に3日間
22	三和祇園ばやし	古河市東山田 24 三和郷土芸能保存会	昭 53. 1. 26	7月中旬各地区の夏祭り
23	<small>ほんぶね</small> 大津の盆 船流し	北茨城市大津町 常陸大津の御船祭保存会	昭 54. 3. 8	大津漁港。8月13日～16日
24	石岡ばやし	石岡市石岡 2812-3 石岡囃子連合保存会	昭 55. 2. 28	常陸国総社宮。9月14日～16日
25	磐戸神楽	古河市大和田 大和田磐戸神楽保存会	平元. 1. 25	鷲神社。4月4日

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
26	水戸大神楽 <small>だいかぐら</small>	水戸市元山町 1-3-43 柳貴家正楽社中 水戸市常磐町 2-13-23 柳貴家勝蔵社中 <small>やなぎやしやうらく</small> <small>やなぎやかつぞう</small>	平 3. 1. 25 平 20. 11. 17	不定期
27	日枝神社流鏝馬祭	土浦市沢辺小野入会地 日枝神社流鏝馬祭保存会	平 6. 1. 26	日枝神社。4月第1日曜日
28	富田のささら	石岡市国府 5-9 富田町ささら保存会	平 8. 1. 25	常陸国総社宮。9月14日～16日
29	大塚戸の綱火 <small>おおつかど</small>	常総市大塚戸町 875 大塚戸芸能保存会	平 11. 11. 25	一言主神社。9月13日
30	利根地固め唄	利根町中谷 967 利根地固め唄保存会	平 14. 12. 25	利根川築堤補修工事に係る作業唄
31	上山川諏訪神社太々神楽	結城市大字上山川 160 上山川諏訪神社太々神楽保存会	平 17. 11. 25	安永9年(1780) [舞台衣裳墨書] 4月
32	龍ヶ崎の撞舞	龍ヶ崎市 3428 番地地先 龍ヶ崎市撞舞保存会	平 22. 11. 18	7月下旬の八坂神社最終日に実施

オ 史跡

No.	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
1	伝内大臣平重盛墳墓	城里町上入野 3912 小松寺	昭 6. 12. 4	伝重盛・重盛夫人・平貞能の墓
2	船玉古墳	筑西市船玉 247 (管) 筑西市	昭 8. 7. 4	方墳。石室内に壁画
3	古河公方足利成氏館跡 ・同足利義氏墓所	古河市鴻巣 1045、409 個人	昭 8. 7. 18	初代古河公方館跡
4	難台山城址 <small>なんだいさん</small>	笠間市上郷 3646 の一部ほか、(管) 笠間市	昭 9. 5. 18	1387年小田某五郎が挙兵した跡
5	本多作左衛門重次墳墓	取手市台宿 2-3167 本願寺	昭 9. 8. 3	鬼作左といわれた家康の家臣の墓所
6	那珂西城址 <small>なかさい</small>	城里町那珂西 1958 宝幢院	昭 9. 12. 18	久安5年(1149)。那珂通泰が築城
7	瓜連城址	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 9. 12. 18	瓜連貞国、のちが入城 <small>うりづらさだくに</small>
8	志筑城址 <small>しづく</small>	かすみがうら市中志筑 かすみがうら市	昭 10. 11. 26	鎌倉期に下河辺政義が築城
9	阿波崎城址 <small>あばさき</small>	稲敷市阿波崎 2316 (所) 天満神社 (管) 阿波崎城跡保存会	昭 10. 11. 26	南朝勢力回復のため北畠親房が入城
10	伊佐城址	筑西市中館 522 観音寺	昭 10. 11. 26	結城合戦で城主伊佐政国が討死 <small>まさくに</small>
11	駒城址	下妻市黒駒 147-1 個人	昭 10. 11. 26	中御門少将藤原実寛を擁した城 <small>なかみかど</small> <small>さねひろ</small>
12	神宮寺城址	稲敷市神宮寺 830、831 (管) 個人	昭 10. 11. 26	北畠親房らが参集して拠点とした城
13	山県大弐の墓 <small>やまがただいに</small>	石岡市根小屋 779 (管) 泰寧寺	昭 10. 11. 26	明和事件で処刑された大弐の墓 <small>たいねいじ</small>
14	八幡塚	つくば市沼田 374-1、374-2 つくば市	昭 12. 3. 9 追昭 47. 12. 18	前方後円墳。葺石、埴輪を確認
15	笠原水道	水戸市千波町・笠原町・本町1丁目～本町7丁目・元吉田町 (管) 水戸市	昭 13. 3. 11	寛文3年(1663)完成。笠原不動谷から下市まで
16	大日山古墳	取手市岡 1179 (管) 取手市	昭 14. 2. 1	方墳(東西18m、南北20m、高さ3m)
17	藤原藤房卿遺跡 <small>ふじふさ</small>	土浦市藤沢 1797 (管) 土浦市	昭 14. 3. 6	藤原藤房が2年間ここに配流

No.	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
18	<small>なれうま</small> 馴馬城跡	龍ヶ崎市馴馬町 2507 個人	昭 14. 4. 5	南北朝時代。 <small>かすがあきくに</small> 春日顕国が旗揚げ
19	<small>じゅうごろうあな</small> 十五郎穴	ひたちなか市中根 3490-イ (管) ひたちなか市・個人	昭 15. 3. 11	東中根台地南側崖面に造られた横穴墓群
20	<small>くげた</small> 久下田城跡	筑西市樋口字城山 221 ほか 福聚寺ほか	昭 15. 9. 4	下館 6 代城主 <small>みずのやまさむら</small> 水谷正村が築城
21	<small>だいわたり</small> 台渡里廃寺跡	水戸市渡里町字長者山 個人	昭 20. 7. 16	古代那賀郡衙の正倉と推測される
22	土浦市内西町 土浦城跡および櫓門	土浦市中央 1 丁目 土浦市	昭 27. 11. 18	<small>みずじろ</small> 水城。室町中期から江戸時代（指定時は「土浦市内西町亀城公園及び亀城櫓門」。昭 42. 7. 20 名称変更）
23	丸山古墳	石岡市柿岡 4123 (管) 石岡市	昭 27. 12. 18	墳丘長約 56m の前方後方墳
24	<small>ぼんでんやま</small> 梵天山古墳群	常陸太田市島町 (管) 常陸太田市	昭 28. 7. 9	本県第 2 位の前方後円墳ほか、13 基の円墳と横穴群
25	<small>ながつかたかし</small> 長塚節生家	常総市国生 1147-1 個人	昭 30. 6. 25	茅葺の主屋・書院
26	<small>ほとけがはま</small> 佛ヶ浜	日立市田尻町 4-39 (管) 日立市教育委員会	昭 30. 6. 25	海岸の石壁に観世音菩薩像を刻む
27	間宮林蔵の生家	つくばみらい市上平柳 64 つくばみらい市	昭 30. 11. 25	茅葺
28	間宮林蔵の墓	つくばみらい市上平柳 5 個人	昭 30. 11. 25	樺太探検出発前に菩提寺に建立
29	山寺水道	常陸太田市天神林 (管) 常陸太田市	昭 32. 6. 26	光圀が <small>きゅうしやうじ</small> 久昌寺まで導水
30	石岡の一里塚	石岡市泉町 2108、12805 (管) 石岡市	昭 33. 3. 12	石岡の <small>なめりがわ</small> 行里川にある一里塚
31	水野越前守忠邦の墓	結城市山川新宿 1653-1 (管) 結城市教育委員会	昭 33. 3. 12	天保の改革を実施した老中の墓
32	結城御朱印堀（附地図 2 帖・証文 1・由来帖 1）	結城市結城 (管) 結城市・個人	昭 33. 3. 12	戦国末期から江戸時代の堀跡
33	五角堂と和時計	つくば市谷田部 1945 (管) つくば市	昭 33. 3. 12	からくり <small>いがしち</small> 伊賀七による発明
34	堀の内古窯跡群	桜川市大泉 1548 個人	昭 35. 12. 21	須恵器・瓦等の窯跡
35	熊沢蕃山の墓	古河市大堤 1030-1 <small>けいえんじ</small> 鯉延寺	昭 36. 7. 21	熊沢蕃山は古河で禁固刑。
36	板谷波山生家	筑西市甲 864-6 ほか 財団法人波山先生記念会	昭 40. 5. 21	木造。平屋、瓦葺。1760 年代の建造といわれる。部（平 20）
37	野口雨情生家	北茨城市磯原町磯原 73 (管) 個人	昭 42. 3. 30	明治 10 年。木造。2 階建、瓦葺
38	水戸城跡（墨及び濠）	水戸市三の丸 茨城県・水戸市	昭 42. 11. 24	佐竹・徳川による築城
39	助川海防城跡	日立市助川町 5-10-4 (管) 日立市教育委員会	昭 42. 11. 24	天保 7 年(1836)、斉昭が <small>やまのべよしみ</small> 山野辺義観に命じて築城。天保 9 年(1838) 完成
40	泉が森	日立市水木町 1525 泉神社	昭 44. 12. 1	清泉。古代の庶民遊樂の地
41	<small>くほら</small> 旧久原本部	日立市宮田町 3585 日鉱記念館	昭 45. 9. 28	日立鉱山久原房之助が明治 38 年建設
42	穴薬師古墳	五霞町川妻 249 (管) 個人	昭 46. 3. 29	古墳時代後期の円墳。石室が特異な構造をもつ

No.	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
43	鹿見塚古墳	潮来市大生 890-2 (管) 潮来市教育委員会	昭 46. 10. 28	大生古墳群中の主要古墳
44	府中愛宕山古墳	石岡市北根本 694 ほか 石岡市	昭 46. 12. 2	墳丘長約 90m の前方後円墳
45	真壁氏累代墓地及び墓 碑群 30 基	桜川市真壁町山尾 525-1 (管) 桜川市教育委員会	昭 46. 12. 2	遍照院墓域にある五輪塔群
46	おおう 大生古墳群	潮来市大生 890-1 ほか (管) 風土記の里保存会	昭 50. 3. 25	本県最大級の古墳群で約 100 基
47	太子古墳	かすみがうら市安 ^{あんじき} 食 734-1 個人	昭 52. 5. 2	石室に赤い塗料による壁画が残る
48	千代田の一里塚	かすみがうら市西野寺 848 個人	昭 52. 5. 2	水戸街道稲吉と府中の間にある一里塚
49	熊野古墳	かすみがうら市市川 40、41-1 個人	昭 52. 5. 2	墳丘長約 63m の前方後円墳
50	こすげごうこう 小菅郷校跡	常陸太田市小菅町 個人	昭 53. 1. 26	矢場、土塁、表門石垣が残る
51	みなみこうや 南高野貝塚	日立市南高野町 1-19 (管) 日立市教育委員会	昭 54. 3. 8	縄文時代中～晩期の貝塚
52	さかさい 逆井城跡	坂東市逆井 1234 (管) 坂東市	昭 60. 3. 25	戦国末期の後北条氏の有力支城か
53	東城寺経塚群 12 基	土浦市東城寺 (管) 土浦市教育委員会	平 3. 1. 25	平安後期。経筒・経文など出土
54	那珂湊反射炉跡 (附那 珂湊反射炉資料 25 点)	ひたちなか市栄町 1-10 ひたちなか市	平 16. 11. 25	安政年間。鉄製大砲鑄造の施設
55	星神社古墳 1 基	常陸太田市小島町 757-1 ほか 個人	平 18. 11. 16	墳丘長 100m、県内最古級の前方後円墳
56	富士見塚 1 号墳・2 号 墳・3 号墳 3 基	かすみがうら市柏崎 1546-71、1555-3、 1555-4、555-15、1572-1 かすみがうら市	平 20. 11. 17	1 号墳：墳丘長約 80m の前方後円墳 2 号墳：墳丘径約 25m の円墳 3 号墳：墳丘径約 17m の円墳
57	石神城跡	東海村大字石神内宿字本城 1244 他 53 筆 東海村	平 29. 12. 25	佐竹氏家臣の石神小野崎氏が在城。 惣構えの中核

カ 名勝

No.	名 称	所在地 及び 管理者	指定年月日	備 考
1	あゆみざき 歩崎	かすみがうら市坂 921 かすみがうら市	昭 8. 10. 6	霞ヶ浦の土浦入りと高浜入りに挟 まれた岬一帯
2	広浦	茨城町下石崎 1651 茨城町	昭 9. 11. 30	澗沼に突き出た ^{こめず} 米洲岬。水戸八景、 「広浦秋月」の碑あり
3	親沢	茨城町上石崎 4144-1 茨城町	昭 9. 11. 30	澗沼の親沢鼻をいう。岸より突き 出た砂州
4	袋田瀧	大子町袋田 大子町	昭 15. 3. 27	高さ 121m、幅 76m、4 段に落ちる ^{よどのたき} (四度瀧)
5	花園溪谷「七ツ瀧」	北茨城市華川町花園 591 花園神社	昭 27. 12. 18	花園川が 7 段にわたって落瀑

キ 天然記念物

No.	名称・数量	所在地及び所有者	指定年月日	補助事業
1	鉾スギ 1株	大子町下野宮 1626 近津神社	昭6.10.13	避雷針(昭59) 避雷針更新(平12)
2	三浦杉 2株	常陸大宮市小田野 172 吉田八幡神社	昭6.12.4	
3	^{くつかげ} 沓掛ノ大櫨 1株	坂東市沓掛 843-1 神明社	昭7.6.24	保存修理(昭62) 樹勢回復(平14~16)
4	^{やしる} 八代の大椎 1株	潮来市上戸 1558 神明神社	昭8.10.6	保存修理(平13)
5	金砂山ノ大柊 5株	ひたちなか市堀口 1 金砂神社	昭10.12.27	
6	花園山石南群落	北茨城市華川町花園 587 ほか 花園神社	昭11.4.17	
7	鏡岩	常陸大宮市照山 1587 常陸大宮市	昭11.4.17	
8	球状花崗岩	石岡市吉生 2716 石岡市	昭12.2.5	
9	地藏櫨 1株	取手市下高井 1306 高源寺	昭14.3.6	樹勢回復(昭63) 保存修理(平8)
10	静のムクノキ 1株	那珂市静 455 那珂市	昭14.3.31	
11	佐久の大杉 1株	石岡市佐久 622 佐久区	昭16.3.31	樹勢回復(平10~12)
12	龍ヶ崎の垂枝桜 1株	龍ヶ崎市 3341 般若院	昭28.7.9	樹勢回復(平元)
13	真鍋の桜 5株	土浦市真鍋 4-3-1 土浦市	昭31.5.25	樹勢回復(平8~9)
14	亀城の椎 1株	土浦市中央 1丁目 土浦市	昭31.5.25	
15	海鵜渡来地	日立市川尻町 2-7 日立市	昭31.5.25	
16	平磯白亜紀層	ひたちなか市平磯海岸 ひたちなか市	昭32.6.26	
17	^{おだか} 小高の榎 1株	行方市小高 925 行方市	昭33.3.12	樹勢回復(平18~20)
18	出島の椎 1株	かすみがうら市下軽部 289 かすみがうら市	昭33.3.12	樹勢回復(平12~14)
19	花園の大杉 1株	北茨城市華川町花園 567 花園神社	昭35.12.21	
20	花園のコウヤマキ 2株	北茨城市華川町花園 567 花園神社	昭35.12.21	
21	波崎の大タブ 1株	神栖市波崎 3355 神善寺	昭35.12.21	保存修理(昭61)
22	無量寿寺のボダイジュ 1株	鉾田市鳥栖 1013 無量寿寺	昭36.3.24	
23	お葉付イチョウ 1株	大洗町大貫町 802 西光院	昭37.2.26	自費環境整備(平14)
24	大穂のウメ 1株	つくば市吉沼 2376 個人	昭37.8.27	
25	鹿島神宮樹叢	鹿嶋市宮中 2306-1 ほか 鹿島神宮	昭38.8.23	防虫(昭55)。保護 増殖・防災(平8~9)
26	下横場の大グミ 1株	つくば市高野台 3-6-1 つくば市	昭39.7.31	
27	西蓮寺の大イチョウ 2株	行方市西蓮寺 504 西蓮寺	昭39.7.31	
28	潮来の大ケヤキ 1株	潮来市潮来 1338-2 素鷲熊野神社	昭39.7.31	
29	大生神社の樹叢	潮来市大生 814 大生神社	昭39.7.31	保護増殖(平6)
30	お葉付イチョウ 1株	鉾田市中居 685-1 照明院	昭42.3.30	樹勢回復(平13)

No.	名 称 ・ 数 量	所在地 及び 所有者	指定年月日	補助事業
31	八重の藤 1株	笠間市笠間 39 笠間稲荷神社	昭 42. 11. 24	
32	御岩山の三本スギ 1株	日立市入四間町 752 茨城森林管理署	昭 43. 9. 26	
33	西金砂のイチョウ 1株	常陸太田市上宮河内町 1915 西金砂神社	昭 44. 3. 20	保存修理 (平 15)
34	西金砂のサワラ 1株	常陸太田市上宮河内町 1915 西金砂神社	昭 44. 3. 20	保存修理 (平 15)
35	駒つなぎのイチョウ 1株	日立市大久保町 2-2-11 鹿島神社	昭 44. 12. 1	
36	香仙寺のシイ 1株	常陸太田市松栄町 615 香仙寺	昭 46. 1. 28	保存修理 (平 12)
37	若宮八幡宮のケヤキ 1株	常陸太田市宮本町 2344 若宮八幡宮	昭 46. 12. 2	保存修理 (平 8)
38	真弓神社の爺杉 1株	常陸太田市真弓町陣ヶ峰 2766 真弓神社	昭 46. 12. 2	
39	ウチワサボテン群生地	神栖市太田 2070-8 神栖市教育委員会	昭 47. 12. 18	
40	モチノキ 1株	常陸太田市天下野町 9740 東金砂神社	昭 47. 12. 18	保護管理 (昭 57)
41	大塚神社のスギ 1株	高萩市下君田 1377 大塚神社	昭 49. 3. 31	
42	大塚神社のモミ 1株	高萩市下君田 1377 大塚神社	昭 49. 3. 31	
43	不動院のカヤ 1株	那珂市菅谷 3021 不動院	昭 49. 3. 31	
44	菅谷のカヤ 1株	那珂市菅谷 756 個人	昭 50. 3. 25	
45	菅谷のモチノキ 1株	那珂市菅谷 841 個人	昭 50. 3. 25	
46	曙のグミ 1株	阿見町曙 151-106 阿見町	昭 52. 7. 18	
47	泉福寺のシダレザクラ 1株	常陸太田市大中町 1265 泉福寺	昭 52. 7. 18	
48	ボダイジュ 1株	古河市仁連 126 東漸寺	平 4. 1. 24	
49	イチイガシ 1株	古河市恩名 2347 個人	平 4. 1. 24	
50	椎尾山薬王院の樹叢	桜川市真壁町椎尾 3196 薬王院	平 6. 1. 26	
51	七反のシダレザクラ 1株	常陸太田市里川町 484-6 常陸太田市	平 7. 1. 23	
52	猿喰のケヤキ 1株	常陸太田市徳田町 1744-2 徳田共有地管理委員会	平 9. 1. 27	
53	鷲子山上神社のカヤ 1株	常陸大宮市鷲子 3614-2 鷲子山上神社	平 10. 1. 21	
54	松岩寺のヤマザクラ 1株	高萩市下君田 1569 松岩寺	平 11. 1. 25	支柱付替 (平 30)
55	稲田禅房のお葉付イチョウ 1株	笠間市稲田 469 宗教法人西念寺	平 12. 11. 27	
56	文武館跡のケヤキ 2株	大子町大字大子 554 大子町	平 14. 12. 25	
57	酒列磯前神社の樹叢 38,837 m ²	ひたちなか市磯崎町 4607-2 宗教法人酒列磯前神社	平 17. 11. 25	参道整備 (令元)
58	外大野のシダレザクラ 1株	大子町大字外大野 1312 個人	平 17. 11. 25	

(5) 国登録文化財一覧

ア 国登録有形文化財(建造物)

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	茨城県立水戸商業高等学校旧本館玄関	水戸市新莊3-7-2	茨城県	平成8年12月20日
2	水戸市水道低区配水塔	水戸市北見町126-14	水戸市	平成8年12月20日
3	祐月本店雛蔵	水戸市末広町2-2282-21	個人	平成27年11月17日
4	和田家住宅延年楼	水戸市自由が丘4610-29	個人	平成27年11月17日
5	笠間市立歴史民俗資料館(旧宍戸町役場庁舎)	笠間市平町29	笠間市	平成16年2月17日
6	富田家住宅主屋	笠間市大郷戸字内川378	笠間市	令和4年10月31日
7	間宮家住宅主屋	常陸大宮市高部3991	個人	平成15年7月1日
8	旧岡山酒造養浩園喜雨亭	常陸大宮市高部字宿3970	個人	令和4年6月29日
9	島家住宅主屋	城里町上古内480-1	城里町	平成14年8月21日
10	武石家住宅主屋	大洗町磯浜町1107-1	個人	平成17年2月9日
11	幕末と明治の博物館別館	大洗町磯浜町字見付久保8231番地4	大洗町	平成17年2月9日
12	大貫家住宅主屋	大洗町磯浜町字道祖神脇1130-3	個人	平成18年3月2日
13	旧おかめ旅館本館	大洗町磯浜町2315-4他	個人	平成19年10月2日
14	潮田家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁189	個人	平成11年11月18日
15	潮田家住宅袖蔵	〃	〃	〃
16	潮田家住宅脇蔵	〃	〃	〃
17	潮田家住宅別荘(離れ)	〃	〃	〃
18	谷口家住宅店舗	桜川市真壁町桜井373	個人	平成12年4月28日
19	谷口家住宅北袖蔵	〃	〃	〃
20	谷口家住宅南袖蔵	〃	〃	〃
21	谷口家住宅門	〃	〃	〃
22	川島書店見世蔵	桜川市真壁町真壁335	個人	平成12年10月18日
23	三輪家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁229	個人	平成12年10月18日
24	三輪家住宅主屋	〃	〃	〃
25	木村家住宅(小田部生花店)見世蔵	桜川市真壁町真壁字高上町217-1	桜川市	平成12年10月18日
26	木村家住宅(小田部生花店)主屋	〃	〃	〃
27	旧真壁郵便局	桜川市真壁町真壁297	桜川市	平成12年10月18日
28	谷田部家住宅長屋門	桜川市真壁町古城198-1	個人	平成12年10月18日
29	猪瀬家住宅薬医門	桜川市真壁町真壁1	個人	平成12年10月18日
30	村井醸造脇蔵	桜川市真壁町真壁72	個人	平成12年12月4日
31	村井醸造石蔵	桜川市真壁町真壁200-1	個人	平成12年12月4日
32	塚本茶舗脇蔵	桜川市真壁町真壁213-1	個人	平成12年12月4日
33	伊勢屋旅館主屋	桜川市真壁町真壁193	個人	平成12年12月4日
34	伊勢屋旅館土蔵	〃	〃	〃
35	鈴木醸造主屋	桜川市真壁町古城191	個人	平成12年12月4日
36	鈴木醸造長屋門	〃	〃	〃
37	西岡本店店舗	桜川市真壁町田6-1	個人	平成13年8月28日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
38	西岡本店脇蔵	桜川市真壁町田6-1	個人	平成13年8月28日
39	西岡本店米蔵	〃	〃	〃
40	小田部鑄造主屋	桜川市真壁町田45	個人	平成13年8月28日
41	小田部鑄造北土蔵	〃	〃	〃
42	小田部鑄造南土蔵	〃	〃	〃
43	小田部鑄造門	〃	〃	〃
44	関根家住宅店舗	桜川市真壁町真壁390	個人	平成14年6月25日
45	関根家住宅主屋	〃	〃	〃
46	中村家住宅主屋	桜川市真壁町真壁391-1	個人	平成14年6月25日
47	中村家住宅文庫蔵	〃	〃	〃
48	中村家住宅薬医門及び塀	〃	〃	〃
49	橋本旅館主屋	桜川市真壁町真壁410	個人	平成14年6月25日
50	橋本旅館土蔵	〃	〃	〃
51	入江家住宅主屋	桜川市真壁町真壁220	個人	平成14年8月21日
52	高久家住宅店舗	桜川市真壁町真壁191	個人	平成14年8月21日
53	川島洋品店土蔵	桜川市真壁町真壁302	個人	平成14年8月21日
54	星野家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁288	個人	平成14年8月21日
55	木村家住宅門	桜川市真壁町真壁宇高上町217-1	桜川市	平成14年8月21日
56	市塚紀夫家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁236-1	個人	平成15年7月1日
57	土谷家住宅土蔵	桜川市真壁町真壁272-1	個人	平成15年7月1日
58	山中家住宅長屋門	桜川市真壁町真壁308	個人	平成15年7月1日
59	山中家住宅土蔵	〃	〃	〃
60	中村家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁433	個人	平成15年7月1日
61	中村家住宅主屋	〃	〃	〃
62	細谷家住宅主屋	桜川市真壁町飯塚44	個人	平成15年7月1日
63	細谷家住宅長屋門	〃	〃	〃
64	市塚章一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚74	個人	平成15年7月1日
65	市塚昌宏家住宅表門	桜川市真壁町飯塚85	個人	平成15年7月1日
66	小林商店店舗	桜川市真壁町飯塚171-2	個人	平成15年7月1日
67	小林商店米蔵	〃	〃	〃
68	増淵家住宅店舗	桜川市真壁町真壁396	個人	平成15年9月19日
69	増淵家住宅主屋	〃	〃	〃
70	増淵家住宅長屋門	〃	〃	〃
71	佐藤家住宅表門	桜川市真壁町真壁397	個人	平成15年9月19日
72	市塚政一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚26	個人	平成15年9月19日
73	桜井家住宅店舗	桜川市真壁町真壁409	個人	平成16年2月17日
74	桜井家住宅主屋	〃	〃	〃
75	桜井家住宅西蔵	桜川市真壁町真壁409	個人	平成16年2月17日
76	桜井家住宅新蔵	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
77	北岡家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町飯塚104	個 人	平成16年2月17日
78	大森家住宅主屋	桜川市真壁町桜井169-1	個 人	平成16年3月2日
79	大森家住宅長屋門	〃	〃	〃
80	大森家住宅石蔵	〃	〃	〃
81	密弘寺不動堂	桜川市真壁町真壁184	密弘寺	平成16年3月2日
82	西岡家住宅店舗	桜川市真壁町真壁56-1	個 人	平成16年6月9日
83	西岡家住宅主屋	〃	〃	〃
84	西岡家住宅土蔵	〃	〃	〃
85	平井家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁264	個 人	平成16年6月9日
86	平井家住宅土蔵	〃	〃	〃
87	旧樺穂小学校校舎	桜川市真壁町真壁351	個 人	平成16年6月9日
88	塚本家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁60	個 人	平成16年11月8日
89	塚本家住宅主屋	〃	〃	〃
90	塚本家住宅土蔵	〃	〃	〃
91	塚本家住宅門	〃	〃	〃
92	村井醸造店舗	桜川市真壁町真壁72	個 人	平成16年11月8日
93	村井醸造煙突	〃	〃	〃
94	土生都家住宅主屋	桜川市真壁町真壁75-2	個 人	平成16年11月8日
95	土生都家住宅門	〃	〃	〃
96	根本医院門	桜川市真壁町真壁202	個 人	平成16年11月8日
97	鈴木家住宅表門	桜川市真壁町真壁34	個 人	平成17年7月12日
98	村上家住宅主屋	桜川市真壁町真壁232	個 人	平成17年7月12日
99	村上家住宅離れ	〃	〃	〃
100	村上家住宅土蔵	〃	〃	〃
101	村上家住宅表門	〃	〃	〃
102	出川家住宅主屋	桜川市真壁町真壁347	個 人	平成17年7月12日
103	出川家住宅石蔵	〃	〃	〃
104	増淵宥市家住宅表門	桜川市真壁町真壁412	個 人	平成17年7月12日
105	増淵宥市家住宅土蔵	〃	〃	〃
106	谷口義衛家住宅長屋門及び主屋	桜川市真壁町桜井1	個 人	平成17年7月12日
107	谷口義衛家住宅土蔵	〃	〃	〃
108	谷口家住宅主屋	桜川市真壁町桜井373	個 人	平成17年7月12日
109	谷口家住宅離れ	〃	〃	〃
110	谷口家住宅石蔵	〃	〃	〃
111	谷口家住宅奥蔵	〃	〃	〃
112	谷口家住宅穀蔵	〃	〃	〃
113	安達家住宅見世蔵及び主屋	桜川市真壁町真壁字新宿町424-1	個 人	平成29年10月27日
114	安達家住宅座敷	〃	〃	〃
115	安達家住宅薬医門	桜川市真壁町真壁字新宿町424-1	個 人	平成29年10月27日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
116	照沼家住宅主屋	東海村大字照沼字寺沼23	個 人	平成19年7月31日
117	旧共楽館（日立武道館）	日立市白銀町2-21-15	日立市	平成11年7月8日
118	梅津会館（旧太田町役場）	常陸太田市西二町2186	常陸太田市	平成11年8月23日
119	旧町屋変電所	常陸太田市西河内下町1382-1	〃	〃
120	央橋	常陸太田市春友町～町屋町	常陸太田市	平成15年9月19日
121	花貫川第一発電所第三号水路橋（めがね橋）	高萩市大字秋山坂木2989	東京発電株式会社	平成11年11月18日
122	賀美発電所本館	常陸太田市上深荻町320	東京発電株式会社	平成16年11月8日
123	賀美発電所放水路及び余水路	常陸太田市上深荻町	〃	〃
124	賀美発電所取水所	常陸太田市小菅町	〃	〃
125	小里川発電所本館	常陸太田市徳田町1284-2	東京発電株式会社	平成16年11月8日
126	小里川発電所放水路	常陸太田市徳田町	〃	〃
127	小里川発電所余水路	〃	〃	〃
128	小里川発電所取水所	〃	〃	〃
129	徳田発電所本館	常陸太田市徳田町	東京発電株式会社	平成16年11月8日
130	徳田発電所放水路	〃	〃	〃
131	徳田発電所余水路	〃	〃	〃
132	徳田発電所取水所	〃	〃	〃
133	駿河屋宮田書店店舗兼主屋	常陸太田市内堀町2357	個 人	平成26年10月7日
134	駿河屋宮田書店土蔵	〃	〃	〃
135	旧稲田家住宅赤煉瓦蔵	常陸太田市東一町2295-2	〃	〃
136	立川醤油店店舗及び主屋	常陸太田市西二町字西二西2177他	個 人	令和3年2月26日
137	茨城大学五浦美術文化研究所岡倉天心旧居（研究室）	北茨城市大津町五浦727-2	国立大学法人茨城大学	平成15年7月1日
138	茨城大学五浦美術文化研究所長屋門（管理舎・陳列館）	〃	〃	〃
139	石岡第二発電所取水堰堤	北茨城市中郷町石岡	東京発電株式会社	平成18年3月2日
140	石岡第二発電所沈砂池	〃	〃	〃
141	石岡第二発電所余水路	〃	〃	〃
142	石岡第二発電所水槽	〃	〃	〃
143	石岡第二発電所鉄管路擁壁	〃	〃	〃
144	石岡第二発電所本館	北茨城市中郷町石岡69-1	〃	平成18年3月2日
145	旧上岡小学校第一棟	大子町上岡914他	大子町	平成26年12月19日
146	旧上岡小学校第二棟	〃	〃	〃
147	旧上岡小学校第三棟	〃	〃	〃
148	旧黒沢中学校本館	大子町上郷2604他	大子町	平成26年12月19日
149	旧黒沢中学校技術教室	〃	〃	〃
150	旧黒沢中学校調理室及び図書館	〃	〃	〃
151	旧黒沢中学校屋内運動場	〃	〃	〃
152	旧黒沢中学校音楽教室	〃	〃	〃
153	旧外池呉服店店舗	大子町大字大子字金町東側624・625合併	個 人	平成28年2月25日
154	旧樋口病院入院棟	大子町大字大子字泉町北側705	個 人	平成28年2月25日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
155	大子カフェ店舗兼主屋	大子町大字大子字本町南側689	個 人	平成28年2月25日
156	大子カフェ土蔵	大子町大字大子字本町南側687-2	個 人	平成28年2月25日
157	旧大子銀行本店	大子町大字大子字金町西側642-2	個 人	平成29年5月2日
158	旧初原小学校一号棟	大子町初原960	大子町	平成30年5月10日
159	旧初原小学校二号棟	〃	〃	〃
160	旧初原小学校講堂	〃	〃	〃
161	旧西金小学校校舎	大子町西金250	大子町	平成30年5月10日
162	旧西金小学校理科室及び音楽室	〃	〃	〃
163	旧西金小学校調理室	〃	〃	〃
164	旧浅川小学校一号棟	大子町浅川1253	大子町	平成30年5月10日
165	旧浅川小学校二号棟	〃	〃	〃
166	旧槇野地小学校校舎	大子町槇野地2469	大子町	平成30年5月10日
167	一色家住宅主屋	土浦市西真鍋町1918-1	土浦市	平成13年8月28日
168	岩瀬家住宅主屋	土浦市小山崎字道知411-1他	個 人	平成21年1月8日
169	岩瀬家住宅屋敷蔵	〃	個 人	平成22年4月28日
170	岩瀬家住宅米蔵	〃	〃	〃
171	岩瀬家住宅味噌倉	〃	〃	〃
172	岩瀬家住宅表門	〃	〃	〃
173	岩瀬家住宅中ノ門	〃	〃	〃
174	岩瀬家住宅東門	〃	〃	〃
175	岩瀬家住宅塀	〃	〃	〃
176	旧大徳呉服店店蔵北棟	土浦市中央1-914-4	土浦市	平成28年8月1日
177	旧大徳呉服店店蔵南棟	〃	〃	〃
178	旧大徳呉服店袖蔵	〃	〃	〃
179	旧大徳呉服店元蔵	土浦市中央1-914-5	土浦市	〃
180	旧大徳呉服店向蔵	〃	〃	〃
181	旧野村さとう店店舗兼主屋	土浦市中央1-950・952合併	土浦市	平成28年8月1日
182	旧野村さとう店袖蔵	〃	〃	〃
183	旧野村さとう店文庫蔵	〃	〃	〃
184	旧野村さとう店煉瓦蔵	〃	〃	〃
185	きそば東京庵店舗兼住宅	石岡市国府3-3-16	個 人	平成15年7月1日
186	福島屋砂糖店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-20	個 人	平成15年7月1日
187	丁子屋店舗兼住宅	石岡市国府3-5-6	個 人	平成15年7月1日
188	森戸文四郎商店店舗兼住宅	石岡市国府3-695-1	株式会社マエノ	平成15年9月19日
189	大和田家貸店舗	石岡市国府3-3-24	個 人	平成15年9月19日
190	十七屋履物店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-22	個 人	平成15年9月19日
191	平松理容店店舗兼住宅	石岡市府中2-7-20	個 人	平成16年7月23日
192	久松商店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-21	個 人	平成16年7月23日
193	府中誉主屋	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成16年7月23日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
194	府中菅長屋門	石岡市国府5-9-32	府中菅株式会社	平成16年7月23日
195	府中菅文庫蔵	〃	〃	〃
196	府中菅穀蔵	〃	〃	〃
197	すがや化粧品店店舗兼住宅	石岡市国府3-5-1	個人	平成17年11月10日
198	府中菅仕込蔵	石岡市国府5-9-32	府中菅株式会社	平成17年11月10日
199	府中菅釜場	〃	〃	〃
200	府中菅春屋	〃	〃	〃
201	大場家住宅主屋	石岡市佐久258-2	個人	平成17年12月26日
202	栗山呉服店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-25	個人	平成18年3月2日
203	坂入家住宅主屋	石岡市辻字山下179	個人	平成22年4月28日
204	旧小野瀬家住宅店舗	龍ヶ崎市4252	有限会社東洋不動産	平成16年2月17日
205	旧小野瀬家住宅主屋	〃	〃	〃
206	旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀	龍ヶ崎市上町4274-1	龍ヶ崎市	平成30年5月10日
207	旧渡辺甚吉邸主屋	取手市寺田字原5270-8他	前田建設工業株式会社	令和5年2月27日
208	旧岡田小学校女化分校校舎	牛久市女化町391-1	牛久市	平成30年5月10日
209	宮本家住宅店蔵	つくば市北条188	個人	平成15年7月1日
210	宮本家住宅居宅	〃	〃	〃
211	宮本家住宅離れ	〃	〃	〃
212	宮本家住宅炊事場	〃	〃	〃
213	宮本家住宅門	〃	〃	〃
214	宮本家住宅炭・味噌小屋及び車庫	〃	〃	〃
215	宮本家住宅新蔵	〃	〃	〃
216	宮本家住宅大蔵	〃	〃	〃
217	沼尻家住宅主屋	つくば市金田38-1	個人	平成17年7月12日
218	沼尻家住宅米蔵	〃	〃	〃
219	沼尻家住宅蔵	〃	〃	〃
220	沼尻家住宅長屋	〃	〃	〃
221	旧矢中家住宅主屋	つくば市北条字古城94-1他	個人	平成23年7月25日
222	旧矢中家住宅離れ	〃	〃	〃
223	旧矢中家住宅石蔵及び石塀	〃	〃	〃
224	旧矢中家住宅擁壁及び横井戸	〃	〃	〃
225	旧田村呉服店ミセ蔵兼主屋	つくば市北条字日向39-1	個人	平成27年11月17日
226	旧田村呉服店店蔵	〃	〃	〃
227	旧田村呉服店穀蔵及び浴室	〃	〃	〃
228	旧田村呉服店炊事場	〃	〃	〃
229	旧常陸北条郵便局	つくば市北条字中町裏183-3	個人	平成27年11月17日
230	旧根本家住宅主屋	つくば市吉瀬字清水1680	個人	平成27年11月17日
231	旧根本家住宅長屋門	〃	〃	〃
232	旧植竹庄兵衛家住宅洋館	稲敷市江戸崎字大日久保甲2354	個人	平成19年10月2日
233	旧植竹庄兵衛家住宅和館	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
234	旧植竹庄兵衛家住宅土蔵	稲敷市江戸崎字大日久保甲2354	個 人	平成19年10月2日
235	小澤家住宅主屋	美浦村大字大谷字向1620	個 人	平成21年1月8日
236	小澤家住宅米蔵	〃	〃	〃
237	小澤家住宅表門	〃	〃	〃
238	篆刻美術館表蔵棟（旧平野家表蔵棟）	古河市中央町2-4-18	古河市	平成10年10月9日
239	篆刻美術館裏蔵棟（旧平野家裏蔵棟）	〃	〃	〃
240	坂長本店店蔵	古河市中央町3-5742・5743他	古河市	平成12年9月26日
241	坂長本店袖蔵	古河市中央町3-5742・5743他	古河市	平成12年9月26日
242	坂長本店主屋	〃	〃	〃
243	坂長本店文庫蔵	〃	〃	〃
244	坂長本店中蔵	〃	〃	〃
245	坂長本店石蔵	〃	〃	〃
246	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館	古河市雷電町1-78	亀屋商事株式会社	平成16年6月9日
247	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館土蔵	〃	〃	〃
248	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館旧食堂及び旧浴室	〃	〃	〃
249	亀屋商事（旧飯島家住宅）煉瓦倉庫	古河市東1-15-11	〃	〃
250	武蔵屋店舗	古河市横山町1-5535-2	株式会社武蔵屋	平成25年6月21日
251	荒川家住宅主屋	筑西市甲868	個 人	平成11年8月23日
252	荒川家住宅店蔵	〃	〃	〃
253	荒川家住宅付属屋	〃	〃	〃
254	荒川家住宅内蔵	〃	〃	〃
255	荒川家住宅石蔵	〃	〃	〃
256	一木齒科医院	筑西市甲12	個 人	平成11年8月23日
257	荒川家住宅主屋	筑西市字田町甲929-1他	個 人	平成23年7月25日
258	荒川家住宅旧店蔵	〃	〃	〃
259	荒川家住宅旧土蔵	〃	〃	〃
260	旧尾見家住宅主屋	筑西市村田字下町1624	個 人	平成28年11月29日
261	旧尾見家住宅神輿蔵	〃	〃	〃
262	旧尾見家住宅薬医門	〃	〃	〃
263	江連用水旧溝宮裏両樋	下妻市本宗道	下妻市	平成27年3月26日
264	結城酒造株式会社煉瓦煙突	結城市大字結城1589	個 人	平成12年4月28日
265	奥順見世蔵	結城市大字結城字大町9-2	個 人	平成17年2月9日
266	奥順店舗	結城市大字結城字大町9-2, 12-2	〃	〃
267	奥順離れ	〃	〃	〃
268	奥順土蔵	結城市大字結城字大町9-2, 字西の宮町1336-2	〃	〃
269	結真袖見世蔵	結城市大字結城字大町68-1	個 人	平成17年2月9日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
270	結真袖主屋	結城市大字結城字大町68-1	個人	平成17年2月9日
271	小西見世蔵	結城市大字結城字浦町114	個人	平成17年2月9日
272	赤荻本店見世蔵	結城市大字結城字浦町122	個人	平成17年2月9日
273	秋葉糰味噌醸造見世蔵	結城市大字結城字浦町174-1	個人	平成17年2月9日
274	鈴木紡績見世蔵	結城市大字結城字西の宮町1355	個人	平成17年2月9日
275	鈴木紡績主屋	〃	〃	〃
276	中澤商店見世蔵及び主屋	結城市大字結城字穀町1538	個人	平成17年2月9日
277	旧黒川米穀店店舗	結城市大字結城字西の宮町1319-2	個人	平成18年10月18日
278	キヌヤ薬舗店舗	結城市大字結城字大町9	個人	平成18年10月18日
279	奥順老の蔵	結城市大字結城大町82	奥順株式会社	平成18年10月18日
280	小倉商店店舗兼主屋	結城市大字結城字浦町116	個人	平成20年3月7日
281	奥庄店舗兼主屋	結城市大字結城字大町24他	個人	平成21年1月8日
282	保坂家住宅主屋	結城市大字結城字浦町135他	個人	平成23年7月25日
283	保坂家住宅土蔵	〃	〃	〃
284	武勇見世蔵	結城市大字結城字浦町144	個人	平成23年7月25日
285	武勇脇蔵	〃	〃	〃
286	武勇製品蔵	〃	〃	〃
287	武勇仕込蔵	〃	〃	〃
288	武勇旧釜蔵	〃	〃	〃
289	武勇煙突	〃	〃	〃
290	鈴木新平商店見世蔵	結城市大字結城字浦町109-1	個人	平成26年12月19日
291	鈴木新平商店文庫蔵	〃	〃	〃
292	鈴木新平商店座敷棟	〃	〃	〃
293	二水会館（旧水海道町役場）	常総市水海道天満町1606	常総市	平成9年12月12日
294	五木宗レンガ蔵	常総市水海道元町3421-1	個人	平成12年4月28日
295	武道館（旧水海道小学校雨天体操場兼講堂）	常総市水海道栄町2680-1	常総市	平成15年7月1日
296	旧大塚酒造店舗兼主屋	坂東市岩井3351-2	坂東市	平成29年5月2日
297	旧大塚酒造本蔵	〃	〃	〃
298	谷中家住宅主屋	結城郡八千代町大字坪井字内海道87-1	個人	令和4年6月29日

イ 国登録有形民俗文化財

	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	常陸大宮及び周辺地域の和紙生産用具と製品	常陸大宮市	常陸大宮市	平成25年3月12日
2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具	大子町	大子町	平成26年2月24日

ウ 国登録記念物

	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦	北茨城市大津町	国立大学法人茨城大学・国土交通省	平成26年3月18日
2	岡山氏庭園（養浩園）	常陸大宮市高部字宿	個人	令和4年11月10日

5 市町村別指定文化財数

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
水戸市	国	5		1	2				1	1				6	1	1	18
	県	6	14	9	24	4			4	2			3	3			69*
	市	13	9	13	20		2	1	10	12	4		4	12		8	108
笠間市	国	3		4												1	8
	県	2	1	10	3	3				1				1		2	23
	市	10	12	36	9	1	1	2	5	4		1	3	17		18	119
ひたちなか市	国													2			2
	県	1			5	1			3					2		3	15
	市	4			4				10	2	2	2	8	11	3	7	53
那珂市	国		3						1								4
	県	1	5	8	3	3				1				1		4	26
	市	2	3	8	6	1		1	12	3			2	4		15	57
常陸大宮市	国								1					1			2
	県	1		4	1				1	1	1	2				3	14
	市	10	5	22	8		1	4	6	6	1	4	9	14		17	106
茨城町	国			1										1		1	3
	県	1	1	2											2		6
	町	1		12	1			1	7			1	3	10		4	40
小美玉市	国																0
	県	1	3	1	1	1											7
	市	6	3	11	4	3		2	2	3		1	6	15		9	65
城里町	国			2													2
	県			3	2						1			2			8
	町	4	3	10	4	3					1	1	2	12	1	5	46
大洗町	国													1			1
	県	1	2	6	5	2			1							1	18
	町	2	3	2				2							1	1	11
東海村	国																0
	県		1						2					1			4
	村			6				3	6	1		4		4		7	31
大子町	国														1		1
	県			1									1		1	3	6
	町	2	1	3					1		2	2	1	4		6	22
日立市	国											1	1	1		1	4
	県	1	1	6	2	1			1	2		1	1	5		3	24*
	市	4	1	4	5	1			3	4		5	2	8	2	5	44
常陸太田市	国	2		2										2	1		7
	県	3	7	10	2	3							3	4		9	41
	市	5	12	11	16	2			8	4	1	2	2	12		18	93
高萩市	国	1								1						1	3*
	県	1	1							1						3	6
	市		1	1	1			2	1	5			2	7		3	23
北茨城市	国	1											1				2*
	県			3					1				1	1	1	3	10
	市	2	2	15					2				2	5		1	29
鹿嶋市	国	4			2									1		1	8
	県		1	4	9			1			1					1	17
	市	14	7	10	2			4	5			1	3	10		3	59
潮来市	国				1												1
	県	7	3	5	5							1	4	2		3	30
	市	9	5	9	7	11		3	4	4		4	4	12		20	92
鉾田市	国		1	1													2
	県	3	1	2		1										2	9
	市	11		11	1	1			4				1	5	1	18	53
神栖市	国	1															1
	県			2												2	4
	市	1	3	9		1	2						5	1		2	24

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
行方市	国	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	県	5	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	13
	市	11	1	23	2	1	0	0	2	2	0	1	5	6	0	16	70
土浦市	国	1	1	1	7				1					1			12
	県	3	4	9	14	3			4	1			3	3		2	46
	市	15	11	42	55	5		6	15	12		7	6	41	2	5	222
石岡市	国	1							1					6			8
	県	2	2	4	7	3		2	4	1		1	5	4		2	37
	市	6	5	18	7	4		3	8	1		6	6	10	2	5	81
龍ヶ崎市	国	1	1														2
	県				1				1				1	1		1	5
	市	1		3	1			1	1	5			1	3		4	20
取手市	国	1															1
	県	3												2		1	6
	市	2		1	1									2			6
牛久市	国	1															1
	県	1		2	2												5
	市	1	3	3	7				2	1				8		2	27
つくば市	国	1			2									3			6
	県	8	5	2	7	2			1					2		2	29
	市	8	16	23	7				6				8	6		9	83
守谷市	国																0
	県			1													1
	市	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		2				1		2			18
	市	5	6	27	6	1		6	3	2			6	7		1	70
かすみがうら市	国	1															1
	県	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	市	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
つくばみらい市	国			1	1								1				3
	県	3		2									1	2			8
	市			6					1	1				1			9
美浦村	国													1			1
	県			2	1				1								4
	村		1	10	7									4			22
阿見町	国																0
	県			2												1	3
	町	1		4				1	2				2	7		4	21
河内町	国																0
	県			1													1
	町	5	2	21	2			1				1		3		4	39
利根町	国				1												1
	県												1				1
	町	4	8	7	3			1	2					6			31
古河市	国	1								1							2
	県	1	2	4	2					1			2	2		2	16
	市	6	9	12	5	2	2	28	10	14		9	4	25		7	133
筑西市	国	1		1							1			4			7
	県	2	7	4	5				1				1	4			24
	市	21	15	19	12	3			10	2		6	4	19		7	118
結城市	国										1			1			2
	県		5	2	5	1		1			1		1	2			18
	市	13	5	17	7		1	7	7				5	27		1	90
下妻市	国	1												1			2
	県			5	2			1	1					1			10
	市	2	3	3				5	3	1			4	6		4	31
常総市	国	1															1
	県		4	2	1								1	1			9
	市	11	6	6	3	1			5		3		6	4		8	53

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
坂東市	国		1														1
	県	3	2	5	3	1							2	1		1	18
	市	6	4	25					12	4			1			10	62
桜川市	国	1		1	1									2	1	1	7
	県	11	6	20	5	4		1	1	1				2		1	52
	市	12		27	1	0		1	7	6		2	3	4		7	70
八千代町	国																0
	県	1		2													3
	町	5	5	10	2	1		4	7					7			41
五霞町	国																0
	県				1									1			2
	町	1			1	5											7
境町	国																0
	県		1		1								1				3
	町		445	3	4	9	1	3	2			19	1	2			489
その他	国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

市町村指定文化財数	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
	243	617	519	233	56	10	97	193	99	13	84	125	385	12	266	2952

(令和5年3月1日現在)

(注) *について

- ・国指定重要文化財(建造物)「石岡第一発電所施設」は、高萩市と北茨城市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定史跡「新治廃寺跡」は、桜川市と筑西市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定史跡「大宝城跡」は、下妻市と筑西市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・県指定有形文化財(歴史資料)「訂正常陸国風土記版木」は、20枚のうち19枚が日立市に、20枚のうち1枚が水戸市に所在するので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定天然記念物「軍鶏(シャモ)」は、東京都・茨城県・秋田県・高知県・千葉県・青森県を主たる棲息地とするので、市町村名を「その他」として記載し、*を付した。

令和4年度新規指定（解除）市町村指定文化財一覧

<新規指定>

市町村名	種別	名称	数量	所在地	所有者	指定年月日
水戸市	絵画	紙本墨画 蜻蛉図 林十江筆	1幅	水戸市緑町2-1-15	個人	令和5年2月10日
水戸市	歴史資料	海河魚属・山海庶品	10冊	水戸市大町3-3-20	水戸市	令和5年2月10日
水戸市	歴史資料	伝三ノ町出土常総系双式板碑	1基	水戸市六反田町767	宗教法人六地藏寺	令和5年2月10日
那珂市	歴史資料	神仏習合関係資料 一括14点	14	那珂市瓜連1276番地	瓜連素鷲神社	令和4年3月18日
那珂市	歴史資料	佐竹義昭奉納棟札 1点	1	那珂市瓜連1276番地	瓜連素鷲神社	令和4年3月18日
常陸大宮市	彫刻	木造聖岡上人坐像	1軀	常陸大宮市上岩瀬381番地	個人	令和4年8月31日
常陸大宮市	考古資料	坪井上遺跡第182号土坑出土土器（火炎土器）	1点	常陸大宮市中富町1087番地の14	常陸大宮市歴史民俗資料館	令和4年8月31日
東海村	考古資料	笠を被る男子埴輪	1	那珂郡東海村村松768-38	東海村	令和4年8月30日
東海村	考古資料	三角巾形冠を被る武人埴輪	1	那珂郡東海村村松768-38	東海村	令和4年8月30日
東海村	古文書	竹瓦新田並畠田ニ成帳	1	那珂郡東海村竹瓦289	個人	令和4年8月30日
東海村	古文書	竹瓦村反別絵図	1	那珂郡東海村竹瓦289	個人	令和4年8月30日
東海村	古文書	常州久慈郡亀下村御検地帳	2	那珂郡東海村村松768-38	東海村	令和4年8月30日
潮来市	史跡	曲松水神社の烏帽子かけ松	1括	潮来市曲松南645-1	曲松区	令和4年2月28日
潮来市	史跡	長山（永山）城跡		潮来市永山字城山1900外	永山東区、永山西区	令和4年12月23日
銚田市	無形民俗文化財	銚田囃子	-	銚田市銚田2044（銚神社内）	銚田囃子保存会	令和4年11月24日
行方市	建造物	八王子神社本殿	1	行方市行方字宮脇944番地	八王子神社	令和4年7月25日
龍ヶ崎市	歴史資料	龍崎校木造扁額及び龍崎学校扁額	1	龍ヶ崎市馴馬町2488	龍ヶ崎市	令和4年11月16日
筑西市	考古資料	雷神社文永十一年銘板碑 附雷神社伝来板碑	2基	筑西市樋口407	宗教法人雷神社	令和4年4月22日
筑西市	考古資料	延命寺文和三年銘板碑	1基	筑西市伊佐山142	宗教法人延命寺	令和4年4月22日
八千代町	史跡	仁江戸5号墳	1基	八千代町大字仁江戸東1282-1の全域 八千代町大字仁江戸東1282-3の一部 八千代町大字仁江戸東1282-6の一部	個人	令和4年12月22日

<指定解除>

	種別	名称	数量	所在地	所有者	解除年月日
笠間市	彫刻	木造大日如来坐像	1 軀	笠間市片庭775番地	楞嚴寺	令和4年12月26日
那珂市	天然記念物	吉田神社のツバキ	1	那珂市東木倉1番地	個人	令和4年7月22日
行方市	天然記念物	成田平のモチノキ	1	行方市成田581番地	個人	令和4年7月25日

6 令和4年度茨城県埋蔵文化財 センター事業概要

1 設置目的

茨城県埋蔵文化財センター「いせきぴあ茨城」（以下「埋蔵文化財センター」という。）は、公益財団法人茨城県教育財団（以下「教育財団」という。）が発掘調査及び整理・研究を行った出土遺物等を収蔵・保管及び管理し、さらに活用して県民への埋蔵文化財の保護と普及啓発を行い、文化財保護行政を担う人材の育成を図る。

なお、埋蔵文化財センター内には、教育財団の整理センターが所在しており、国・県等の開発事業に係る発掘調査で得られた出土遺物等の整理・研究及び報告書刊行を行っている。

2 基本方針

(1) 整理・記録・研究

所蔵資料類の整理・記録・研究報告等を実施する機能を有すること。

(2) 収蔵・保管・管理

出土遺物及び調査記録等の収蔵・保管及び文化財関係図書の整備を行い、資料及び情報等を適切に保管・管理し、活用できる機能を有すること。

(3) 普及・啓発・研修

学校教育や生涯学習との連携を図り、出土遺物等の展示・公開、閲覧・貸出、埋蔵文化財情報の収集・提供、文化財関係図書の閲覧等の普及啓発活動を行う機能を有すること。併せて、市町村文化財担当職員や教職員等に対する研修機能を有すること。

(4) その他

駐車場等、埋蔵文化財センターの利用及び運営に必要な便益的機能を有すること。

3 令和4年度事業概要

(1) 遺物の保存・活用事業

① 収蔵・保管状況（令和4年12月末現在） ※遺物は発掘調査報告書ごとに収蔵・保管

報告書番号	報告書名	所在地	刊行年月
第405集	清水古墳群 神屋遺跡 神屋南遺跡	稲敷市	平成28年3月
第406集	高須賀堂ノ前遺跡 高須賀道城入遺跡	つくば市	平成28年3月
第407集	東田中遺跡 中津川遺跡2	石岡市	平成28年3月
第408集	並松遺跡2	城里町	平成28年3月
第409集	取手宿跡2	取手市	平成28年3月
第411集	仁江戸古墳群	八千代町	平成28年3月
第412集	宮後東原遺跡	筑西市	平成28年3月
第413集	明石遺跡2	つくば市	平成28年3月
第416集	埃倉遺跡 埃倉西遺跡 鐘打東遺跡	坂東市	平成29年3月
第420集	殿島遺跡	小美玉市	平成29年3月
第425集	東大橋逆井遺跡	石岡市	平成30年3月
第426集	清水原山遺跡	潮来市	平成30年3月
第427集	築地遺跡 宮原前遺跡2	常総市	平成30年3月
第428集	山王中坪遺跡	五霞町	平成30年3月
第429集	柴崎大堀遺跡 柴崎大日塚	つくば市	平成30年3月
第430集	見川塚畑遺跡	水戸市	平成30年3月
第431集	島名熊の山遺跡(14区)	つくば市	平成30年3月
第432集	島名熊の山遺跡(13/14区)	つくば市	平成30年3月

報告書番号	報告書名	所在地	刊行年月
第 434 集	東田中遺跡	石岡市	平成 31 年 3 月
第 435 集	九重東岡廃寺 金田西遺跡	つくば市	平成 31 年 3 月
第 436 集	瑞龍遺跡	常陸太田市	平成 31 年 3 月
第 437 集	島名熊の山遺跡(12 区 A・D 区)	つくば市	平成 31 年 3 月
第 438 集	島名中代遺跡	つくば市	平成 31 年 3 月
第 439 集	島名前野東遺跡	つくば市	令和 2 年 3 月
第 440 集	須賀下東遺跡	銚田市	令和 2 年 3 月
第 443 集	金田西坪 B 遺跡	つくば市	令和 2 年 3 月
第 445 集	中道遺跡	大子町	令和 2 年 3 月
第 446 集	下河原崎高山古墳群 2	つくば市	令和 2 年 3 月
第 447 集	与曾内遺跡	龍ヶ崎市	令和 2 年 3 月
第 448 集	熊ノ平古墳群 一本椎遺跡	行方市 潮来市	令和 3 年 3 月
第 449 集	金田西坪 B 遺跡 2	つくば市	令和 3 年 3 月
第 450 集	上境滝の台古墳群 上境作ノ内遺跡 2 上境作ノ内古墳群	つくば市	令和 3 年 3 月
第 451 集	館野遺跡 並木新田台北遺跡	小美玉市	令和 3 年 3 月
第 452 集	下大賀遺跡 2	那珂市	令和 3 年 3 月
第 453 集	大高台遺跡 北久保 B 遺跡	高萩市	令和 3 年 3 月
第 454 集	島名本田遺跡	つくば市	令和 3 年 3 月
第 455 集	米田水塚群第 1 号塚	取手市	令和 3 年 3 月
第 456 集	牛頭座南遺跡	阿見町	令和 3 年 3 月
第 457 集	中居指遺跡	下妻市	令和 4 年 3 月
第 458 集	姥久保遺跡 2	かすみがうら市	令和 4 年 3 月
第 459 集	上境旭台貝塚 5	つくば市	令和 4 年 3 月
第 460 集	金田西遺跡	つくば市	令和 4 年 3 月
第 461 集	船玉台遺跡	小美玉市	令和 4 年 3 月
第 462 集	塔ノ内南遺跡	筑西市	令和 4 年 3 月
第 463 集	天神道 B 遺跡	銚田市	令和 4 年 3 月

※ 発掘調査報告書：教育財団が行った発掘調査の成果をまとめた冊子。

※ 報告書番号のない遺跡の遺物は市町村へ譲与済。

② 活用状況

ア 展示室の構成変更

茨城県内の旧石器時代から近世までの歴史の流れに沿った発掘調査出土資料の展示と、前年度に整理作業が終了した遺跡の最新の成果を紹介

イ 保管資料の利活用

茨城県内小中学校等を対象にした出前授業における展示、実物（縄文土器・弥生土器・石器・土偶）の観察や触れる体験活動のための教材として利活用

ウ 保存資料の貸出等

「みんな知ってる？昔の道具展」（北茨城市教育委員会）への資料（金田西遺跡出土遺物）貸出
「高萩の遺跡展」（高萩市教育委員会）への資料（大高台遺跡・北久保 B 遺跡出土遺物）貸出
県内市町村教育委員会および個人研究者向けの保管資料の閲覧対応

(2) 普及事業

① わくわく体験教室

月	日	テーマ	人	月	日	テーマ	人
5	15	古墳探検をしよう	28	9	11	縄文土器をつくろうⅠ	20
6	12	貝塚のひみつを調べよう	20	10	16	縄文土器をつくろうⅡ	18
7	24	「おどる埴輪（ハニワ）」をつくろう	23	12	4	勾玉や管玉でネックレスをつくろう	23
8	21	「おどる埴輪（ハニワ）」をつくろう	23	計			155

② 出前授業・出前体験（令和4年12月末現在）

月	日	事業所名	人	月	日	事業所名	人
5	25	笠間市立友部第二小（6年）	83	8	5	那珂市瓜連学童保育所	42
6	3	東海村立中丸小（6年）	110	8	8	社会福祉法人豊潤会ゆたか保育園ゆたか学童クラブ	33
6	6	北茨城市立常北中（2年）	70	8	18	社会福祉法人平磯保育園平磯学童クラブかもめ	19
6	7	笠間市立岩間第三小（6年）	34	9	4	那珂市教育委員会 ふるさと教室	18
6	14	水戸市立梅が丘小（6年）	122	9	27	日立市立駒王中（1年）	86
7	13	水戸市立吉田小（6年）	119	10	6	石岡市立児童館	17
7	27	水戸市ふれあいの館	19	10	17	石岡市立児童センター	20
7	31	北茨城市歴史民俗資料館野口雨情記念館	34	11	16	ひたちなか市立美乃浜学園（4年）	143
8	1	NPO 法人笠間学童保育の会笠間小児童クラブ	23	11	17	八千代町立西豊田小（6年）	40
計							1,032

③ 施設見学・体験活動（令和4年12月末現在）

ア 団体

月	日	事業所名	人	月	日	事業所名	人
6	22	城里町立桂小（6年）	18	9	7	城里町立常北小（6年）	23
7	7	城里町立沢山小（6年）	18	9	8	城里町立七会小（6年）	14
7	8	那珂市立額田小（6年）	27	11	10	水戸市立見川幼稚園	41
7	20	大子町立袋田小（6年）	17	12	2	城里町立石塚小（4年）	74
8	4	NPO 法人笠間学童保育の会笠間小児童クラブ	33	計			265

イ 個人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計（人）
人数	58	36	68	21	128	43	41	42	26	463



わくわく体験教室「縄文土器をつくろうⅡ」



出前授業

④ 広報活動

広 報 資 料	主な配布対象等
わくわく体験教室ポスター	茨城県内の小中学校、教育文化施設ほか
施設パンフレット	
埋蔵文化財センターPRクリアファイル	来館者ほか
茨城県教育委員会ホームページでの事業実績掲載	インターネットによる情報提供

⑤ 城里町との連携事業

- 11月13日 「ホロルのたまご～しろさと町民まつり～」へブース出展 利用者320人
 1月22日 城里町、教育財団と城里町文化財散策を共催

(3) 発掘調査整理事業（教育財団）

国土交通省、県からの委託を受け11遺跡を整理し、6冊の発掘調査報告書を刊行予定

4 沿 革

- 平成28年1月 要項策定、展示・収蔵計画等作成
- 平成28年1月 埋蔵文化財センターの愛称を「いせきびあ茨城」に決定
- 平成28年4月 開設、教育財団において整理業務開始
- 平成28年4月1日 埋蔵文化財センター設置要項施行
- 平成28年6月3日 埋蔵文化財センターの運営について、城里町・教育財団・県教委で三者協定書締結
- 平成28年7月26日 開館記念式典を実施、同日より公開開始
- 平成28年9月12日 埋蔵文化財センター運営協議会要項制定
- 平成29年4月1日 埋蔵文化財センター設置要項一部改正 ※ 日曜日の開館を開始

5 所在地

〒311-4325 茨城県東茨城郡城里町北方1481番地（旧城里町立北方小学校敷地）
 電 話 029-289-3300 F A X 029-289-4545

6 利用時間

開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）
 休館日 毎週土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日
 年末・年始（12/29～1/3）

7 令和3年度茨城県遺跡発掘調査報告



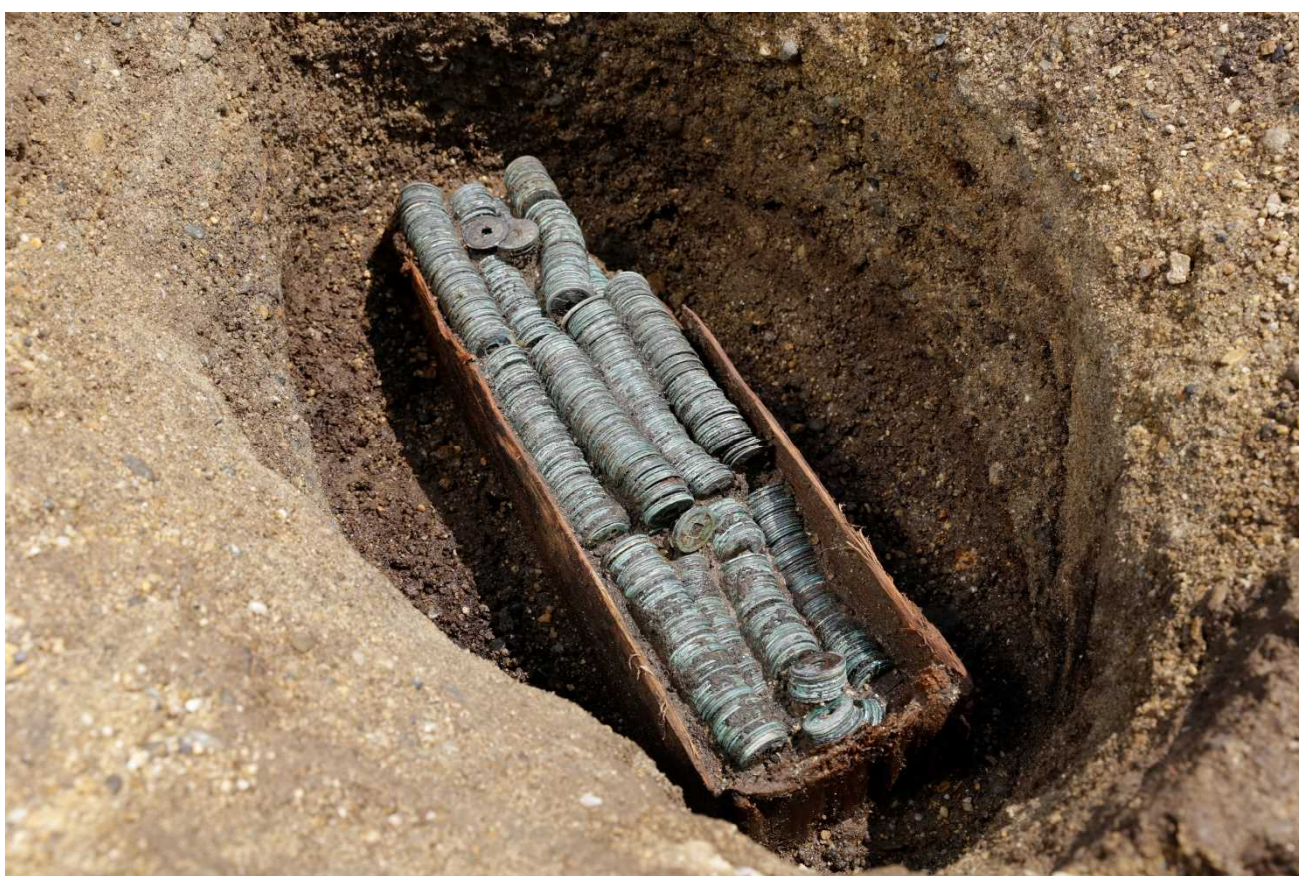
鎌田遺跡 調査区完掘状況（つくばみらい市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕



囿裏窯跡 第1号窯跡完掘状況（水戸市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕

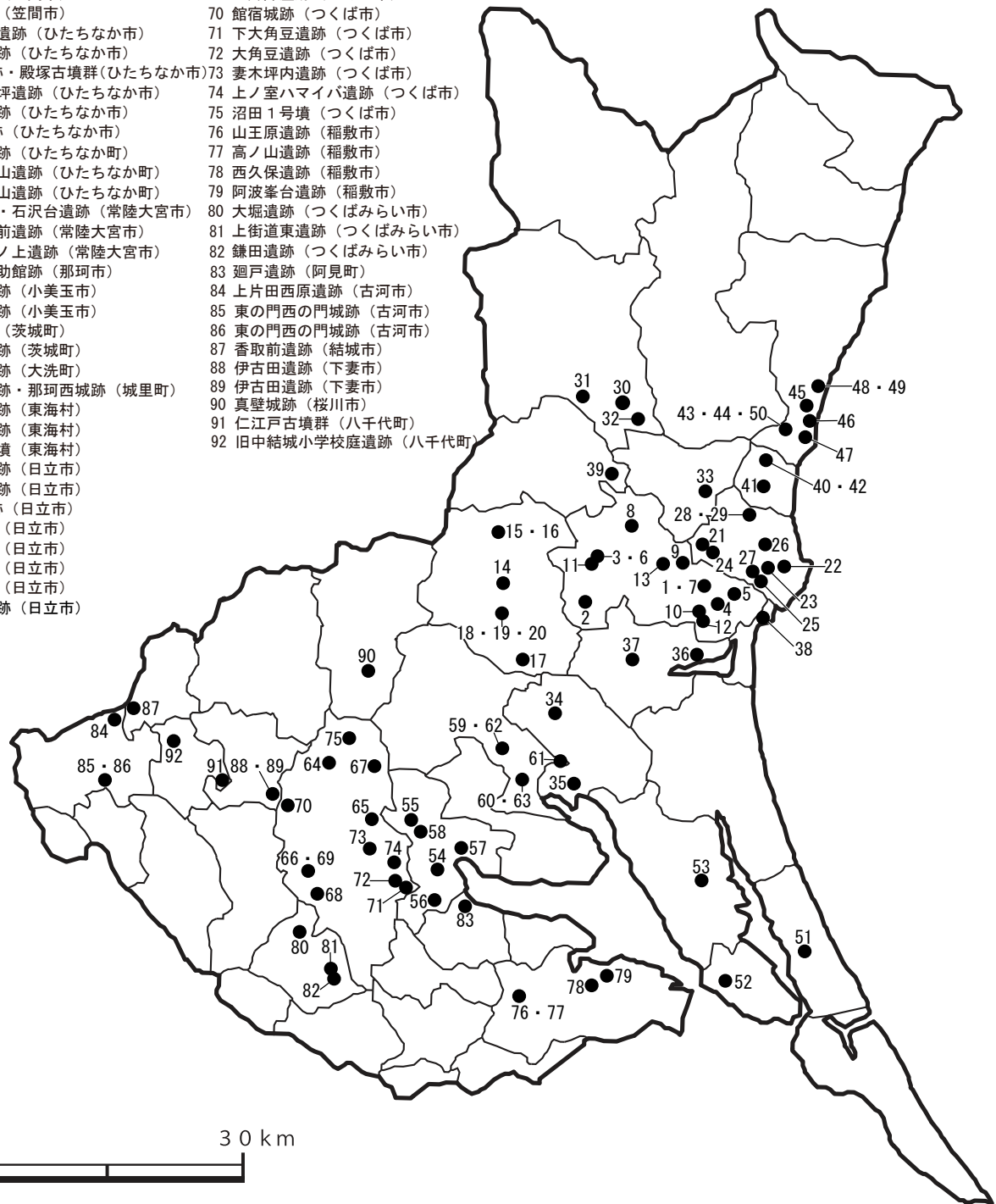


八反遺跡 第12号竖穴建物跡完掘状況（日立市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕



小鶴西遺跡 緋銭出土状況（茨城町）〔提供（公財）茨城県教育財団〕

- 1 塙坪遺跡 (水戸市)
- 2 倉田遺跡 (水戸市)
- 3 清水遺跡 (水戸市)
- 4 小原遺跡 (水戸市)
- 5 上の内遺跡 (水戸市)
- 6 清水遺跡 (水戸市)
- 7 谷田下ノ内遺跡 (水戸市)
- 8 西原古墳群 (水戸市)
- 9 水戸城跡 (水戸市)
- 10 下畑遺跡 (水戸市)
- 11 大塚新地遺跡 (水戸市)
- 12 小仲根遺跡 (水戸市)
- 13 困裏窯跡 (水戸市)
- 14 諏訪山塚群 (笠間市)
- 15 飯田遺跡 (笠間市)
- 16 飯田城跡 (笠間市)
- 17 二子塚古墳群 (笠間市)
- 18 橋爪遺跡 (笠間市)
- 19 橋爪遺跡 (笠間市)
- 20 橋爪遺跡 (笠間市)
- 21 市毛上坪遺跡 (ひたちなか市)
- 22 本郷東遺跡 (ひたちなか市)
- 23 大平C遺跡・殿塚古墳群 (ひたちなか市)
- 24 市毛本郷坪遺跡 (ひたちなか市)
- 25 大房地遺跡 (ひたちなか市)
- 26 向野A遺跡 (ひたちなか市)
- 27 地蔵根遺跡 (ひたちなか町)
- 28 高野富士山遺跡 (ひたちなか町)
- 29 高野富士山遺跡 (ひたちなか町)
- 30 石沢館跡・石沢台遺跡 (常陸大宮市)
- 31 小野天神前遺跡 (常陸大宮市)
- 32 上村田江ノ上遺跡 (常陸大宮市)
- 33 宮田掃部助館跡 (那珂市)
- 34 部室平遺跡 (小美玉市)
- 35 八幡台遺跡 (小美玉市)
- 36 永町遺跡 (茨城町)
- 37 小鶴西遺跡 (茨城町)
- 38 米蔵地遺跡 (大洗町)
- 39 那珂西遺跡・那珂西城跡 (城里町)
- 40 池の上遺跡 (東海村)
- 41 勝木田遺跡 (東海村)
- 42 戸ノ内古墳 (東海村)
- 43 原の内遺跡 (日立市)
- 44 原の内遺跡 (日立市)
- 45 宮脇A遺跡 (日立市)
- 46 泉原遺跡 (日立市)
- 47 吹上遺跡 (日立市)
- 48 八反遺跡 (日立市)
- 49 八反遺跡 (日立市)
- 50 原の内遺跡 (日立市)
- 51 西畑遺跡 (鹿嶋市)
- 52 島崎城跡 (潮来市)
- 53 中城遺跡・中城古墳群 (行方市)
- 54 下高津小学校遺跡 (土浦市)
- 55 大畑本田遺跡 (土浦市)
- 56 形部遺跡 (土浦市)
- 57 王塚古墳 (土浦市)
- 58 下坂田貝塚 (土浦市)
- 59 常陸国分寺跡 (石岡市)
- 60 舟塚山古墳群 (石岡市)
- 61 弥陀ノ台遺跡 (石岡市)
- 62 常陸国府跡 (石岡市)
- 63 中津川遺跡 (石岡市)
- 64 水守遺跡 (つくば市)
- 65 栗原古塚遺跡 (つくば市)
- 66 上郷陣屋跡 (つくば市)
- 67 平沢少高遺跡 (つくば市)
- 68 島名ツバタ遺跡 (つくば市)
- 69 上郷陣屋跡 (つくば市)
- 70 館宿城跡 (つくば市)
- 71 下大角豆遺跡 (つくば市)
- 72 大角豆遺跡 (つくば市)
- 73 妻木坪内遺跡 (つくば市)
- 74 上ノ室ハマイバ遺跡 (つくば市)
- 75 沼田1号墳 (つくば市)
- 76 山王原遺跡 (稲敷市)
- 77 高ノ山遺跡 (稲敷市)
- 78 西久保遺跡 (稲敷市)
- 79 阿波峯台遺跡 (稲敷市)
- 80 大堀遺跡 (つくばみらい市)
- 81 上街道東遺跡 (つくばみらい市)
- 82 鎌田遺跡 (つくばみらい市)
- 83 廻戸遺跡 (阿見町)
- 84 上片田西原遺跡 (古河市)
- 85 東の門西の門城跡 (古河市)
- 86 東の門西の門城跡 (古河市)
- 87 香取前遺跡 (結城市)
- 88 伊古田遺跡 (下妻市)
- 89 伊古田遺跡 (下妻市)
- 90 真壁城跡 (桜川市)
- 91 仁江戸古墳群 (八千代町)
- 92 旧中結城小学校庭遺跡 (八千代町)



令和3年度 発掘調査遺跡分布図

凡例 調査概要内の遺構表示で使用した記号は次のとおりである。記号に続く 01 は第 1 号を意味する。

SB—掘立柱建物跡、SD—溝跡、SI—竪穴建物跡、SK—土坑、SX—不明遺構、SI-01—第 1 号竪穴建物跡

はなわつばいせき

1 埜坪遺跡 (第 7 地点第 2 次) 08201003 (弥生時代～平安時代／集落跡)

所在地 水戸市酒門町字埜 383 番 6
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和 3 年 4 月 13 日～17 日
調査面積 3 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

埜坪遺跡は、那珂川を北東に望む標高 10～30m 程度の台地のうち、国道 6 号と県道中石崎水戸線に挟まれた細長い範囲に立地する。今般の調査では、古墳時代の竪穴建物跡 2 棟 (SI-01・02) を検出した。SI-01 は、床面上に若干の炭化材が散在し、床面は著しく硬化する。なお、覆土中から土師器片が若干量出土した。SI-02 は、SI-01 の床面を掘り込んで構築されており、床面は SI-01 と同じく硬化する。床面直上からは 6 世紀後半から 7 世紀前半の土師器坏が出土した。

くらたいせき

2 倉田遺跡 (第 12 地点第 3 次) 08305019 (縄文時代、奈良・平安時代／集落跡)

所在地 水戸市鯉淵町 4350 番 1
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和 3 年 4 月 21 日～6 月 3 日
調査面積 54.7 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系涸沼前川右岸 (南岸) の標高約 31m の台地上に立地する。今般の調査では、竪穴建物跡 2 棟、いずれも遺構全体の半分程度を検出した。うち 1 棟は縄文時代中期の阿玉台・加曾利 E 式期に帰属する有段建物跡である。当該遺構の平面形態は、下段は一边が約 2.5m、上段は一边が約 5m の、いずれも隅丸方形ないし長方形である。もう 1 棟は 8 世紀第 4 四半期から 9 世紀第 1 四半期の所産と考えられるもので、一边が約 3.5m の、隅丸方形ないし長方形である。

しみずいせき

3 清水遺跡 (第 8 地点第 4 次) 08201123 (旧石器時代～平安時代／集落跡)

所在地 水戸市大塚町字北原 1775 番 42 ほか
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和 3 年 6 月 11 日～18 日
調査面積 33.5 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

清水遺跡は、大塚池に向かって南流する小河川の両岸の標高 40m 前後の台地上に立地し、周辺は緩斜面となっている。今般の調査では、中世以前の所産であると推測される溝跡 1 条とピット 1 基を検出した。SD-01 は、幅約 2.1m、深さ約 1m の、断面逆台形の箱堀であり、今般調査では、遺構底面は西から東にかけて徐々に深くなる傾向がみられた。また、遺構下部に、ロームブロックを多く含むしまりの弱い土が堆積しており、植栽溝の様相が色濃く表れているものと見られる。

こはらいせき

4 小原遺跡 (第 43 地点第 3 次) 08201183 (弥生時代～平安時代／集落跡)

所在地 水戸市東前町字原 1049 番 1
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和 3 年 5 月 7 日～7 月 5 日
調査面積 97.05 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

小原遺跡は、東前原遺跡の南側に隣接した標高 18.5m 前後の台地上に南北約 1km、東西約 400m に渡り占地する。今回の調査では、竪穴建物跡 2 棟、掘立柱建物跡 1 棟、ピット 2 基を検出した。SI-01 は、出土遺物から 7 世紀前半と推定される。SI-02 は、建物中央付近から 6 世紀後半に帰属すると考えられるほぼ完形の土師器甕や土師器高坏の坏部等が出土している。SB-01 は、調査区内で確認できるのは梁・桁行ともに 2 間であり、柱間は梁間が 1.5m 程度、桁行が 1.9m 程度である。

5 上の下遺跡（第4地点第2次）

08201299

（縄文時代～中世／集落跡、包蔵地）

所在地 水戸市東前1丁目58番1
調査原因 建売住宅建築工事
調査年月日 令和3年9月1日～17日
調査面積 112㎡
調査主体 水戸市教育委員会
調査支援 株式会社日本窯業史研究所
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 『上の下遺跡（第4地点第2次） 建売住宅建築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』令和4年3月31日 水戸市教育委員会

調査概要

上の下遺跡は、東茨城台地の裾部、那珂川の右岸の低台地上に立地する。今回の調査では、古墳時代の竪穴建物跡1棟、中世以降の土坑6基、溝跡1条を検出した。SI-01は、一辺が5.8mの方形を呈し、北壁中央に新旧のカマド2基を確認した。また、SI-01からは、水戸市で4例目となる須恵器提瓶が出土し、全体的に小ぶりで、把手部分が瘤状になっていることから、TK209型式並行期と考えられ、7世紀前葉に帰属するものと推測される。

6 清水遺跡（第13地点第2次）

08201123

（旧石器時代～平安時代／集落跡）

所在地 水戸市大塚町字釜久保1604番ほか
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和3年7月13日～8月31日
調査面積 92.77㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

清水遺跡は、大塚池に向かって南流する小河川の両岸の標高40m前後の台地上に立地する。今回の調査では、陥し穴1基、竪穴建物跡2棟、掘立柱建物跡1棟、土坑2基、ピット3基を検出した。SI-01は、北側にカマドをもつ、一辺3.7～4.1m程度の隅丸方形である。出土遺物から9世紀第2四半期から第3四半期の所産であると思われる。また、同遺構内からは人面墨書土器（土師器甕）が出土しており、集落の性格を考えるうえで、貴重な資料となった。

7 谷田下ノ内遺跡（第7地点第2次）

08201002

（縄文時代、古墳時代／集落跡）

所在地 水戸市谷田町字下ノ内604番3ほか
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和3年6月22日～10月29日
調査面積 143㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸（南岸）の標高約9mの台地上に立地する。今回の調査では、竪穴建物跡7棟、ピット88基、土坑40基を検出した。竪穴建物跡のうち2棟は古墳時代後期の所産と考えられ、一方は北側、他方は東側にカマドをもつ。また、一方は一辺約4.2mの規模である。その他の遺構は、ほぼ全てが縄文時代中期の阿玉台・加曾利E式期に帰属するものと考えられる。ピットは多くが直径0.5m前後であるが、深さは約0.8～1.3mと変異に富む。土坑はフラスコ形や袋状のもの等が見られる。

8 西原古墳群（第17地点第10次）

08201080

（古墳時代、近世／集落跡、古墳）

所在地 水戸市堀町字馬場東303番4ほか
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和3年11月24日～12月22日
調査面積 143.5㎡
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系田野川右岸（南岸）の標高約32mの台地上に立地する。今回の調査では、溝跡2条、土坑5基を検出した。溝跡は、今般調査地点の東西それぞれに存在する円墳の周溝である。西側の1条は上端幅約80cm、下端幅約40cm、深さ約50cmの規模で、円を描くように全体的に湾曲しているが、調査区北部にかけて徐々に浅くなり消失する。東側の1条は上端幅約6m、下端幅約1.5m、深さ約1mに及ぶ。断面形態は、縁辺が浅く中央部が深くなる。土坑はいずれも近世の方形土坑である。

9 水戸城跡 (第 112 次) 08201172

(中世～近代／城館跡)

所在地 水戸市三の丸二丁目 21-48 ほか
調査原因 共同住宅建築工事
調査年月日 令和 3 年 12 月 2 日～4 年 2 月 2 日
調査面積 194 m²
調査主体 水戸市教育委員会
調査支援 株式会社日本窯業史研究所
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 『水戸城跡 (第 112 次) 共同住宅建築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』令和 4 年 8 月 31 日 水戸市教育委員会

調査概要

水戸城跡は、那珂川右岸の標高約 15～16m の通称「上市台地」と呼ばれる舌状台地東端部に立地する。絵図面では当該地は水戸藩大老を務めた伊藤玄蕃の屋敷地の北端部で道路と接する位置にあたる。調査の結果、土坑、溝状遺構、性格不明遺構、配石遺構、礎石、礎石跡、ピット等が確認され、道路跡ではなく屋敷地であろうとの結論に至った。また、整地層の下位から中世の遺物が出土し、江戸氏の時代における活動の一端が推察される。

10 下畑遺跡 (第 10 地点第 2 次) 08201006

(縄文時代／集落跡)

所在地 水戸市元石川町 1749 番 3
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和 4 年 1 月 19 日～25 日
調査面積 20.31 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系石川川右岸 (南東岸) の標高約 27m の台地上に立地する。今般の調査では、縄文時代中期の加曾利 E 1 式期に帰属する袋状土坑 1 基を検出した。当該遺構の本来の確認面は耕作による攪乱を被っているものの、完掘後の上端径は約 2.6m、下端径は約 3m の大型のものである。今般の調査結果は周辺におけるそれと齟齬はなく、本遺跡における当該期の土地利用の様相を解明するための貴重な成果となった。

11 大塚新地遺跡 (第 24 地点第 4 次) 08201222

(弥生時代～奈良・平安時代／集落跡)

所在地 水戸市大塚町字神子内 673 番 12
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和 3 年 11 月 16 日～4 年 2 月 9 日
調査面積 94.76 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

大塚新地遺跡は、常磐自動車道水戸インターチェンジ東方の標高 34.0～37.0m の低台地上にあり、南側には桜川左岸 (北岸) の後背湿地の水田地帯が展開する。竪穴建物跡 4 棟、土坑 10 基、ピット 22 基を検出した。SI-06 は、10 世紀第 1 四半期頃の所産であり、北カマドから東カマドへと作り替えが行われたものと推測される。SK-08・10・11 は、直径 1.2～1.8m 程度の円形で、ほぼ垂直に落ち込む円柱形であり、深さは 70 cm 程度であった。覆土中からは弥生土器片 (十王台式) が共通して出土した。

12 小仲根遺跡 (第 7 地点第 2 次) 08201241

(縄文時代、古墳時代～平安時代／集落跡・包蔵地)

所在地 水戸市元石川町字小中根 2239 番 1 の一部
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和 4 年 2 月 24 日～3 月 31 日
調査面積 93 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

小仲根遺跡は、石川川右岸の台地上に位置する。今回の調査では、竪穴建物跡 2 棟、掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 1 条、ピット 5 基を検出した。SI-01 は、出土遺物の年代から 9 世紀第 4 四半期頃と考えられる。SI-01 は、確認面から床面までの深さが 95cm を測り、掘り込みの深い竪穴建物であったことが分かる。また、カマドも大型であり、煙道の長軸は 2.8m、袖部を含め幅 2.4m である。床面直上からは内面黒色処理を施された土師器の外面に「全」と書かれた墨書土器が出土した。

13 囲裏窯跡 08305288

(縄文時代、平安時代、近世、近代／集落跡、窯跡)

所在地 水戸市見和1丁目356番14ほか
調査原因 河川改修事業
調査年月日 令和3年8月1日～11月30日
調査面積 3,966㎡
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

水戸市中央部、沢渡川右岸の標高13～24mの低地及び台地の縁辺部に立地している。斜面地で江戸時代の連房式登窯跡2基、台地平坦部で平窯跡1基を確認した。連房式登窯の天井部や燃焼室は壊されており、レンガで仕切られた燃成室や出し入れ口、煙道部が残存していた。台地上では同時期の掘立柱建物跡、粘土貼土坑、廃棄土坑、溝跡など窯跡に関連する遺構を確認した。また、斜面下では窯の廃絶に伴う整地跡を確認した。

14 諏訪山塚群 08214096

(近世／塚群)

所在地 笠間市平町1270番
調査原因 市道拡幅工事
調査年月日 令和3年4月5日～21日
調査面積 132㎡
調査主体 笠間市教育委員会
調査支援 株式会社日本窯業史研究所
資料保管 笠間市教育委員会
報告書名 『諏訪山塚群一道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』令和3年9月30日 笠間市教育委員会

調査概要

涸沼川支流によって開析された沖積低地を望む友部丘陵の中腹に立地する。今回の調査では、塚3基の調査を実施した。1号塚は長径6m、短径4.8mの楕円形を呈し、高さは山裾側で2m、山側で0.8mを測る。2号塚は、長径3.5m、短径3.2mの楕円形を呈し、高さは山裾側で0.8m、山側で0.4mを測る。3号塚は、長径5.6m、短径5.4mの不整円形を呈し、高さは1.6m、山側で0.6mを測る。遺跡の南西側には市道が通っており、市道は旧地形図にも記載されている古い道路で、旧笠間市と旧友部町とを結ぶ主要道路であった。当地に塚が築かれ信仰の対象となったものと推測される。

15 飯田遺跡 08216175

(縄文時代、平安時代～近世／集落跡)

所在地 笠間市飯田1988-1ほか
調査原因 太陽光発電施設建設
調査年月日 令和3年2月1日～5月17日
調査面積 3,582㎡
調査主体 笠間市教育委員会
調査支援 株式会社ラクロ
資料保管 笠間市教育委員会
報告書名 『飯田遺跡 飯田城跡一太陽光発電施設建設に伴う発掘調査報告書一』令和3年11月30日 笠間市教育委員会 株式会社ラクロ

調査概要

八溝山地の南西端、標高97～106mの尾根上に位置する。今回の調査では、竪穴建物跡31棟(縄文、平安)、土坑92基(縄文、中世以降など)、ピット79基(縄文、中世以降など)、溝跡1条(近世以降)、道路状遺構2条(近世以降)などが確認された。特筆すべきは、縄文時代早期・前期の集落が展開していたことが確認され、出土遺物として、前期黒浜期の遺物が中心である。その他に、平安時代の建物跡3棟の存在と、中世の墓穴土坑など、幅広い時代を遺構が確認した。

16 飯田城跡 08216043

(縄文時代、中世／城館跡)

所在地 笠間市飯田1988-1ほか
調査原因 太陽光発電施設建設
調査年月日 令和3年2月1日～5月17日
調査面積 1,533㎡
調査主体 笠間市教育委員会
調査支援 株式会社ラクロ
資料保管 笠間市教育委員会
報告書名 『飯田遺跡 飯田城跡一太陽光発電施設建設に伴う発掘調査報告書一』令和3年11月30日 笠間市教育委員会 株式会社ラクロ

調査概要

八溝山地の南西端、標高97～106mの尾根上に位置する。今回の調査では、飯田城西側の尾根に展開する土塁・盛土層、堀跡を検出し、堀跡は断面形が薬研や箱薬研状を呈する。他に縄文時代の土坑・ピット、中世の土坑・竪穴状遺構、ピットが確認された。飯田城の遺構の広がりを確認でき、堀跡の作りかえが確認されたことから、少なくとも2時期の存在を確認することができた。出土遺物は、かわらけなどの中世所産のものや、縄文土器が出土した。

17 二子塚古墳群 (2021-01 地点)

08322031

(古墳時代／集落跡)

所在地 笠間市市野谷字二子塚 1481 番 42
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和 3 年 6 月 9 日～7 月 12 日
調査面積 40 m²
調査主体 笠間市教育委員会
資料保管 笠間市教育委員会
報告書名 令和 7 年以降刊行予定

調査概要

巴川北岸の微高地上に展開する。今回の調査では、竪穴建物跡 1 棟 (古墳)、土坑 1 基 (時期不明)、ピット 1 基 (時期不明) が確認された。SI-01 は、一辺が約 4.5m の規模を有し、カマドの存在は遺構検出時及び遺構掘削時においても確認されなかった。覆土には多くの炭化物が見られ、一部板材や角材と思われる炭化材が出土した。床面直上より、高坏数点が出土していることから、古墳時代の建物跡であると推測される。

18 橋爪遺跡 (2021-01 地点)

08214046

(縄文時代／集落跡)

所在地 笠間市橋爪字原 947-3
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和 3 年 7 月 19 日～9 月 8 日
調査面積 100 m²
調査主体 笠間市教育委員会
資料保管 笠間市教育委員会
報告書名 令和 7 年以降刊行予定

調査概要

涸沼川の北岸、常磐線沿いの台地に立地する。今回の調査では、竪穴建物跡 1 棟 (古墳時代以降)、土坑 9 基 (縄文・時期不明)、ピット 10 基 (時期不明)、性格不明遺構 1 基 (中世以前) が確認された。既往の調査では、縄文中期の遺構群が確認されており、それらの検出が予測されたが、縄文時代と考えられる遺構は土坑 2 基のみである。竪穴建物跡は、床面付近に見られた弥生土器や土師器の存在から、古墳時代以降の建物跡である可能性を見出した。また、SX-01 については、一辺が 2.5m 程度であることから、中世の竪穴遺構である可能性がある。

19 橋爪遺跡 (2021-03 地点)

08214046

(縄文時代／集落跡)

所在地 笠間市橋爪字井ノ上 884 番 8
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和 3 年 12 月 2 日～4 年 2 月 15 日
調査面積 120 m²
調査主体 笠間市教育委員会
資料保管 笠間市教育委員会
報告書名 令和 7 年以降刊行予定

調査概要

涸沼川の北岸、常磐線沿いの台地に立地する。今回の調査では、竪穴建物跡 1 棟 (奈良・平安カ)、土坑 29 基 (縄文)、ピット 2 基 (時期不明)、性格不明遺構 1 基 (古墳カ) を確認した。攪乱の影響により、遺構上面を失っているものが多いが、SK-14 では、遺構底面に近い部分で焼土層の展開を確認した。また SK-20 は、遺物出土量が一番多く、深鉢の完形体に近いものが出土している。竪穴建物跡に関しては、耕作による影響を大きく受け、カマドの一部が残存しているに過ぎない状況である。周辺調査の成果と符合する調査結果となった。

20 橋爪遺跡 08214046

(縄文時代、平安時代／集落跡)

所在地 笠間市橋爪 911-5 ほか
調査原因 道路改良事業
調査年月日 令和 3 年 9 月 1 日～10 月 31 日
調査面積 524 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 『橋爪遺跡 一般県道平友部停車場線道路改良事業地内埋蔵文化財調査報告書』茨城県教育財団文化財調査報告第 466 集 令和 5 年 1 月 26 日

調査概要

笠間市東部、涸沼川と涸沼前川に挟まれた標高 42～43 m の台地上に立地している。縄文時代中期後葉と考えられる竪穴建物跡 1 棟、平安時代の竪穴建物跡 2 棟のほか、土坑や道路跡を確認した。調査区西側の緩斜面部では、縄文時代中期前葉から後葉の遺構が市の調査で確認されており、同一集落跡が当地まで広がっていることが判明した。

21 市毛上坪遺跡（第34次） 08221131

(弥生時代～平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字市毛上坪 1206 番 4
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和3年5月11日～6月3日
調査面積 59 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター『令和3年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和4年3月14日 ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、那珂川を臨む台地縁辺部から140mほど離れた地点に位置する。遺構は古墳時代の建物跡3棟が調査された。SI-01は建物跡北西部のみの調査である。床は硬化せず炉の焼土も少ない。覆土中から古墳時代前期の土師器小片が出土し古墳時代前期と思われる。注目される遺物として支柱穴と思われるピット内より鎌が出土した。SI-02は建物跡北側の一部のみの調査である。床は硬化し炉の焼土も厚い。床面から古墳時代中期の土師器壺が出土している。SI-03は建物跡北東部のみの調査である。カマド位置からみて一辺7mほどの大型の建物跡になると思われる。床面は硬化し間仕切りをもつ。床面に焼土やカヤ状炭化物が残ることから火事にあっているものと思われる。カマド前床面から完形の土師器坏が伏せられた状態で出土した。土器からみて古墳時代後期の建物跡と考えられる。

22 本郷東遺跡（第8次） 08221070

(弥生時代～平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字馬渡字本郷東 3776 番
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和3年8月31日～9月16日
調査面積 12 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター『令和3年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和4年3月14日 ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、那珂川の支流である本郷川の低地から北東方向へ入り込む小さな谷の谷頭付近に位置する。遺構は奈良時代の堅穴建物跡1棟が調査された。SI-01は2.5×2mの小規模な建物であり東向きの隅カマドを有する。床に硬化面が認められた。支柱穴はない。南壁際の床面から須恵器坏が逆さに置かれた状態で出土した。その坏の口縁部には複数箇所に油煙が付着しているため、灯火器として用いられたのであろう。また、カマド中層において土師器甕が上から流れ込んだように出土した。その土師器甕は底部が抜けて内面が煤け剥離が顕著に認められることから、煙突として煙出し部分に設置されていたと推測される。

23 大平C遺跡（第9次） 08221003

(縄文時代～平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大成町 44 番 13
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和3年10月5日～26日
調査面積 30 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター『令和3年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和4年3月14日 ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、那珂川の支流である中丸川を望む台地縁辺部付近に位置する。遺構は古墳時代後期の堅穴建物跡1棟が調査された。SI-01は西壁が大部分調査区外になるが、5.1×4.9mを測る中規模の建物跡であり、北壁中央にカマドを有する。床に硬化面が認められ支柱穴は4基確認された。東壁付近床面に間仕切り溝が1条認められた。遺物は完形もしくはほぼ完形の土器がカマド及び床面から多数出土した。カマドからは掛けられた状態の甕が2つ出土した。またカマド脇床面からはほぼ完形の甕がつぶれた状態で出土している。住居床面南半部からは完形の小型甕1点と完形・ほぼ完形の坏10点が点々と出土した。

23 殿塚古墳群（第8次） 08221019

(古墳時代／古墳)

24 市毛本郷坪遺跡 (第11次) 08221133

(弥生時代～近世／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字市毛字本郷坪 469 番
10 ほか

調査原因 個人住宅建築

調査年月日 令和3年11月10日～12月3日

調査面積 67 m²

調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社

資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター『令和3年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和4年3月14日 ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、那珂川低地から北方へ入り込む小さな谷を臨む台地上に位置する。遺構は奈良・平安時代の竪穴建物跡3棟、時期不明の竪穴建物跡1棟、中世の溝跡1条、古墳時代の土坑3基、近世の土坑1基、近世以前の土坑4基が調査された。建物跡の残りは悪いが、平安時代のSI-03からは提碇と土師器紡錘車が出土している。SD-01は幅2.4m、深さ0.3mを測り、深みのある内耳土鍋を出土したことから中世後期の溝跡と思われる。市毛館跡に関わる溝跡の可能性が高い。径1.5m、深さ0.5mほどのSK-02・03・06は、出土した土器からみて古墳時代中期の円形土坑と考えられる。また、近世のSK-04は全体形不明であるが、菊皿や常滑甕、瓦質土器の火鉢などが出土した。

25 大房地遺跡 (第19次) 08221054

(縄文時代、古墳時代～平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字金上字畑ヶ原 873 番

調査原因 個人住宅建築

調査年月日 令和3年12月2日～14日

調査面積 85 m²

調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社

資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター『令和3年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和4年3月14日 ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、那珂川に臨む台地縁部から250mほど離れた地点に位置する。遺構は時期不明の竪穴建物跡1棟、奈良時代の溝跡1条、時期不明の溝跡1条・土坑1基が調査された。奈良時代頃のSD-02は、幅0.9～1.2m、深さ0.3～0.5mをはかり、15mほどの長さを調査した。8世紀前半から9世紀前半頃の土器が出土することから、奈良時代頃の区画溝と考えられる。当遺跡の南側に隣接する金上埴遺跡では、第6次調査の際に7世紀末頃の大型井戸跡が見つかっているので、時期的にこの井戸跡と関わる可能性がある。

26 向野A遺跡 (第9次) 08221148

(縄文時代～近世／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字馬渡字向野 2869 番
ほか

調査原因 土地区画整理事業

調査年月日 令和3年10月1日～12月10日

調査面積 1,450 m²

調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社

資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
令和4年度刊行予定

調査概要

調査地は、市の中央部、本郷川左岸の標高約30mの台地上に位置する。確認した溝跡4条の内3条は前年度の調査で確認した溝の延長である。SD-01は中世の古道の側溝と考えられる。残りの溝跡3条も、道状遺構の側溝の可能性が高いが、遺構の性格や時期は不明である。

27 地蔵根遺跡 (第7次) 08221119

(弥生時代、奈良・平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字勝倉字地蔵根 2779 番
9 ほか

調査原因 個人住宅建築

調査年月日 令和4年1月6日～12日

調査面積 4 m²

調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社

資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター『令和4年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和5年3月14日 ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、那珂川に臨む台地縁部から80mほど離れた地点に位置する。遺構は古墳時代の竪穴建物跡1棟、時期不明の溝跡1条が調査された。竪穴建物跡は東壁の一部が確認されたのみである。出土した土師器片から古墳時代前期の建物跡になる可能性がある。溝跡は幅1.5m、深さ0.2mほどを測る。覆土中からかわらけの口縁部片が出土したことから、中世の溝跡と推測される。

27 勝倉台館跡 (第3次) 08221123

(中世／城館跡)

28 高野富士山遺跡 (第18次) 08221062

(縄文時代、古墳時代～平安時代/集落跡)

所在地 ひたちなか市大字高野字富士山 1695 番 8
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和4年2月8日～3月1日
調査面積 32 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター『令和4年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和5年3月14日 ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、旧真崎浦から南西方向に入り込む二つの谷に挟まれた台地上に位置する。遺構は竪穴建物跡2棟(古墳1、時期不明1)、土坑1基、ピット17基が確認された。古墳時代後期のSI-01は部分的な調査であるが、泥岩により補強されたカマドが検出されている。カマド内からは土師器甕が2つ出土しており、カマドの両側から土師器坏や甕が良好な状態で出土した。また、建物跡から多くの炭化材が出土した。このことから、この建物跡は火災にあって可能性が高い。出土遺物から時期は7世紀の初め頃と考えられる。SI-02は遺存状況が悪く出土遺物も少ないため時期不明。なおピット列が確認されたが性格は不明である。

29 高野富士山遺跡 (第19次) 08221062

(縄文時代、古墳時代～平安時代/集落跡)

所在地 ひたちなか市大字高野字富士山 1695 番 8
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和4年2月8日～3月1日
調査面積 18 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管報告書名 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター『令和4年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和5年3月14日 ひたちなか市教育委員会

調査概要

調査地は、旧真崎浦から南西方向に入り込む二つの谷に挟まれた台地上に位置する。遺構は竪穴建物跡2棟(古墳1、時期不明1)、ピット7基が確認された。古墳時代のSI-01は西壁付近の調査にとどまるため規模は不明であるが大型の建物跡と推測される。壁柱穴をもち、床面には間仕切溝が2か所確認された。また多くの炭化材が出土することから建物跡は火災にあって可能性が高い。また、建物跡の中心に向かって硬化面が広がる。出土遺物から時期は7世紀後半頃と考えられる。SI-02は、建物跡の一部の調査で、出土遺物も少ないため時期は不明である。

30 石沢台遺跡 08225145

(縄文時代、奈良時代～近世/集落跡)

所在地 常陸大宮市石沢 1690 番 1 ほか
調査原因 宅地造成工事
調査年月日 令和3年4月19日～5月14日
調査面積 1,315 m²
調査主体 常陸大宮市教育委員会
調査支援 有限会社日考研茨城
資料保管報告書名 常陸大宮市教育委員会
 令和5年度以降刊行予定

調査概要

調査場所は久慈川と那珂川に挟まれた標高55mの舌状台地上に位置する。調査の結果、平安時代の竪穴建物跡が検出され、集落跡の広がりが確認できた。また、中近世においては、掘立柱建物跡・地下式坑・井戸跡をはじめ、土坑や溝跡を確認した。

30 石沢館跡 08225155

(中世/城館跡)

31 小野天神前遺跡 08225013

(縄文時代、弥生時代、奈良・平安時代/集落跡)

所在地 常陸大宮市小野 2842 ほか
調査原因 国史跡泉坂下遺跡の整備計画及び常陸大宮市史編さん事業に伴う学術調査
調査年月日 令和3年5月10日～6月30日
調査面積 286 m²
調査主体 常陸大宮市教育委員会
資料保管報告書名 常陸大宮市教育委員会
 令和5年度以降刊行予定

調査概要

本遺跡における再葬墓遺跡の全体像を把握するため、過去の調査区域を確認するとともに、その周辺の発掘調査を行った。その結果、縄文時代(竪穴遺構1基、土坑6基、炉跡2基)弥生時代(再葬墓7基、土坑3基)、時期不明(土坑116基)が確認され、これに伴う縄文土器、弥生土器等が見つかった。過去の調査区を確認することはできなかった。今回検出された再葬墓群は、既知の再葬墓から独立して分布することが考えられる。

32 上村田江ノ上遺跡 08225156

(古墳時代～平安時代／集落跡)

所在地 常陸大宮市上村田 1412 番 1
調査原因 個人住宅建設工事
調査年月日 令和 3 年 11 月 25 日～12 月 17 日
調査面積 126 m²
調査主体 常陸大宮市教育委員会
資料保管 常陸大宮市教育委員会
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

遺跡は玉川右岸の標高 30m ほどの台地上に位置する。調査範囲からは、古墳時代の竪穴建物跡 1 棟、平安時代の竪穴建物跡 3 棟、土坑 4 基、ピット 20 基が検出され、古代集落跡の上に平安時代の集落跡が築かれていることを確認した。遺物は、古墳時代の土師器・土製品、平安時代の土師器が出土した。

33 宮田掃部助館跡 08342080

(中世、近世／城館跡)

所在地 那珂市菅谷 957 番 9 ほか
調査原因 街路整備事業
調査年月日 令和 3 年 10 月 15 日～11 月 5 日
調査面積 315 m²
調査主体 那珂市
調査支援 株式会社日本窯業史研究所
資料保管 那珂市教育委員会
 (那珂市歴史民俗資料館)
報告書名 宮田掃部助館跡Ⅱ上宿・大木内線および菅谷市毛線街路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 令和 4 年 3 月 31 日 那珂市教育委員会

調査概要

市役所南東 2.3 km に位置し、ため池によって灌漑され、低地に挟まれた標高 34m の微高地上に立地する。今回の調査では、検出した遺構や遺物が、中世・近世の時期であることが確認できた。

遺構は、中世の堀跡・溝跡が各 1 条、土塁跡 1 基、近世の土坑 9 基を検出。

出土遺物は、近世及び近世以降の瓦質土器・土師質土器の壺、陶器製小水注や煙管と銭貨等を検出した。

34 部室平遺跡 08304077

(奈良・平安時代／集落跡)

所在地 小美玉市部室字平 424 番 1 ほか
調査原因 個人住宅建設工事
調査年月日 令和 3 年 10 月 12 日～11 月 17 日
 令和 4 年 2 月 16 日～2 月 18 日
調査面積 129 m²
調査主体 小美玉市文化スポーツ振興部
資料保管 小美玉市玉里史料館
報告書名 令和 6 年度までに刊行予定

調査概要

巴川と当間川の合流地点付近に位置する標高 27m の台地上に立地する。今回の調査では、7 世紀末の竪穴建物跡 (3 棟) が検出されており、古代の集落が展開していることが分かった。

調査区南側の SI-01 は、平面形が方形を呈する一辺 7 m 以上の大型建物跡である。覆土からは、土師器、須恵器、灰釉陶器などが出土しており、特筆される遺物としては、須恵器円面硯や刀子、鉄鏃、小札などの鉄製品がある。また、調査区北側には、3 m 程度の楕円形を呈するすり鉢状の土坑が検出されている。底面の中央部分にもう一段の掘り込みをもつことから、氷室もしくは溜め井戸であると考えられる。

35 八幡台遺跡 08303236

(奈良・平安時代／集落跡)

所在地 小美玉市小川字八幡台 588-4
調査原因 個人住宅建設工事
調査年月日 令和 4 年 1 月 13 日～2 月 4 日
調査面積 57 m²
調査主体 小美玉市文化スポーツ振興部
資料保管 小美玉市玉里史料館
報告書名 令和 6 年度までに刊行予定

調査概要

園部川から派生する谷津に面する標高約 22m の台地上に所在する。

9～10 世紀の竪穴建物跡 (5 棟)、竪穴遺構 (1 基) を検出しており、古代の集落遺跡である。

SI-01 は西側のコーナーにカマドが構築されている。また、SI-03 のカマドも西側にあり、SI-05 の東壁には、土師器の埋甕が検出された。主な出土遺物には、土師器、須恵器、灰釉陶器、土製 (土玉、紡錘車)、鉄製品 (不明) がある。

36 永町遺跡 08320169

(縄文時代～奈良・平安時代/集落跡、包蔵地)

所在地 茨城町大字中石崎 421 番 2 ほか
調査原因 町道改良工事
調査年月日 令和 3 年 4 月 5 日～15 日
調査面積 120 m²
調査主体 茨城町・茨城町教育委員会
調査支援 有限会社日考研茨城
資料保管 茨城町教育委員会生涯学習課
報告書名 永町遺跡 発掘調査報告書
 令和 3 年 8 月 茨城町
 茨城町教育委員会

調査概要

中石崎地内の涸沼に面した、標高約 27m の舌状台地に立地する。今回の調査では、奈良・平安時代の竪穴建物跡 1 棟を検出するなどしたほか、縄文土器、土師器、須恵器、石器等が出土した。北部にカマドをもつ一辺 5.5m の方形の北半分の竪穴建物跡を検出した。本遺跡は、奈良・平安良時代における人々の生活の痕跡が類推でき、断面的な一部として、確認できる有益な調査となった。

37 小鶴西遺跡 08302233

(室町時代/集落跡、城館跡)

所在地 東茨城郡茨城町大字小鶴字西 1436-2 ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和 3 年 4 月 1 日～7 月 31 日
調査面積 2,724 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

茨城町北西部、涸沼川左岸の標高約 6m の微高地に立地している。調査区の東部では、土地を区画する堀跡や掘立柱建物跡を確認した。これらの遺構からは中国産の染付磁器や瀬戸・美濃、常滑産の陶器、刀縁金具などの遺物が出土しており、武士層の存在が考えられる。また、土坑から木箱に納められた大量の緞銭が出土した。

38 米蔵地遺跡 (第 7 次) 08309017

(弥生時代、奈良・平安時代/集落跡)

所在地 東茨城郡大洗町磯浜町字三角惣根 3595 番ほか
調査原因 個人住宅新築工事
調査年月日 令和 3 年 7 月 30 日～8 月 10 日
調査面積 3.64 m²
調査主体 大洗町教育委員会
資料保管 大洗町教育委員会
報告書名 令和 5 年度刊行予定

調査概要

涸沼川水系に面する標高 12m 前後の低台地上に立地する。弥生時代後期に帰属する竪穴建物跡 1 棟の内部を発掘調査した。よく硬化した床面からは柱穴 1 基を検出し、覆土中からは後期弥生土器片 40～50 片が出土した。調査は建物の一部のみであったが、米蔵地遺跡を含む一本松遺跡群の後期弥生集落における南東側の広がりを考える上で貴重な発見となった。

39 那珂西遺跡 08306001

(縄文時代、古墳時代、平安時代、中世/集落跡、城館跡)

39 那珂西城跡 08306007

(中世/城館跡)

所在地 東茨城郡城里町那珂西 2034-3 ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和 3 年 12 月 1 日～4 年 3 月 31 日
調査面積 617 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

城里町南東部、那珂川と西田川に挟まれた標高約 40m の台地上に立地している。那珂西遺跡では、縄文時代の陥し穴や土坑、古墳時代と平安時代の竪穴建物跡を確認し、狩場や集落としての土地利用が明らかとなった。那珂西城跡では、土塁、切岸、堀跡などの防御施設を確認した。特に切岸は、土塁や自然地形を切り崩して改修し、防御性を高めている。

40 池ノ上遺跡 08341114

(旧石器時代～近世／集落跡、包蔵地)

所在地 那珂郡東海村大字石神内宿 1609 ほか
調査原因 コミュニティセンター駐車場整備工事
調査年月日 令和3年7月1日～31日
調査面積 1,457 m²
調査主体 東海村教育委員会
調査支援 関東文化財振興会株式会社
資料保管 東海村教育委員会
報告書名 『池ノ上遺跡 石神コミュニティセンター駐車場整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』 令和4年3月31日 東海村

調査概要

本遺跡は奈良時代、平安時代を中心とする複合遺跡である。奈良時代の竪穴建物跡3棟、平安時代の竪穴建物跡9棟、掘立柱建物跡8棟を確認した。また、奈良時代の鍛冶工房跡1棟が確認され、鉄製品の出土も多く、小鍛冶が操業されていたことがわかった。遺物では、平安時代の竪穴建物跡から12点の墨書土器や鉄製紡錘車が出土し、地域の中心的集落であったことが窺える。

41 勝木田遺跡 08341171

(平安時代／集落跡、包蔵地)

所在地 那珂郡東海村大字村松字野上 2458 番 1
調査原因 個人住宅建設工事
調査年月日 令和3年6月21日～8月3日
調査面積 15.8 m²
調査主体 東海村教育委員会
資料保管 東海村教育委員会
報告書名 令和4年度刊行予定

調査概要

今回の調査では、平安時代の竪穴建物跡1棟を確認した。本竪穴建物跡は焼失建物の可能性があり、覆土及び床面から多量の炭化材、焼土塊を検出した。その要因としては、遺物の出土量が少ないことから、移住などに伴って意図的に焼き払われた可能性がある。

42 戸ノ内古墳 08341177

(古墳時代／古墳)

所在地 那珂郡東海村大字石神外宿 1047
調査原因 保存目的の範囲内容確認調査
調査年月日 令和3年6月8日～4年1月31日
調査面積 41 m²
調査主体 東海村教育委員会
資料保管 東海村教育委員会
報告書名 令和6年度刊行予定

調査概要

本古墳は、6世紀後半に築造された古墳であるが、墳形と規模については不明である。今回の調査では、墳形と規模を明らかにするため、トレンチを6本設定し、調査を実施した。その結果、周溝内から家形埴輪、跪く人物や女子などの人物埴輪、円筒埴輪が新たに発見された。しかし、墳形等については、確定することができなかったため、令和4年度も調査を継続し、確認を行う予定である。

43 原の内遺跡 (第16次) 08202138

(縄文時代～平安時代/集落跡)

所在地 日立市石名坂町1丁目124-1
調査原因 保存目的の確認調査
調査年月日 令和3年5月11日～7月16日
調査面積 285.9 m²
調査主体 日立市教育委員会
資料保管 日立市郷土博物館
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

標高約50mの茂宮川左岸の台地上に立地する。調査の結果、掘込地業(布地業・総地業)を伴う建物跡のほか、掘立柱建物跡1棟、性格不明遺構1基を確認した。掘込地業を伴う建物跡の時期は第17次調査の成果から8世紀後半から9世紀前半と推定され、官衙関連施設と考えられる。この調査区は第17次調査区の北側に隣接している。

なお、当該調査区は第17次調査と同一の宅地造成工事の区域内にあるものの、盛土工法による保護措置が採られたため発掘調査の必要はなかったが、試掘で発見された遺構の重要性を鑑み、保存目的の確認調査を実施することとなった。

44 原の内遺跡（第17次） 08202138

(縄文時代～平安時代/集落跡)

所在地 日立市石名坂町1丁目124-1
調査原因 宅地造成
調査年月日 令和3年6月14日～7月15日
調査面積 24.6㎡
調査主体 日立市教育委員会
調査支援 株式会社真和技研
資料保管 日立市郷土博物館
報告書名 日立市文化財調査報告 第116集
 原の内遺跡一宅地造成工事に伴う令和
 3年度発掘調査報告書—
 (令和4年度中に刊行予定)

調査概要

標高約50mの茂宮川左岸の台地上に立地する。
 調査の結果、掘込地業(布地業・総地業)を伴う建物跡
 のほか、ピット3基、性格不明遺構5基を確認した。掘込
 地業を伴う建物跡の時期は8世紀後半から9世紀前半と
 推定され、官衙関連施設と考えられる。
 なお、この調査区は第16次調査区の南側に隣接してい
 る。

45 宮脇A遺跡（第4次） 08202121

(旧石器時代、縄文時代、奈良時代～中世/集落跡)

所在地 日立市森山町3丁目498番、499番、500
 番
調査原因 自動車展示販売店兼自動車修理工場建
 設の改築
調査年月日 令和3年9月13日～10月4日
調査面積 144㎡
調査主体 日立市教育委員会
調査支援 有限会社日考研茨城
資料保管 日立市郷土博物館
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

標高約21mの海岸段丘上に立地する。
 調査の結果、奈良・平安時代の堅穴建物跡を確認した。
 この建物跡は建替時に西側に拡張したことが判明した。ま
 た、後世の遺構覆土中の出土であるが、旧石器時代の石器
 (碧玉製の搔器)を確認した。

46 泉原遺跡（第3次） 08202127

(縄文時代～平安時代/集落跡)

所在地 日立市水木町1丁目1894、1898-1、
 1892-3番地
調査原因 老人福祉施設建設
調査年月日 令和3年7月12日～10月1日
調査面積 622.9㎡
調査主体 日立市教育委員会
調査支援 有限会社日考研茨城
資料保管 日立市郷土博物館
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

標高約21mの海岸段丘上に立地する。
 調査の結果、墳丘部が削平されているものの、主体部と
 周溝を有する円墳を確認した。古墳時代後期の横穴式石室
 で周溝は外径22mであった。石室内には複数体の人骨と
 ともに骨角器が出土した。そのほか、平瓦をカマド袖部
 の構築材に使用した奈良時代の堅穴建物跡と、幕末の建設
 と考えられる泥岩製の井戸跡を確認した。

47 吹上遺跡（第3次） 08202144

(縄文時代～平安時代/集落跡)

所在地 日立市久慈町2丁目3459-1、3459-
 2の一部
調査原因 宅地造成
調査年月日 令和3年10月20日～11月19日
調査面積 194㎡
調査主体 日立市教育委員会
調査支援 株式会社真和技研
資料保管 日立市郷土博物館
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

多賀山地南端に広がる標高約30mの河岸段丘「石名坂
 台地」に立地する。調査の結果、古墳周溝の一部及び、奈
 良・平安時代の堅穴建物跡5棟を確認した。なお、古墳周
 溝の一部とした遺構は当初性格不明遺構としていたが、周
 辺住民からの聞き取りで今回調査区に隣接して丸い塚が
 あったとのことから、古墳周溝の可能性が高いと考えられ
 る。

48 八反遺跡 08202102

(奈良・平安時代/集落跡)

所在地 日立市国分町3丁目158-1ほか
調査原因 道路拡幅事業
 (一般国道6号日立バイパス)
調査年月日 令和3年10月1日～4年2月28日
調査面積 4,989 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

日立市中央部、太平洋岸の標高約22mの海岸段丘上に立地している。奈良時代から平安時代にかけての集落跡を確認した。国道245号西側の県事業に伴う調査でも、時期と特徴が合致する竪穴建物跡が確認されていることから、同一の集落と推測できる。また、平安時代と考えられる約1.5mの炉をもつ不明遺構を5基確認した。

49 八反遺跡 08202102

(奈良・平安時代/集落跡)

所在地 日立市国分町1-99-2ほか
調査原因 道路拡幅事業
 (都市計画道路鮎川停車場線)
調査年月日 令和3年11月1日～30日
調査面積 70 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

日立市中央部、鮎川と桜川に挟まれた標高22～23mの緩斜面部に立地している。平成29年度に続き同事業に伴う調査を実施した。前回の調査では、竪穴建物跡、溝跡、土坑などを確認しており、今回もその続きとして奈良時代の土坑、平安時代の竪穴建物跡・溝跡の調査を行った。

50 原の内遺跡 08202138

(古墳時代～平安時代/集落跡)

所在地 日立市石名坂町1丁目962-1ほか
調査原因 道路拡幅事業
調査年月日 令和3年4月1日～6月30日
調査面積 249 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

日立市南部、茂宮川左岸の標高57～60mの緩斜面部に立地している。古墳時代の竪穴建物跡3棟のほか、奈良時代から平安時代の溝跡と、これらによって区画された掘立柱建物跡3棟などを確認した。このうち1棟は、規模は桁行約8m、梁行約5mと大形であり、公的な建物であったことが推測できる。律令期における当地域の性格を考察する上で、貴重な資料となる。

51 西畑遺跡 08222112

(縄文時代、古墳時代～中世/集落跡、包蔵地)

所在地 鹿嶋市大字山之上147番地ほか
調査原因 旧郡家跡範囲確認調査
調査年月日 令和4年1月7日～2月1日
調査面積 183 m²
調査主体 鹿嶋市教育委員会
調査支援 公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
資料保管 鹿嶋市どきどきセンター
報告書名 鹿嶋市の文化財第172集『鹿嶋市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書43』鹿嶋市教育委員会 令和4年3月31日

調査概要

旧郡家跡の推定地の一つである竜会城跡周辺における確認調査を実施し、竪穴建物跡を5棟(6世紀前半1棟、7世紀末1棟、8世紀代1棟、10世紀代2棟)、時期不明の溝状遺構2条、土坑1基、ピット26基を確認した。旧郡家に直接関係する遺構は確認できなかったが、平安時代の鍛冶工房跡が検出され、平成30年度の調査と合わせて平安時代の集落が広がることが確認できた。

52 島崎城跡 08223090

(中世/城館跡)

所在地 潮来市島須 531-2
調査原因 学術研究
調査年月日 令和3年10月3日～12月28日
調査面積 407 m²
調査主体 潮来市教育委員会
調査支援 西ヶ谷 恭弘
資料保管 潮来市教育委員会
報告書名 令和5年刊行予定

調査概要

半島状に突出した台地上に立地する。昭和61年の発掘調査では土塁の基部に「石塔群集積敷遺構」が検出されたが、当時は詳細が不明となっていた。

本調査では石塔群の基礎部分の構造を確認し、遺構の性格を明らかにするため、遺構側面部の掘り下げを行ったが、出土した石塔群は構成する石材の多くが失われ、遺構が破壊されていることが確認された。それ以上の調査は遺構の更なる破壊に繋がると判断し、現状記録をした上で埋め戻しを行い、調査を終了した。

53 中城遺跡 08424099

(旧石器時代～古墳時代、平安時代、中世、近世/集落跡、塚、散布地)

53 中城古墳群 08424100

(古墳時代/古墳)

所在地 行方市北高岡 198-2 ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和3年4月1日～4年3月31日
調査面積 5,844 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

行方市東部、山田川左岸の標高約30mの台地上に立地している。狭小な台地上に多数の堅穴建物跡を確認した。時期は弥生時代後期が主である。また、中期古墳と終末期古墳を確認した。終末期古墳の埋葬施設2基は、いずれも石棺の石材が抜き取られ、周溝内に廃棄されていた。尾根先端部では、方台状に盛土された室町時代と思われる塚を確認した。

54 下高津小学校遺跡 (第5次) 08203100

(縄文時代～中世/集落跡)

所在地 土浦市下高津4丁目724-17 ほか
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和3年5月25日～29日
調査面積 45 m²
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 『土浦市内遺跡－令和3年度発掘調査報告－』令和5年3月 土浦市教育委員会

調査概要

桜川右岸の標高約21～22mの台地上に立地する。古墳時代後期などの堅穴建物跡2棟、柱穴を検出した。

55 大畑本田遺跡 (第2次) 08465128

(縄文時代/集落跡)

所在地 土浦市大畑字大畑 829 番 2
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和3年7月7日～29日
調査面積 70 m²
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和4年度刊行

調査概要

桜川左岸の標高約27mの台地上に立地する。縄文時代中期の堅穴建物跡3棟、土坑18基を検出した。

56 形部遺跡（第2次） 08203469

(古墳時代/集落跡)

所在地 土浦市右靱字逆曾 1111 番 25
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和3年12月7日～14日
調査面積 60 m²
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和4年度刊行

調査概要

花室川右岸の標高約25mの台地上に立地する。古墳時代後期の竪穴建物跡1棟を検出した。カマド内部から完形の土師器甕が出土したほか、カマド脇からは土師器甌や坏がほぼ完形で出土した。

57 王塚古墳 08203297

(古墳時代/古墳)

所在地 土浦市手野町 2166 ほか
調査原因 保存目的の確認調査
調査年月日 令和3年11月30日～12月24日
調査面積 43.1 m²
調査主体 土浦市教育委員会
 筑波大学考古学研究室
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和4年度刊行

調査概要

霞ヶ浦を臨む標高約26mの台地上に立地する。墳頂部に設定したトレンチでは、棺の陥没と考えられる落ち込みが確認された。くびれ部西側に設定したトレンチでは、壺形の埴輪の破片を検出した。前方部東側のトレンチでは墳端を確認できたが、前方部南側に設定したトレンチでは、明瞭な墳端は発見できなかった。昨年度の調査成果とあわせて、王塚古墳が全長約83mであること、築造時期が古墳時代前期後半（4世紀後半）であることなどが明らかとなった。

58 下坂田貝塚 08465006

(縄文時代/貝塚)

所在地 土浦市下坂田 2465
調査原因 保存目的の確認調査
調査年月日 令和4年3月1日～25日
調査面積 64 m²
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
報告書名 令和5年度刊行予定

調査概要

桜川左岸の標高約28mの台地上に立地する。地点貝塚1か所の発掘調査を行った。貝層上面には多量の獣骨、鹿角、ネフライト製磨製石斧や、ミミズク土偶といった祭祀に用いるような遺物が多く出土した。貝塚の形成とともに何らかの祭祀行為を行っていた可能性が高いと考えられる。また、焼土や灰も多く検出した。

59 常陸国分寺跡 08205067

(奈良・平安時代/寺社跡)

所在地 石岡市府中3丁目943番
調査原因 確認調査
調査年月日 令和3年2月8日～4月9日
調査面積 9.58 m²
調査主体 石岡市教育委員会
資料保管 石岡市文化財管理センター
報告書名 『石岡市内遺跡調査報告書』13 令和4年3月31日 石岡市教育委員会

調査概要

当地は「ガラミドウ」という地名が残り伽藍の塔が転訛した単語と解釈され、塔跡の候補地となっていた。令和元年より保存活用計画の策定を契機として確認調査を開始した。結果、深さ1.4m、一辺15m以上の版築遺構が確認された。金堂跡と同等規模であることから塔跡の可能性が高いと判断した。しかし、出土遺物は9世紀半ば以降の再建されたものである。今後はその歴史的背景を解明する必要がある。

60 舟塚山古墳群（第14号墳） 08205153

(古墳時代/古墳)

所在地 石岡市北根本字鹿島馬場 623 ほか
調査原因 学術調査
調査年月日 令和3年7月31日～8月7日
調査面積 60 m²
調査主体 明治大学文学部考古学研究室
資料保管 石岡市文化財管理センター
報告書名 「茨城県石岡市舟塚山第14号墳発掘調査報告」『考古学集刊』18 令和4年5月27日 明治大学文学部考古学研究室

調査概要

舟塚山古墳群第14号墳は、墳頂に石棺が残る円墳である。築造時期と築造当初の墳丘規模・周溝幅を明らかにするため、古墳の北に14m、南に10mのトレンチを設定した。その結果、円墳の直径は現状の2倍近い30.5m、周溝幅は約4～5mになることがわかった。また埴輪は窖窯焼成であることから、野焼きの埴輪を樹立していた舟塚山古墳（第16号墳）より少なくとも1世代後の築造であることもわかった。舟塚山古墳とは独立した周溝を有し、築造時期も異なることから、この古墳が舟塚山古墳の陪冢ではないことがほぼ確実となった。

61 弥陀ノ台遺跡 (第2地点) 08205135

(古墳時代～中世/集落跡)

所在地 石岡市小井戸 508 番 5 ほか
調査原因 市道改良工事
調査年月日 令和 3 年 7 月 5 日～9 月 15 日
調査面積 955 m²
調査主体 石岡市教育委員会
調査支援 関東文化財振興会株式会社
資料保管 石岡市文化財管理センター
報告書名 『弥陀ノ台遺跡 小美玉市道栗又四ヶ線道路改良工事に伴う発掘調査 2』
 令和 4 年 3 月 30 日 石岡市教育委員会

調査概要

調査地は園部川を北に望む標高 7～8 m の斜面部低位に立地し、古墳時代から奈良時代の竪穴建物跡 9 棟や中世の溝跡 2 条等を検出した。遺物は、人面墨書のある土師器甕、「八」の墨書がある須恵器坏、内耳鍋等が出土している。既往の調査成果と合わせると、古墳時代前期に斜面部高位に形成された集落が、一時断絶の後 7 世紀に再形成される際には斜面部低位へも拡大するものの、9 世紀頃には住居域が斜面部低位から撤退していく、という古代集落の変遷が窺える。

62 常陸国府跡 08205095

(奈良・平安時代～近世/官衙跡)

所在地 石岡市総社 1 丁目 278 番 4
調査原因 確認調査
調査年月日 令和 4 年 2 月 16 日～3 月 30 日
調査面積 6 m²
調査主体 石岡市教育委員会
資料保管 石岡市文化財管理センター
報告書名 令和 5 年度刊行予定

調査概要

恋瀬川左岸の標高 24～25m の台地上に立地し、調査地は常陸国衙の区画溝の内側、約 10m に位置する。確認された遺構は土坑 5 基、ピット 10 基で、いずれも中世～近世と考えられる。古代の遺構が確認されなかった一方で、中世～近世の遺構が確認された点は、中世以降の府中城跡の様相を検討する貴重な調査成果である。

63 中津川遺跡 08205151

(縄文時代、弥生時代、平安時代、江戸時代/集落跡)

所在地 石岡市中津川平足塚 232 ほか
調査原因 道路建設事業
調査年月日 令和 3 年 7 月 1 日～9 月 30 日
調査面積 2,668 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

石岡市の南東部、恋瀬川左岸の標高 22～24m の台地上に立地している。縄文時代中期、弥生時代後期の集落跡と平安時代の墓域を確認した。出土した弥生土器片は、弥生時代後期における東北地方と当地域との交流を示す貴重な資料である。また、平安時代の土師器を転用した蔵骨器が出土した。

64 水守遺跡 08220181

(縄文時代～近世/集落跡、包蔵地)

所在地 つくば市水守 990 番 1 の一部ほか
調査原因 個人住宅の浄化槽工事
調査年月日 令和 3 年 4 月 2 日～7 日
調査面積 5 m²
調査主体 つくば市教育委員会
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 令和 6 年以降刊行予定

調査概要

市北部、桜川低地へ続く谷津に面した台地上位面に立地。室町時代の竪穴建物跡 1 棟、不明遺構 1 基、中世の整地層を確認した。整地層は、室町時代の土師質土器皿の小片を多く含む黒褐色土層。同層上面では遺構は検出されなかった。整地層の下層のローム層上面で、竪穴建物跡が検出された。西側部分を検出したのみで、規模や性格は不明であるが、壁面の改修が一度行われていることを確認。このほか、建物跡とは別のプランや掘り方も検出したが、いずれも詳細は不明である。

65 栗原古塚遺跡 08220473

(縄文時代、奈良・平安時代、中世/集落跡)

所在地 つくば市栗原字古塚 1522 番、1523 番
調査原因 造成工事
調査年月日 令和 3 年 6 月 1 日～9 月 16 日
調査面積 5,502 m²
調査主体 つくば市教育委員会
調査支援 有限会社毛野考古学研究所 茨城支所
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 『栗原古塚遺跡—造成工事に伴う発掘調査報告書—』令和 4 年 9 月

調査概要

市北東部、桜川西岸の標高約 9 m の台地低位面に立地。竪穴建物跡 20 棟(縄文 4、奈良・平安 16)、掘立柱建物跡 6 棟(奈良 3、不明 3)、溝跡 7 条、井戸跡 10 基(中世 3、不明 7)、土坑 34 基を確認した。縄文時代の建物跡は前期中葉の所産で、縄文海進最盛期に低地部に集落が営まれていたことは興味深い。奈良時代の 2 間×3 間の掘立柱建物跡は四面庇付で、南北に小型の掘立柱建物跡が位置する。製塩土器と考えられる奈良時代の粗製土器、朱墨痕のある平安時代の土師器が出土した。

66 上郷陣屋跡(第 1 次①) 08220331

(縄文時代、近世/陣屋跡、包蔵地)

所在地 つくば市上郷 7922 番 2 ほか
調査原因 畑地帯総合整備事業における道路工事
調査年月日 令和 3 年 7 月 30 日～8 月 25 日
調査面積 125 m²
調査主体 つくば市教育委員会
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 『上郷陣屋跡Ⅱ—畑地帯総合整備事業に伴う発掘調査報告書—』令和 4 年 3 月

調査概要

市西部、西谷田川の支流に面した標高約 22m の台地上に立地。上郷陣屋跡は、江戸時代に上郷村をはじめとした幕府領を治めるために置かれた陣屋跡である。寛政 5 年から文化 11 年までの代官を竹垣三右衛門直温が務めた。また、寛政 2 年から人足寄場が設けられた。当調査は陣屋跡北東部の調査で、近世の溝跡 3 条、土坑 2 基、近現代の鍛冶関連遺構 2 基を確認。重複する 2 条の溝跡は 18 世紀後葉以前の区画溝と考えられ、区画の造り変えが行われたことを示す。もう 1 条の溝跡は塀跡の可能性がある。

67 平沢少高遺跡 08220629

(奈良時代～近世/集落跡、包蔵地)

所在地 つくば市平沢 市道 1-2548 号線地内
調査原因 市道改良工事
調査年月日 令和 3 年 9 月 30 日～10 月 6 日
調査面積 23 m²
調査主体 つくば市教育委員会
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 令和 6 年以降刊行予定

調査概要

市北部、標高約 35m の山麓堆積地形に立地。溝跡 5 条を確認した。SD-01～03 と SD-04・05 がそれぞれ重複している。SD-01 は江戸時代の溝跡、SD-02 は SD-01 の改修前の溝であり、規模等は不明であるが、戦国時代の終わりから江戸時代初め頃のものとして推定される。SD-04・05 については、前者が SD-01 と、後者が SD-02 と同時期と推測され、それぞれ接続していたものと考えられる。現在の平沢の集落の成り立ちを考える上で、貴重な発見といえる。

68 島名ツバタ遺跡(第 3 次) 08220068

(縄文時代、古墳時代/集落跡、包蔵地)

所在地 つくば市島名字榎内 3102 番 1 ほか
調査原因 スマートインターチェンジ事業
調査年月日 令和 3 年 10 月 4 日～19 日
調査面積 89 m²
調査主体 つくば市教育委員会
調査支援 関東文化財振興会株式会社
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 『島名ツバタ遺跡—仮称つくばスマートインターチェンジ事業に伴う発掘調査報告書—』令和 4 年 2 月

調査概要

市中央部、西谷田川東岸の標高約 23m の台地上。古墳時代中期の竪穴建物跡 1 棟、土坑 1 基、時期不明の土坑 2 基を確認した。竪穴建物跡は一部の調査に止まるが、一辺 5.2 m で深さ 0.6m、5 世紀後葉の土師器片が出土している。土坑 1 基も同時期のものと考えられ、長径 2.9m、短径 2.3 m の楕円形で、深さ 0.46m。土師器片とともに、滑石製の勾玉が出土した。

69 上郷陣屋跡 (第1次②) 08220331

(縄文時代、近世/陣屋跡、包蔵地)

所在地 つくば市上郷 7922 番 2 ほか
調査原因 畑地帯総合整備事業における道路工事
調査年月日 令和 3 年 9 月 6 日～11 月 5 日
調査面積 686 m²
調査主体 つくば市教育委員会
調査支援 有限会社勾玉工房 Mogi
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 『上郷陣屋跡 I—畑地帯総合整備事業に伴う発掘調査報告書一』 令和 4 年 3 月

調査概要

当調査は陣屋跡中央東側の調査で、溝跡 9 条、近世の溝跡 3 条、土坑 8 基、ピット 15 基などを確認した。溝跡は重複していて、出土遺物等から 18 世紀後葉以前、19 世紀前・中葉、19 世紀後葉頃の変遷が想定される。南東に位置する 7 基の土坑のうち、2 基からは六文銭が出土しており、土坑群と考えられる。覆土等からは、17～20 世紀までの陶磁器が出土。陣屋の区画の変遷を考える上で、重要な知見が得られた。

70 館宿城跡 (第3次) 08220216

(中世、近世/城館跡)

所在地 つくば市吉沼字館宿 2448 番 1 ほか
調査原因 市道改良工事
調査年月日 令和 3 年 11 月 18 日～12 月 7 日
調査面積 47 m²
調査主体 つくば市教育委員会
調査支援 関東文化財振興会株式会社
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 『館宿城跡—市道改良工事に伴う発掘調査報告書一』 令和 4 年 3 月

調査概要

市北西部、小貝川に面する標高 19～24m の台地上に立地する。今回は城跡南端の調査で、堀跡 1 条、平場遺構 1 箇所、道路跡 1 条などを確認した。堀跡は、台地斜面部と低地の間に設けられた城の外堀に当たり、堀の落ち際に位置する平場遺構は、幅 2.2m で犬走りと考えられる。道路跡は堀跡が埋まった跡の遺構で、江戸時代以降の所産。安全面から堀跡調査は深さ 2 m までに止めたため、出土遺物は少ないが、戦国時代から江戸時代はじめ頃の土師質土器小皿が出土した。

71 下大角豆遺跡 (第2次) 08220129

(縄文時代/集落跡)

所在地 つくば市大角豆字向へ 448 番 1
調査原因 個人住宅の浄化槽工事
調査年月日 令和 3 年 12 月 27 日、28 日
調査面積 3 m²
調査主体 つくば市教育委員会
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 令和 6 年以降刊行予定

調査概要

市南東部、花室川へ続く谷津に面した台地上位面に立地。縄文時代の土坑 1 基を調査した。土坑は、長軸 1.2m、短軸 1.1m、深さ 0.95m であった。北東側は攪乱されており、遺存状況が悪かった。底面は平坦で硬化しており、特に壁面近くが著しい。出土遺物から、縄文時代中期後半の所産と考えられる。

72 大角豆遺跡 (第16次・20次) 08220113

(縄文時代、弥生時代、平安時代/集落跡)

所在地 つくば市大角豆字中坪 821 番 1 ほか
調査原因 宅地造成
調査年月日 令和 3 年 10 月 11 日～4 年 2 月 25 日
調査面積 2,307 m²
調査主体 つくば市教育委員会
調査支援 有限会社日考研茨城
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 令和 5 年 3 月刊行予定

調査概要

市南東部、花室川西岸の標高 16～19m の台地上に立地。今回は遺跡東部の調査。竪穴建物跡 13 棟 (縄文 9、弥生 1、平安 3)、炉跡 14 基 (縄文)、土器埋設遺構 2 基 (縄文)、溝跡 4 条 (不明)、土坑 218 基 (縄文 202、平安 1、不明 15)、ピット 90 基 (縄文 88、不明 2) を確認。遺構は、縄文時代中期中葉から後葉を主体とする。竪穴建物跡は有段竪穴 9 棟を含み、土坑は円形を基本とする。多数の縄文土器のほか、有孔円盤や耳飾り等の土製品、後期の弥生土器等が出土した。

73 妻木坪内遺跡（第2次） 08220475

(縄文時代、奈良時代～近世/集落跡)

所在地 つくば市妻木 1215 番 1 ほか
調査原因 個人住宅
調査年月日 令和 4 年 1 月 12 日～31 日
調査面積 132 m²
調査主体 つくば市教育委員会
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 令和 7 年以降刊行予定

調査概要

市中央部、花室へ続く谷津に面した標高約 23m の台地上に立地。竪穴建物跡 2 棟、溝跡 1 条、土坑 4 基、ピット 1 基を確認。竪穴建物跡はいずれも 9 世紀後半頃の所産で、SI-01 は南側を、SI-02 は北側を SD-01 に壊されている。SD-01 は戦国時代の所産で、上幅 2.2～2.9m、深さ約 0.7m。南側の法面よりも北側の法面の方が急斜度になっている。区画溝と思われるが、詳細な性格は不明である。土坑は建物跡より古く、4 基は同じ性格のものと考えられる。

74 上ノ室ハマイバ遺跡（第19次） 08220503

(古墳時代～近世/集落跡、包蔵地)

所在地 つくば市上ノ室 1873 番 1 の一部
調査原因 個人住宅
調査年月日 令和 4 年 2 月 18 日～3 月 14 日
調査面積 94 m²
調査主体 つくば市教育委員会
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 令和 7 年以降刊行予定

調査概要

市東部、桜川に続く谷津に面した標高約 25m の台地上に立地。今回は遺跡南東部の調査。竪穴建物跡 2 棟、掘立建物跡 1 棟、道路跡 1 条などを確認した。SI-01 は古墳時代前期、SI-02 は奈良時代。SI-02 の規模は南北約 5.2m、東西約 5.3m。掘立柱建物跡は SI-02 と重複しており、前者が新しく、奈良・平安時代の所産と考えられる。南北 3 間以上、東西 2 間以上。南北方向に延びる道路跡は幅 1.8 m 以上で、現在の道路の旧道と推定され、中世以降の所産と考えられる。

75 沼田 1 号墳（八幡塚古墳・第3次） 08220141-1

(古墳時代/古墳)

所在地 つくば市沼田 市道 1 - 1235 号線地内
 ほか
調査原因 市道改良工事
調査年月日 令和 4 年 3 月 16 日～18 日
調査面積 22 m²
調査主体 つくば市教育委員会
資料保管 つくば市出土文化財管理センター
報告書名 令和 7 年以降刊行予定

調査概要

市北部、筑波山南麓の扇状地の緩斜面に立地。今回は墳丘南端と周溝南西部の調査。前者は、墳丘南端を東西に走る市道の法面と直下部分、道路下の下水管理設部分の調査。従来、墳丘南端は道路付近にあると考えられていたが、道路より南へ続くことが判明し、想定よりも前方部の墳丘が長いことが分かった。後者の調査では、幅 1 m、長さ 2 m の範囲を掘削し、現地表面から 1.5m 下で溝底を検出した。

76 山王原遺跡 08441169

(縄文時代、古墳時代～平安時代、近世/集落跡)

所在地 稲敷市下君山字山王台 2229 ほか
調査原因 稲敷工業団地開発推進事業
調査年月日 令和 3 年 2 月 2 日～6 月 10 日
調査面積 1,225 m²
調査主体 稲敷市教育委員会
調査支援 有限会社勾玉工房 Mogi
資料保管 稲敷市教育委員会
報告書名 令和 5 年 3 月刊行予定

調査概要

稲敷市の南西部、樹枝状に開析された標高 27～28m の台地上に立地する。縄文時代前期の土坑 2 基、古墳時代前期の竪穴建物跡 22 棟、土坑 148 基、近世の溝跡 3 条が検出された。ほとんどの竪穴建物跡からは炉跡が検出されているが、貯蔵穴は欠けていることが多い。遺物は、土師器（壺、甕、台付甕、鉢、高坏、甗、埴、器台など）が完形で数多く出土しており、ほかに、球状土錘や環状土製品、烏帽子形土製支脚（3 点）などが出土した。

77 高ノ山遺跡（1・3区） 08441171

(縄文時代～近世/集落跡)

所在地 稲敷市下君山字高ノ山 3150 ほか
調査原因 稲敷工業団地開発推進事業
調査年月日 令和3年6月11日～7月15日
調査面積 2,400.84 m²
調査主体 稲敷市教育委員会
調査支援 有限会社勾玉工房 Mogi
資料保管 稲敷市教育委員会
報告書名 令和5年3月刊行予定

調査概要

稲敷市の南西部、樹枝状に開析された標高 27～28mの台地上に立地する。縄文時代前期の竪穴建物跡 1 棟、土坑 113 基、ピット 81 基、遺物包含層、弥生時代後期の竪穴建物跡 10 棟、中～近世の溝跡 2 条、近世の土坑墓(鍋被り葬) 1 基が検出された。遺物は、縄文前期の土器片や弥生後期の壺や甕、土製紡錘車、石製玉などのほか、土製耳飾りや管玉などの装飾品も出土した。

78 西久保遺跡 08448085

(縄文時代、古墳時代/集落跡、古墳)

所在地 稲敷市神宮寺 1457-7 番地ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和3年12月1日～令和4年3月31日
調査面積 474 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

稲敷市中央部、小野川右岸の標高約 30mの台地上に立地している。台地の縁辺部で縄文時代中期の有段式竪穴建物跡や袋状土坑などを確認した。また、古墳時代終末期の方墳を確認した。主体部の石棺は、後世に抜き取られ、破砕されている。

79 阿波峯台遺跡 08448114

(縄文時代、弥生時代、古墳時代、近世/集落跡、墓域)

所在地 稲敷市神宮寺 1639 番地ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和3年12月1日～令和4年3月31日
調査面積 2,425 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

稲敷市中央部、小野川右岸の標高約 30mの台地上に立地している。縄文時代前・中期、弥生時代後期、古墳時代中・後期に集落が断続的に営まれていたことを確認した。また、区画溝で囲まれた江戸時代後期の土坑墓を確認し、当該期に墓域として利用されていたことが判明した。

80 大堀遺跡 08483037

(縄文時代、古墳時代、平安時代/集落跡)

所在地 つくばみらい市南字大堀 1989-1 ほか
調査原因 土地造成事業
調査年月日 令和3年7月1日～8月31日
調査面積 742 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

つくばみらい市北部、小貝川左岸の標高約 20mの台地上に立地している。縄文・古墳・平安時代に集落が営まれていたことを確認した。同一の台地上の北側には中道遺跡が隣接しており、平成 23・24 年度のつくばみらい市の調査では、同時期の竪穴建物跡が確認されていることから、同一集落跡と考えられる。

81 上街道東遺跡 08482036

(縄文時代、奈良・平安時代、中世/集落跡)

所在地 つくばみらい市板橋 2280-2 ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和3年4月1日～6月30日
調査面積 6,168 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

つくばみらい市中央部、中通川右岸の標高 14～22mの台地上に立地している。奈良・平安時代の竪穴建物跡 8 棟を確認し、当該期の集落が台地の平坦部から斜面部まで広がることが判明した。また、低地部では、室町時代と考えられる桁行 7 間、梁行 2 間の二面庇の掘立柱建物跡のほか、複数の側柱の掘立柱建物跡を確認した。近接する板橋城との関連が窺える。

82 鎌田遺跡 08482021

(縄文時代、古墳時代～平安時代、中世/集落跡)

所在地 つくばみらい市南太田 278-2 ほか
調査原因 道路整備事業
調査年月日 令和3年4月1日～令和4年3月31日
調査面積 2,605 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

つくばみらい市東部、中通川左岸の標高 20～24mの台地上に立地している。縄文・古墳～平安時代の集落跡と室町時代の溝跡を確認した。縄文時代の遺物包含層の下層には、中期の袋状土坑や円筒状土坑が重複していた。また、計画的に配置された奈良・平安時代の竪穴建物跡や掘立柱建物跡などを確認した。

83 廻戸遺跡 (第2次) 08443013

(古墳時代～平安時代/集落跡)

所在地 阿見町岡崎 1 丁目 17 番 23
調査原因 自己用住宅建設工事
調査年月日 令和3年11月11日～12月3日
調査面積 82.5 m²
調査主体 阿見町教育委員会
調査支援 株式会社地域文化財研究所
資料保管 阿見町中央公民館
報告書名 『茨城県阿見町廻戸遺跡第2次 住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
 令和4年3月10日 阿見町教育委員会

調査概要

霞ヶ浦南岸の標高約 23～24mの台地平坦部に立地する。今回の調査は遺跡西部にあたり、古墳時代後期以降の集落の痕跡を新たに確認した。古墳時代終末期 7 世紀末～8 世紀初頭の竪穴建物跡 1 棟と、平安時代 9 世紀末～10 世紀初頭の竪穴建物跡 1 棟が重複して検出されたほか、ピット 4 基を確認した。また、遺物については各時期において土師器が主体となっている。

84 上片田西原遺跡 08543184

(縄文時代、古墳時代/集落跡)

所在地 古河市上和田字西原 1014 番の一部
調査原因 太陽光発電所新設
調査年月日 令和3年11月10日～令和4年2月18日
調査面積 1,477 m²
調査主体 古河市教育委員会
調査支援 山下工業株式会社
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第28集 上片田西原遺跡』令和4年10月31日 古河市教育委員会

調査概要

市域北部、旧長井戸沼東枝に流れ込む小河川の上流域に位置する標高約 25m前後の右岸台地平坦部に所在する。今回の事業に伴って新規に確認された遺跡で、主に縄文時代と古墳時代の遺構・遺物からなる。縄文時代は、前期(黒浜式期)の竪穴建物跡 1 棟と遺物包含層から早期～後期の土器片が、古墳時代は、前期後半～中期初頭の竪穴建物跡 3 棟を確認し、土師器が出土している。周囲の試掘での確認状況や出土した土器から短期間で小規模な集落が営まれていたと見られる。

85 東の門西の門城跡 (第4次) 08543015

(古墳時代～中世/集落跡、城館跡)

所在地 古河市山田字八幡浦 1140 番 1 ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和 3 年 9 月 13 日～令和 4 年 3 月 4 日
調査面積 6,995 m²
調査主体 古河市教育委員会
調査支援 株式会社東京航業研究所
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第 30 集 東の門西の門城跡 (第 4 次)』令和 5 年 3 月 古河市教育委員会

調査概要

市城南東部、大川 (旧長井戸沼東枝) 右岸、標高約 20m 前後の台地縁辺部から平坦部に所在する。第 3 次調査区の西隣を調査し、古墳時代後期～古代の堅穴建物跡 42 棟など及び中世の溝跡 7 条・方形堅穴遺構 8 棟・地下式坑 18 基・井戸跡 28 基・土坑墓 3 基などが検出された。古墳時代後期～古代の集落跡のさらなる広がり、遺跡名の城館跡に関連する中世後半の遺構がまとまって確認され、特に地下式坑が数多く存在し、また土坑 1 基から北宋・明銭が 45 枚緡銭の状態出土した。

86 東の門西の門城跡 (第4次追加) 08543015

(古墳時代～中世/集落跡、城館跡)

所在地 古河市山田字諏訪浦 956 番ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 2 月 28 日
調査面積 980 m²
調査主体 古河市教育委員会
調査支援 有限会社毛野考古学研究所 茨城支所
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第 31 集 東の門西の門城跡 (第 4 次追加)』令和 5 年 3 月 古河市教育委員会

調査概要

第 4 次調査と同一遺跡内の範囲北部に予定されている新設道路敷を対象とした。道路幅の調査のため部分的な確認が多いものの、8 世紀前半と 9 世紀後半～10 世紀前半と見られる堅穴建物跡 17 棟などを確認し、土師器・須恵器などが出土した。布掘の掘方をもつ掘立柱建物跡や二段掘りで井戸部周囲に溝をめぐらす井戸跡など特徴的な遺構が確認された。特出遺物として小片であるが八角脚柱の高皿が出土した。この他に中世と見られる溝で区画された中に地下式坑や井戸跡を検出した。

87 香取前遺跡 08207054

(縄文～近世/集落跡)

所在地 結城市武井 412-2 番地ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和 3 年 7 月 9 日～令和 4 年 3 月 15 日
調査面積 8,700 m²
調査主体 結城市教育委員会
調査支援 株式会社勾玉工房
資料保管 結城市教育委員会
報告書名 令和 5 年度以降刊行予定

調査概要

結城市南西部、西仁連川東岸の微高地上に位置する。今回の調査では、古墳時代の集落跡、平安時代の溜井、室町～戦国時代の集落跡などを確認し、縄文～近世までの遺物が出土した。特筆する成果として、古墳時代の堅穴建物跡から滑石製の勾玉や白玉、剣型模造品の未成品や剥片が出土し、玉造工房跡と考えられる。中世では、多数の井戸跡やピット群、堀跡 (幅 2.2～3.7m、深さ約 1m) を検出した。堀跡からは土師質土器や陶器、墓石、天目茶碗、茶托、漆器など 16 世紀頃の遺物が多量に出土した。

88 伊古田遺跡 (第2地点) 08522067

(中世/集落跡)

所在地 下妻市大園木 2770 番地 3
調査原因 自己用住宅建築
調査年月日 令和 3 年 5 月 17 日～19 日
調査面積 3 m²
調査主体 下妻市教育委員会
資料保管 下妻市教育委員会
報告書名 令和 5 年以降刊行予定

調査概要

調査地点は小貝川右岸の標高 18m 前後の自然堤防上に立地し、伊古田遺跡の中央部西寄りに位置している。今回の調査は、浄化槽設置予定箇所のみである。溝跡 1 条を確認、出土遺物から戦国時代の所産と考えられる。調査箇所の西部から内耳土鍋が良好な状態で出土した。

いごたいせき
89 伊古田遺跡（第4地点） 08522067

（平安時代～中世/集落跡）

所在地 下妻市大園木 2770 番地 1
調査原因 自己用住宅建築
調査年月日 令和3年7月6日、7日、12日
調査面積 6 m²
調査主体 下妻市教育委員会
資料保管 下妻市教育委員会
報告書名 令和5年度以降刊行予定

調査概要

調査地点は小貝川右岸の標高 18m前後の自然堤防上に立地し、伊古田遺跡の中央部西寄りに位置している。今回の調査は、浄化槽・浸透槽設置予定箇所のみである。堅穴建物跡2棟、溝跡2条、土坑墓1基を確認した。出土遺物から堅穴建物跡は平安時代、溝跡は戦国時代、土坑墓は中世の所産と考えられる。須恵器、土師器、土師質土器、陶器が出土したが、僅かであった。

まかべじょうあと
90 真壁城跡 08504028

（中世/城館跡）

所在地 桜川市真壁町古城字中城 436 ほか
調査原因 史跡整備
調査年月日 令和3年5月24日～4年1月31日
調査面積 700 m²
調査主体 桜川市教育委員会
資料保管 桜川市教育委員会
報告書名 『史跡真壁城跡Ⅹ—中城中央部の調査概要—』史跡真壁城跡発掘調査報告第10集（仮題）桜川市教育委員会 令和5年度以降刊行予定

調査概要

中城中央部及び南部の一部において庭園、通路、土塁、堀等の遺構確認を主な目的として発掘調査を実施した。中央部の調査区では園路跡（庭園の通路）や溝跡などを確認した。園路跡は二の丸～中城～外曲輪をつなぐ城道跡（城内の基幹通路）との接続部の状況が明らかとなった。また、その接続部に近接して土塁跡も確認した。南部では、主に苑池跡の範囲・構造とその周辺遺構の確認を行った。苑池跡は出島状の地形や石組みをもっており、遺物の年代から真壁城跡最終期（16世紀末～17世紀初頭）を前に廃絶したことを追認することができた。また、廃絶後は覆土（埋め立て土）上にて炉跡や弾丸や釘などが出土したことから工房を伴う駐屯地となったと推定した。

にえどこふんぐん ごうふん
91 仁江戸古墳群5号墳（第2次） 085210007-5

（古墳時代/古墳）

所在地 八千代町仁江戸字東 1282 番 1 ほか
調査原因 保存目的の範囲内容確認調査
調査年月日 令和3年9月1日～10月12日
調査面積 40 m²
調査主体 八千代町教育委員会
調査支援 筑波大学考古学研究室
資料保管 八千代町歴史民俗資料館
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

八千代町の南東部、鬼怒川右岸の標高 23～24mの台地上に立地する。今回の調査は墳丘北西部のトレンチによる周溝確認と、古墳の墳頂部に築かれた富士塚と古墳についての関係を確認した。その結果、築造当時の復元規模は、墳丘の直径約 38m、高さ約 7mの円墳と推定される。また、墳丘の周囲には幅約 4～5m、深さ約 1.5mの周溝が巡ることが確認された。墳丘上に築かれた富士塚の築造状況についても確認された。さらにその下に一部確認された白色土は埋葬施設の可能性があると考えられる。古墳に伴う出土遺物は認められなかったが、仁江戸古墳群中では香取神社古墳（1号墳）に次いで、古墳時代中期に築造された古墳と考えられる。今後は八千代町指定文化財への指定を目標とし、保存活用方法を検討していく。

きゅうなかゆう きしょうがっこうていせいせき
92 旧中結城小学校庭遺跡 08521108

（縄文時代、古墳時代～中世/集落跡）

所在地 八千代町佐野字高島 1137 番 2 ほか
調査原因 民間企業の駐車場造成事業
調査年月日 令和3年11月5日～4年1月28日
調査面積 120 m²
調査主体 八千代町教育委員会
資料保管 八千代町歴史民俗資料館
報告書名 令和4年度以降刊行予定

調査概要

東側に鬼怒川の旧河道を臨み、北側を山川沼、南側を北沼に挟まれた標高 25～28mの舌状台地に立地する。今回の調査は、試掘調査で検出された溝跡1条を対象とした。溝跡は上端約 2.5～3m、下端約 1～1.5mで断面形は逆台形を呈する。下層から出土した土師質土器から中世の溝跡と推定された。出土遺物として縄文時代の遺物では打製石斧片、磨石片、奈良・平安時代では土師器片、中世では土師質土器片と砥石等が出土した。